報告書No	出土層位	器形	部位	文様及び調整		色調		胎土					備考
				外面	内面	外面	内面	石英長石	キンウンモ	クロウンモ	角閃石輝石	砂粒	
64	⑤	深鉢	口縁	山形押型文	ナデ 山形押型文	7.5YR5/3（にぶい褐）	7.5YR4/2（灰褐）	○				○1mm以下	口唇部に刻み（刺突文状）
65	⑤	深鉢	口縁	山形押型文	ナデ 刺突文 山形押型文	10YR4/2（灰黄褐）	7.5YR4/1（褐灰）	○	○			○1mm以下	
66	⑤	深鉢	口縁	山形押型文	ナデ	7.5YR5/3（にぶい褐）	2.5YR4/2（灰赤）	○				○4mm以下	
67	⑤	深鉢	口縁	山形押型文	ナデ 山形押型文	10YR5/3（にぶい黄褐）	7.5YR4/1（褐灰）	○				○1mm以下	
68	⑤	深鉢	口縁	山形押型文	ナデ 山形押型文	10YR5/3（にぶい黄褐）	10YR5/2（灰黄褐）	○				○1mm以下	
69	⑤	深鉢	口縁	山形押型文	山形押型文	7.5YR4/2（灰褐）	7.5YR4/2（灰褐）	○				○2mm以下	口唇部に刺突文
70	④	深鉢	口縁	山形押型文	ナデ?（剥離有り）	10YR4/1（褐灰）	2.5Y5/1（黄灰）	○				○2mm以下	口唇部に刺突文
71	⑤	深鉢	口縁	山形押型文	ナデ?（剥離有り）	7.5YR4/2（灰褐）	7.5YR4/2（灰褐）	○				○3mm以下	
72	④	深鉢	口縁	山形押型文	山形押型文（やや磨耗）	7.5YR6/4（にぶい橙）	5YR5/2（灰褐）	○			○	○2mm以下	
73	⑤	深鉢	口縁	山形押型文	ナデ	10YR4/2（灰黄褐）	2.5Y4/1（黄灰）	○				○6mm以下	
74	⑤	深鉢	口縁	山形押型文	ナデ	7.5YR5/3（にぶい褐）	10YR5/2（灰黄褐）	○			○	○10mm以下	
75	⑤	深鉢	口縁	山形押型文	ナデ（やや磨耗）	2.5YR4/1（赤灰）	10YR5/2（灰黄褐）	○				○5mm以下	
76	⑤	深鉢	胴部	山形押型文	ナデ（ミガキ?）	7.5YR5/3（にぶい褐）	10YR4/1（褐灰）	○	○			○1.5mm以下	
77	⑤	深鉢	胴部	山形押型文	ナデ	5YR4/3（にぶい赤褐）	7.5YR4/2（灰褐）	○				○1mm以下	
78	⑤	深鉢	胴部	山形押型文	ナデ	7.5YR5/3（にぶい褐）	7.5YR4/1（褐灰）	○				○2mm以下	
79	⑤	深鉢	胴部	山形押型文	ナデ	7.5YR5/3（にぶい褐）	7.5YR4/1（褐灰）	○				○3mm以下	
80	⑥	深鉢	胴部	山形押型文	ナデ	7.5YR4/2（灰褐）	7.5YR4/1（褐灰）	○	○			○2mm以下	
81	⑥	深鉢	胴部	山形押型文	ナデ	7.5YR5/3（にぶい褐）	7.5YR4/1（褐灰）		○			○2mm以下	
82	⑤	深鉢	胴部	山形押型文	ナデ	7.5YR5/3（にぶい褐）	7.5YR4/2（灰褐）	○				○1mm以下	
83	⑥	深鉢	胴部	山形押型文	ナデ	5YR5/4（にぶい赤褐）	5YR4/1（褐灰）	○				○2mm以下	
84	⑤	深鉢	胴部	山形押型文	ナデ	5YR4/2（灰褐）	7.5YR4/2（灰褐）	○				○1mm以下	
85	⑤	深鉢	胴部	山形押型文	ナデ	5YR5/4（にぶい赤褐）	7.5YR4/2（灰褐）	○				○1mm以下	
86	⑤	深鉢	胴部	山形押型文	ナデ	7.5YR5/3（にぶい褐）	10YR4/1（褐灰）	○				○3.5mm以下	
87	⑤	深鉢	胴部	山形押型文	ナデ	7.5YR5/3（にぶい褐）	10YR5/2（灰黄褐）	○				○6mm以下	
88	⑤	深鉢	胴部	山形押型文	ナデ	5YR4/2（灰褐）	7.5YR5/2（灰褐）	○				○2mm以下	
89	⑤	深鉢	胴部	山形押型文	ナデ	5YR4/3（にぶい赤褐）	7.5YR4/1（褐灰）	○			○	○3mm以下	
90	⑤	深鉢	胴部	山形押型文	ナデ	5YR5/4（にぶい赤褐）	7.5YR4/2（灰褐）	○				○2mm以下	
91	⑤	深鉢	胴部	山形押型文	ナデ	7.5YR5/3（にぶい褐）	2.5Y4/1（黄灰）	○				○3mm以下	
92	⑤	深鉢	胴部	山形押型文	ナデ	10YR5/3（にぶい黄褐）	7.5YR4/1（褐灰）	○				○6mm以下	
93	⑤	深鉢	胴部	山形押型文	ナデ	7.5YR6/4（にぶい橙）	7.5YR4/1（褐灰）	○			○	○2mm以下	
94	⑤	深鉢	胴部	山形押型文	ナデ	10YR5/2（灰黄褐）	10YR5/2（灰黄褐）	○			○	○2mm以下	
95	⑤	深鉢	胴部	山形押型文	ナデ	2.5Y4/1（黄灰）	10YR5/2（灰黄褐）	○				○4mm以下	
96	⑤	深鉢	胴部	山形押型文	ナデ	7.5YR4/3（褐）	7.5YR4/2（灰褐）	○				○3mm以下	
97	⑤	深鉢	胴部	山形押型文	ナデ	10YR5/3（にぶい黄褐）	7.5YR4/1（褐灰）	○				○1mm以下	
98	⑤	深鉢	胴部	山形押型文	ナデ	10YR5/3（にぶい黄褐）	2.5Y4/1（黄灰）	○			○	○3mm以下	
99	⑤	深鉢	胴部	山形押型文	ナデ	10YR5/3（にぶい黄褐）	10YR4/1（褐灰）	○				○2mm以下	
100	⑤	深鉢	胴部	山形押型文	ナデ	7.5YR4/2（灰褐）	7.5YR5/2（灰褐）	○	○			○1mm以下	
101	⑤	深鉢	胴部	山形押型文	ナデ	10YR5/2（灰黄褐）	7.5YR4/2（灰褐）	○				○2mm以下	穿孔あり
102	⑤・⑥	深鉢	胴部~底部	山形押型文	ナデ	7.5YR5/3（にぶい褐）	7.5YR4/1（褐灰）	○				○2mm以下	
103	⑤	深鉢	胴部~底部	山形押型文	ナデ	10YR4/2（灰黄褐）	10YR4/1（褐灰）	○	○			○2mm以下	
104	⑤	深鉢	胴部~底部	山形押型文	ナデ	7.5YR5/3（にぶい褐）	10YR5/2（灰黄褐）	○				○6mm以下	
105	⑤	深鉢	口縁~胴部	楕円押型文	楕円押型文 ナデ	5YR5/4（にぶい赤褐）	2.5YR4/4（にぶい赤褐）	○				○4mm以下	穿孔あり
106	④・⑤	深鉢	口縁~胴部	楕円押型文	楕円押型文 ナデ	5YR5/3（にぶい赤褐）	5YR4/3（にぶい赤褐）	○				○4.5mm以下	
107	⑤	深鉢	口縁~胴部	楕円押型文	楕円押型文 ナデ	10YR5/2（灰黄褐）	2.5Y4/1（黄灰）	○			○	○2mm以下	
108	⑤	深鉢	口縁	楕円押型文	山形押型文 ナデ	5YR4/3（にぶい赤褐）	5YR4/2（灰褐）	○				○4mm以下	
109	⑤	深鉢	口縁	楕円押型文	山形押型文	7.5YR4/1（褐灰）	5YR4/2（灰褐）	○	○			○3.5mm以下	
110	④	深鉢	口縁	楕円押型文	山形押型文 ナデ	7.5YR4/2（灰褐）	5YR4/2（灰褐）	○	○			○7mm以下	
111	⑤	深鉢	口縁	楕円押型文	山形押型文 ナデ	7.5YR5/3（にぶい褐）	5YR5/3（にぶい赤褐）	○	○			○5mm以下	
112	④	深鉢	口縁	楕円押型文	山形押型文 ナデ	7.5YR4/2（灰褐）	7.5YR4/2（灰褐）		○			○4mm以下	
113	⑤	深鉢	口縁	楕円押型文	山形押型文 ナデ	5YR4/3（にぶい赤褐）	7.5YR5/3（にぶい褐）	○	○			○2mm以下	
114	⑤	深鉢	口縁	楕円押型文	剥離 ナデ	5YR3/1（黒褐）	7.5YR3/2（黒褐）	○				○7mm以下	
115	⑤	深鉢	口縁	楕円押型文	楕円押型文 ナデ	7.5YR4/2（灰褐）	10YR4/2（灰黄褐）	○				○4mm以下	
116	⑤	深鉢	口縁	楕円押型文	沈線文 ナデ	7.5YR4/1（褐灰）	7.5YR4/2（灰褐）	○				○2.5mm以下	穿孔あり
117	⑤	深鉢	口縁	楕円押型文	沈線文 ナデ	10YR5/3（にぶい黄褐）	10YR6/2（灰黄褐）	○				○4mm以下	
118	⑤	深鉢	口縁~胴部	楕円押型文	沈線文 ナデ	10YR5/3（にぶい黄褐）	10YR6/3（にぶい黄橙）	○				○1mm以下	
119	⑤	深鉢	口縁	楕円押型文	沈線文 ナデ	2.5Y4/1（黄灰）	10YR5/1（褐灰）	○				○2mm以下	
120	⑤	深鉢	口縁	楕円押型文	沈線文 ナデ	5YR5/2（灰褐）	7.5YR5/3（にぶい褐）	○				○4mm以下	
121	⑤	深鉢	口縁	楕円押型文	ナデ	10YR4/2（灰黄褐）	2.5YR4/2（灰赤）	○			○	○2mm以下	
122	⑤	深鉢	口縁	楕円押型文	楕円押型文	7.5YR4/2（灰褐）	7.5YR4/3（褐）	○				○2mm以下	口唇部に刻み
123	⑤	深鉢	口縁	楕円押型文	楕円押型文 ナデ	5YR5/4（にぶい赤褐）	10YR4/2（灰黄褐）	○				○2mm以下	
124	⑤	深鉢	口縁	楕円押型文	楕円押型文 ナデ	7.5YR5/3（にぶい褐）	10YR4/1（褐灰）	○				○2mm以下	
125	⑤	深鉢	口縁	楕円押型文	沈線文 ナデ	2.5Y5/2（暗灰黄）	2.5Y4/1（黄灰）	○				○3mm以下	
126	⑤	深鉢	口縁	楕円押型文	楕円押型文 ナデ	7.5YR5/3（にぶい褐）	10YR5/3（にぶい黄褐）	○			○	○3mm以下	

報告書No	出土層位	器形	部位	文様及び調整		色調		胎土					備考
				外面	内面	外面	内面	石英長石	キンウンモ	クロウンモ	角閃石輝石	砂粒	
127	③・⑤	深鉢	口縁～胴部	楕円押型文	沈線文　ナデ	10YR5/3（にぶい黄褐）	10YR4/1（褐灰）	○				○3mm以下	
128	④	深鉢	口縁部付近か？	楕円押型文	沈線文　ナデ	10YR5/2（灰黄褐）	10YR6/3（にぶい黄橙）	○				○7mm以下	
129	④	深鉢	胴部	楕円押型文	ナデ	10YR4/2（灰黄褐）	7.5YR4/2（灰褐）	○	○			○4mm以下	
130	③・⑥	深鉢	胴部	楕円押型文	ナデ	5YR4/3（にぶい赤褐）	10YR4/2（灰黄褐）	○				○6mm以下	
131	⑤	深鉢	胴部	楕円押型文	ナデ	7.5YR5/1（褐灰）	7.5YR3/2（黒褐）	○	○			○4mm以下	底部付近か？
132	⑤	深鉢	胴部	楕円押型文	ナデ	7.5YR5/3（にぶい褐）	7.5YR4/3（褐）	○	○			○5mm以下	
133	⑤	深鉢	胴部	楕円押型文	ナデ	5YR5/4（にぶい赤褐）	N4/0（灰）	○	○			○3mm以下	
134	⑥	深鉢	胴部	楕円押型文	ナデ	5RP6/1（紫灰）	10R4/2（灰赤）	○				○4mm以下	
135	⑤	深鉢	胴部	楕円押型文	ナデ（条線か？）	7.5YR4/2（灰褐）	2.5YR3/1（暗赤灰）	○	○			○3mm以下	
136	⑥	深鉢	胴部	楕円押型文	ナデ	7.5YR4/3（褐）	7.5YR5/3（にぶい褐）	○				○4mm以下	
137	⑥	深鉢	胴部	楕円押型文	ナデ	7.5YR4/2（灰褐）	5YR5/2（灰褐）	○				○3mm以下	
138	⑥	深鉢	胴部	楕円押型文	ナデ	5YR5/3（にぶい赤褐）	5YR4/3（にぶい赤褐）	○				○4mm以下	
139	⑥	深鉢	胴部	楕円押型文	ナデ	5YR4/3（にぶい赤褐）	2.5YR5/4（にぶい赤褐）	○	○			○3mm以下	
140	⑤	深鉢	胴部	楕円押型文	ナデ（条痕か？）	7.5YR4/3（褐）	2.5Y4/1（黄灰）	○				○4mm以下	
141	⑥	深鉢	胴部	楕円押型文	ナデ	7.5YR5/3（にぶい褐）	10YR5/2（灰黄褐）	○				○4mm以下	
142	⑥	深鉢	口縁部付近か？	楕円押型文	山形押型文 ナデ	7.5YR5/3（にぶい褐）	10YR5/3（にぶい黄褐）	○	○			○3mm以下	
143	⑥	深鉢	胴部	楕円押型文	ナデ	7.5YR5/3（にぶい褐）	2.5YR4/1（赤灰）	○				○3mm以下	
144	⑤	深鉢	口縁部付近か？	楕円押型文	山形押型文 ナデ	7.5YR4/2（灰褐）	5YR5/3（にぶい赤褐）	○				○6mm以下	
145	⑥	深鉢	口縁部付近か？	楕円押型文	山形押型文 ナデ	5YR5/3（にぶい赤褐）	2.5YR5/2（灰赤）	○			○	○3mm以下	
146	⑥	深鉢	胴部	楕円押型文	ナデ	10YR6/3（にぶい黄橙）	2.5Y5/1（黄灰）	○				○7mm以下	
147	⑤	深鉢	胴部	楕円押型文	ナデ	10YR6/3（にぶい黄橙）	10YR5/3（にぶい黄褐）	○				○3mm以下	
148	⑤	深鉢	胴部	楕円押型文	ナデ（一部剥離有り）	10YR6/3（にぶい黄橙）	5B4/1（暗青灰）	○				○3mm以下	
149	⑥	深鉢	胴部	楕円押型文	ナデ	10YR5/3（にぶい黄褐）	7.5YR4/2（灰褐）	○				○7mm以下	
150	⑤	深鉢	胴部	楕円押型文	ナデ	10YR6/3（にぶい黄橙）	7.5YR4/1（褐灰）	○				○2mm以下	
151	⑥	深鉢	胴部	楕円押型文	ナデ	10YR6/3（にぶい黄橙）	10YR4/1（褐灰）	○			○	○2mm以下	
152	⑤	深鉢	胴部	楕円押型文	ナデ	7.5YR5/3（にぶい褐）	7.5YR5/3（にぶい褐）	○				○4mm以下	
153	⑥	深鉢	胴部	楕円押型文	ナデ	10YR5/3（にぶい黄褐）	7.5YR4/2（灰褐）	○				○4mm以下	
154	⑤	深鉢	胴部	楕円押型文	ナデ	7.5YR5/2（灰褐）	5PB4/1（暗青灰）	○				○3mm以下	
155	⑤	深鉢	胴部	楕円押型文	ナデ	7.5YR5/2（灰褐）	7.5YR4/2（灰褐）	○				○3mm以下	
156	⑥	深鉢	胴部	楕円押型文	ナデ	5YR5/4（にぶい赤褐）	5YR4/1（褐灰）	○				○4mm以下	
157	⑤・⑥	深鉢	胴部	楕円押型文	ナデ	7.5YR5/4（にぶい褐）	10YR5/2（灰黄褐）	○				○3mm以下	
158	⑤	深鉢	胴部	楕円押型文	ナデ	10YR3/1（黒褐）	10YR4/1（褐灰）	○				○3.5mm以下	
159	⑤	深鉢	口縁部付近か？	楕円押型文	沈線文　ナデ	7.5Y3/2（オリーブ黒）	10YR5/2（灰黄褐）	○				○3mm以下	
160	⑤	深鉢	胴部	楕円押型文	剥離　ナデ	10YR5/2（灰黄褐）	7.5YR5/3（にぶい褐）	○				○4mm以下	
161	⑥	深鉢	胴部	楕円押型文	ナデ	7.5YR5/3（にぶい褐）	7.5YR5/3（にぶい褐）	○				○1.5mm以下	
162	⑤・⑥	深鉢	口縁～頸部	肥厚帯（沈線文・連点文）	ナデ	10YR6/3（にぶい黄橙）	10YR6/3（にぶい黄橙）	○			○	○2mm以下	口縁径 41.2cm
163	⑥	深鉢	口縁	肥厚帯（沈線文・連点文）	ナデ	10YR6/4（にぶい黄橙）	10YR6/3（にぶい黄橙）	○			○	○2mm以下	
164	⑤・⑥	深鉢	胴部	撚糸文　沈線文 連点文	ナデ	7.5YR6/4（にぶい橙）	7.5YR4/2（灰褐）	○				○9mm以下	
165	③・⑥	深鉢	胴部	撚糸文　沈線文 連点文	ナデ	7.5YR5/4（にぶい褐）	10YR5/3（にぶい黄褐）	○			○	○3mm以下	最大径 24cm
166	③・⑤	深鉢	口縁	肥厚帯（沈線文・連点文）	ナデ	10YR6/4（にぶい黄橙）	10YR6/4（にぶい黄橙）	○			○	○1mm以下	
167	③・⑤	深鉢	口縁付近	肥厚帯（沈線文・連点文）	ナデ	10YR7/3（にぶい黄橙）	10YR6/3（にぶい黄橙）	○			○	○2mm以下	
168	⑥	深鉢	口縁	沈線文　連点文	ナデ	7.5YR4/2（灰褐）	10YR6/3（にぶい黄橙）	○				○1mm以下	
169	⑤	深鉢	胴部	撚糸文　沈線文 連点文	ナデ	7.5YR5/3（にぶい褐）	7.5YR4/2（灰褐）	○				○1mm以下	
170		深鉢	胴部	撚糸文　沈線文 連点文	ナデ	7.5YR5/3（にぶい褐）	2.5Y4/1（黄灰）	○				○1mm以下	
171	⑤	深鉢	胴部	沈線文　連点文	ナデ	10YR4/1（褐灰）	2.5Y4/1（黄灰）	○	○			○2mm以下	
172	⑤	深鉢	胴部	撚糸文　沈線文 連点文	ナデ	7.5YR4/2（灰褐）	7.5YR4/2（灰褐）	○				○2mm以下	
173	③・⑤	深鉢	口縁～胴部	撚糸文 沈線文	ナデ	7.5YR4/2（灰褐）	5YR4/3（にぶい赤褐）	○				○1.5mm以下	口唇部に刻み 口縁径 38cm 胴部最大径 32cm
174	⑤・⑥	深鉢	口縁～胴部	撚糸文 沈線文	ナデ	7.5YR5/3（にぶい褐）	7.5YR5/3（にぶい褐）	○				○2mm以下	口唇部に刻み 波状口縁
175	⑥	深鉢	口縁～胴部	撚糸文 沈線文	ナデ	7.5YR4/2（灰褐）	10YR3/1（黒褐色）	○				○1.5mm以下	口唇部に刻み 口縁径 14.2cm 器高 9.1cm 胴部最大径 12cm 波状口縁
176	⑤・⑥	深鉢	口縁～頸部	撚糸文 沈線文	ナデ	7.5YR5/3（にぶい褐）	7.5YR5/4（にぶい褐）	○				○2.5mm以下	口唇部に刻み 口縁径 27.4cm 波状口縁
177	⑤・⑥	深鉢	口縁～頸部～胴部	撚糸文 沈線文	ナデ	10YR5/2（灰黄褐）	10YR5/2（灰黄褐）	○				○2mm以下	口唇部に刻み
178	⑤・⑥	深鉢	口縁～頸部	撚糸文 沈線文	ナデ	10YR5/3（にぶい黄褐）	10YR6/3（にぶい黄橙）	○				○2mm以下	口唇部に刻み
179	⑥	深鉢	口縁～頸部	撚糸文 沈線文	ナデ	7.5YR5/3（にぶい褐）	7.5YR5/3（にぶい褐）	○				○1.5mm以下	口唇部に刻み 口縁径 27.6cm
180	⑥	深鉢	口縁～頸部	撚糸文 沈線文	ナデ	10YR5/3（にぶい黄褐）	7.5YR5/4（にぶい褐）	○			○	○2mm以下	口唇部に刻み 波状口縁
181	⑥	深鉢	口縁～頸部	撚糸文 沈線文	ナデ	10YR5/3（にぶい黄褐）	7.5YR4/2（灰褐）	○				○1.5mm以下	口唇部に刻み 口縁径 17.8cm

挿図No.	出土層位	器形	部位	文様及び調整 外面	文様及び調整 内面	色調 外面	色調 内面	胎土 石英長石	胎土 キンウンモ	胎土 クロウンモ	胎土 角閃石輝石	胎土 砂粒	備考
182	③	深鉢	口縁～胴部	撚糸文 沈線文	ナデ	7.5YR5/3（にぶい褐）	7.5YR4/2（灰褐）	○				○2mm以下	口唇部に刻み
183	⑤	深鉢	口縁～頸部	撚糸文 沈線文	ナデ	10YR5/2（灰黄褐）	10YR5/2（灰黄褐）	○				○3mm以下	口唇部に刻み
184	⑤	深鉢	口縁～頸部	撚糸文 沈線文	ナデ	7.5YR5/3（にぶい褐）	7.5YR5/3（にぶい褐）	○				○2mm以下	口唇部に刻み 波状口縁
185	⑤	深鉢	口縁～頸部	撚糸文 沈線文	ナデ	10YR5/2（灰黄褐）	2.5YR5/2（灰赤）	○				○2mm以下	口唇部が摩耗
186	⑤	深鉢	口縁～頸部	撚糸文 沈線文	ナデ	7.5YR5/3（にぶい褐）	10YR5/2（灰黄褐）	○				○2mm以下	口唇部に刻み 口縁径 20.4cm 波状口縁
187	⑤	深鉢	口縁～頸部	撚糸文 沈線文	ナデ	7.5YR5/3（にぶい褐）	10YR5/3（にぶい黄褐）	○				○1.5mm以下	口唇部に刻み 口縁径 19.8cm
188	⑤	深鉢	口縁～頸部	撚糸文 沈線文	ナデ	5YR5/4（にぶい赤褐）	10YR5/2（灰黄褐）	○				○3mm以下	口唇部に刻み
189	⑤	深鉢	口縁～頸部	撚糸文 沈線文	ナデ	10YR5/2（灰黄褐）	2.5YR5/2（灰赤）	○				○1.5mm以下	口唇部に刻み・沈線文
190	⑤・⑥	深鉢	口縁～頸部	撚糸文 沈線文	ナデ	10YR6/3（にぶい黄橙）	10YR6/3（にぶい黄橙）	○			○	○2mm以下	口唇部に刻み・沈線文
191	⑤	深鉢	口縁～頸部	撚糸文 沈線文	ナデ	10YR5/3（にぶい黄褐）	10YR5/3（にぶい黄褐）	○				○1mm以下	口唇部に刻み
192	⑤	深鉢	口縁～頸部	撚糸文	ナデ	7.5YR5/3（にぶい褐）	7.5YR4/1（褐灰）	○			○	○2mm以下	口唇部に刻み
193	⑤	深鉢	口縁	沈線文	ナデ	10YR5/3（にぶい黄褐）	10YR5/2（灰黄褐）	○			○	○3mm以下	口唇部に刻み
194	⑤	深鉢	口縁	撚糸文 沈線文	ナデ	10YR5/2（灰黄褐）	10YR6/3（にぶい黄橙）	○			○	○2mm以下	口唇部に刻み
195	⑤	深鉢	口縁～頸部	撚糸文 ナデ 沈線文	ナデ	7.5YR4/1（褐灰）	7.5YR5/3（にぶい褐）	○			○	○2mm以下	口唇部に刻み
196	⑥	深鉢	口縁～頸部	撚糸文 沈線文	ナデ	7.5YR5/2（灰褐）	7.5YR4/1（褐灰）	○				○2mm以下	口唇部に刻み
197	⑤	深鉢	口縁～頸部	撚糸文 沈線文	ナデ	7.5YR5/4（にぶい褐）	10YR5/3（にぶい黄褐）	○				○2mm以下	口唇部に刻み
198	⑤	深鉢	口縁～頸部	撚糸文 沈線文	ナデ	10YR6/4（にぶい黄橙）	10YR6/3（にぶい黄橙）	○				○3mm以下	口唇部に刻み 口縁径 25.6cm
199	[illegible]	深鉢	口縁～頸部	撚糸文 沈線文	ナデ	7.5YR4/2（灰褐）	7.5YR5/4（にぶい褐）	○				○5mm以下	口唇部に刻み
200	⑤・⑤	深鉢	口縁～頸部	撚糸文 沈線文	ナデ	7.5YR5/3（にぶい褐）	7.5YR5/3（にぶい褐）	○				○2mm以下	口唇部に刻み
201	⑤	深鉢	口縁～頸部	撚糸文 沈線文	ナデ	10YR4/2（灰黄褐）	5YR5/4（にぶい赤褐）	○				○1.5mm以下	口唇部に刻み
202	⑤	深鉢	口縁～頸部	沈線文	ナデ	7.5YR5/3（にぶい褐）	10YR5/2（灰黄褐）	○				○1mm以下	口唇部に刻み
203	⑤・⑥	深鉢	頸部	撚糸文 沈線文	ナデ	10YR5/3（にぶい黄褐）	2.5Y5/2（暗灰黄）	○	○			○3mm以下	
204	⑤・⑥	深鉢	頸部～胴部	撚糸文 ナデ 沈線文	ナデ	7.5YR5/2（灰褐）	7.5YR4/3（褐）	○	○			○1mm以下	
205	⑥	深鉢	頸部～胴部	撚糸文 ナデ 沈線文	ナデ	7.5YR5/3（にぶい褐）	7.5YR5/3（にぶい褐）	○			○	○1mm以下	
206	⑥	深鉢	頸部	撚糸文 ナデ 沈線文	ナデ	10YR4/1（褐灰）	7.5YR5/3（にぶい褐）	○				○1mm以下	
207	⑤	深鉢	頸部	撚糸文 沈線文	ナデ	10YR5/2（灰黄褐）	7.5YR4/1（褐灰）	○				○4mm以下	
208	⑥	深鉢	頸部	撚糸文 ナデ 沈線文	ナデ	7.5YR5/3（にぶい褐）	7.5YR4/1（褐灰）	○				○1mm以下	
209	⑤	深鉢	頸部	撚糸文 ナデ 沈線文	ナデ	10YR4/2（灰黄褐）	10YR4/2（灰黄褐）	○	○			○2mm以下	
210	⑥	深鉢	頸部	撚糸文 ナデ 沈線文	ナデ	10YR5/2（灰黄褐）	10YR5/2（灰黄褐）	○				○2.5mm以下	
211	⑥	深鉢	頸部	ナデ 沈線文	ナデ	10YR4/2（灰黄褐）	10YR5/2（灰黄褐）	○			○	○2mm以下	
212	⑤	深鉢	頸部～胴部	撚糸文 沈線文	ナデ	7.5YR4/2（灰褐）	5YR3/1（黒褐）	○				○2mm以下	
213	⑤	深鉢	頸部～胴部	撚糸文 沈線文	ナデ	10YR5/2（灰黄褐）	7.5YR5/2（灰褐）	○			○	○1mm以下	
214	⑤	深鉢	頸部	撚糸文 ナデ 沈線文	ナデ	7.5YR4/2（灰褐）	10YR5/2（灰黄褐）	○	○			○1.5mm以下	
215	⑥	深鉢	頸部	撚糸文 ナデ 沈線文	ナデ	10YR5/3（にぶい黄褐）	10YR5/2（灰黄褐）	○			○	○3mm以下	
216	⑥	深鉢	頸部	撚糸文 ナデ 沈線文	ナデ	10YR4/2（灰黄褐）	7.5YR4/2（灰褐）	○	○			○2mm以下	
217	⑤・⑥	深鉢	頸部～胴部	撚糸文 沈線文	ナデ	7.5YR5/3（にぶい褐）	10YR5/2（灰黄褐）	○			○	○1.5mm以下	
218	⑤	深鉢	頸部	撚糸文 沈線文	ナデ	10YR6/3（にぶい黄橙）	7.5YR6/4（にぶい橙）	○				○1mm以下	
219	⑥	深鉢	頸部～胴部	撚糸文 ナデ 沈線文	ナデ	7.5YR5/3（にぶい褐）	7.5YR4/3（褐）	○			○	○1.5mm以下	
220	⑤・⑥	深鉢	胴部	撚糸文 沈線文	ナデ	2.5Y5/2（暗灰黄）	7.5YR4/2（灰褐）	○	○			○3mm以下	胴部最大径 24cm
221	⑥	深鉢	胴部	撚糸文 沈線文	ナデ	10YR5/3（にぶい黄褐）	10YR4/1（褐灰）	○	○			○2mm以下	
222	⑥	深鉢	胴部	撚糸文 沈線文	ナデ	10YR5/3（にぶい黄褐）	7.5YR5/3（にぶい褐）	○				○2mm以下	スス付着
223	⑤	深鉢	胴部	撚糸文 沈線文	ナデ	10YR5/3（にぶい黄褐）	10YR5/3（にぶい黄褐）	○	○			○3mm以下	
224	⑤・⑥	深鉢	胴部	撚糸文 沈線文	ナデ	2.5Y4/1（黄灰）	7.5YR5/3（にぶい褐）	○			○	○2mm以下	
225	⑤・⑥	深鉢	胴部	撚糸文 沈線文	ナデ	10YR5/3（にぶい黄褐）	7.5YR5/3（にぶい褐）	○			○	○2mm以下	
226	⑤・⑥	深鉢	胴部	撚糸文	ナデ	2.5Y4/1（黄灰）	7.5YR5/2（灰褐）	○			○	○2mm以下	スス付着
227	⑥	深鉢	胴部	撚糸文 沈線文	ナデ	2.5Y4/1（黄灰）	10YR5/3（にぶい黄褐）	○				○3mm以下	
228	⑥	深鉢	胴部	撚糸文 沈線文	ナデ	7.5YR4/2（灰褐）	10YR4/1（褐灰）	○				○3mm以下	
229	⑥	深鉢	胴部	撚糸文 沈線文	ナデ	10YR4/2（灰黄褐）	10YR4/2（灰黄褐）	○				○2mm以下	
230	⑥	深鉢	胴部	撚糸文 沈線文	ナデ	10YR5/3（にぶい黄褐）	10YR5/2（灰黄褐）	○				○3mm以下	底部付近か？
231	⑥	深鉢	胴部	撚糸文 沈線文	ナデ	2.5YR5/2（灰赤）	7.5YR4/2（灰褐）	○			○	○1mm以下	
232	⑤	深鉢	胴部	撚糸文 沈線文	ナデ	7.5YR4/1（褐灰）	7.5YR4/2（灰褐）	○			○	○1mm以下	

報告No.	出土層位	器形	部位	文様及び調整		色調		胎土				焼成	備考
				外面	内面	外面	内面	石英長石	キンクンモ	クロクンモ	角閃石雲母		
233	⑤	深鉢	胴部	撚糸文 沈線文	ナデ	2.5YR5/2（暗赤灰）	10YR5/2（灰黄褐）	○	○			○ 2.5mm 以下	
234	⑤	深鉢	胴部	撚糸文 沈線文	ナデ	7.5YR4/2（灰褐）	7.5YR4/2（灰褐）	○			○	○ 2mm 以下	
235	⑤	深鉢	胴部	撚糸文 沈線文	ナデ	7.5YR5/3（にぶい褐）	7.5YR4/1（褐灰）	○			○	○ 1mm 以下	
236	⑤	深鉢	胴部	撚糸文 沈線文	ナデ	7.5YR5/3（にぶい褐）	7.5YR4/2（灰褐）	○			○	○ 2mm 以下	
237	⑥	深鉢	胴部	撚糸文	ナデ	10YR6/3（にぶい黄橙）	10YR5/2（灰黄褐）	○				○ 2mm 以下	
238	⑥	深鉢	胴部	撚糸文 沈線文	ナデ	10YR4/2（灰黄褐）	7.5YR4/2（灰褐）	○				○ 2mm 以下	
239	⑤	深鉢	胴部	撚糸文 沈線文	ナデ	7.5YR4/2（灰褐）	7.5YR4/2（灰褐）	○			○	○ 3mm 以下	
240	①・⑤	深鉢	胴部	撚糸文 沈線文	ナデ	10YR5/3（にぶい黄褐）	2.5Y4/1（黄灰）	○	○			○ 2mm 以下	
241	⑤	深鉢	胴部	撚糸文 沈線文	ナデ	7.5YR4/2（灰褐）	7.5YR4/2（灰褐）	○				○ 1mm 以下	
242	⑤	深鉢	胴部	撚糸文 沈線文	ナデ	10YR5/2（灰黄褐）	10YR5/2（灰黄褐）	○				○ 2mm 以下	
243	⑤	深鉢	胴部	撚糸文	ナデ	7.5YR5/3（にぶい褐）	7.5YR5/4（にぶい褐）	○	○			○ 2mm 以下	
244	②・⑤	深鉢	胴部	撚糸文	ナデ	10YR6/3（にぶい黄橙）	10YR5/3（にぶい黄褐）	○				○ 2mm 以下	
245	⑤	深鉢	胴部	撚糸文 沈線文	ナデ	5YR5/2（灰褐）	7.5YR5/4（にぶい褐）	○			○	○ 2mm 以下	
246	⑤	深鉢	胴部	撚糸文 沈線文	ナデ	7.5YR5/4（にぶい褐）	7.5YR5/3（にぶい褐）	○				○ 1mm 以下	
247	⑤	深鉢	胴部	撚糸文	ナデ	10YR5/2（灰黄褐）	10YR5/2（灰黄褐）	○				○ 2mm 以下	
248	⑤	深鉢	胴部	撚糸文 沈線文	ナデ	7.5YR5/2（灰褐）	7.5YR4/2（灰褐）	○			○	○ 1mm 以下	
249	⑤・⑥	深鉢	胴部	撚糸文 沈線文	ナデ	7.5YR4/2（灰褐）	5YR5/3（にぶい赤褐）	○			○	○ 1mm 以下	
250	⑤	深鉢	胴部	撚糸文 沈線文	ナデ	7.5YR4/2（灰褐）	7.5YR4/1（褐灰）	○				○ 2mm 以下	
251	⑤	深鉢	胴部	撚糸文 沈線文	ナデ	10YR5/2（灰黄褐）	10YR5/2（灰黄褐）	○				○ 1mm 以下	
252	⑤	深鉢	胴部	撚糸文 沈線文	ナデ	7.5YR4/2（灰褐）	7.5YR4/2（灰褐）	○			○	○ 1mm 以下	
253	⑤	深鉢	胴部	撚糸文 沈線文	ナデ	7.5YR5/3（にぶい褐）	5YR5/4（にぶい赤褐）	○			○	○ 1mm 以下	
254	⑤・⑥	深鉢	胴部	撚糸文 沈線文	ナデ	7.5YR5/3（にぶい褐）	10YR3/1（黒褐）	○				○ 2mm 以下	
255	⑥	深鉢	胴部	撚糸文 沈線文	ナデ	2.5Y4/1（黄灰）	2.5Y4/1（黄灰）	○			○	○ 2mm 以下	
256	⑥	深鉢	胴部	撚糸文 沈線文	ナデ	10YR5/3（にぶい黄褐）	2.5YR5/2（灰赤）	○			○	○ 2mm 以下	
257	⑥	深鉢	胴部	撚糸文	ナデ	7.5YR4/2（灰褐）	10YR5/3（にぶい黄褐）	○			○	○ 1mm 以下	
258	⑥	深鉢	胴部	撚糸文 沈線文	ナデ	10YR5/2（灰黄褐）	10YR4/2（灰黄褐）	○				○ 2mm 以下	
259	⑥	深鉢	胴部	撚糸文 沈線文	ナデ	7.5YR4/2（灰褐）	7.5YR4/2（灰褐）	○			○	○ 2mm 以下	
260	⑥	深鉢	胴部	撚糸文 沈線文	ナデ	7.5YR5/4（にぶい褐）	7.5YR4/2（灰褐）	○				○ 1mm 以下	
261	⑥	深鉢	胴部	撚糸文 沈線文	ナデ	7.5YR4/1（褐灰）	5YR4/2（灰褐）	○				○ 2mm 以下	
262	⑥	深鉢	胴部	撚糸文 沈線文	ナデ	10YR4/1（褐灰）	7.5YR5/3（にぶい褐）	○				○ 3mm 以下	
263	⑥	深鉢	胴部	撚糸文 沈線文	ナデ	2.5Y4/1（黄灰）	7.5YR5/3（にぶい褐）	○				○ 2mm 以下	
264	③・⑤	深鉢	胴部	撚糸文 沈線文	ナデ	7.5YR5/3（にぶい褐）	7.5YR5/3（にぶい褐）	○				○ 2mm 以下	
265	⑥	深鉢	胴部	撚糸文 沈線文	ナデ	10YR5/3（にぶい黄褐）	10YR5/2（灰黄褐）	○			○	○ 3mm 以下	
266	⑤	深鉢	胴部	撚糸文 沈線文	ナデ	10YR6/3（にぶい黄橙）	10YR5/3（にぶい黄褐）	○			○	○ 2mm 以下	
267	⑤	深鉢	胴部	撚糸文	ナデ	7.5YR5/4（にぶい褐）	7.5YR5/4（にぶい褐）	○			○	○ 1mm 以下	
268	⑤	深鉢	胴部	撚糸文 沈線文	ナデ	10YR5/2（灰黄褐）	10YR5/3（にぶい黄褐）	○				○ 1mm 以下	
269	⑤	深鉢	胴部	撚糸文 沈線文	ナデ	10YR5/3（にぶい黄褐）	10YR5/3（にぶい黄褐）	○				○ 3mm 以下	
270	⑤	深鉢	胴部	撚糸文 沈線文	ナデ	2.5Y5/2（暗灰黄）	10YR5/2（灰黄褐）	○				○ 2mm 以下	
271	⑥	深鉢	胴部	撚糸文 沈線文	ナデ	10YR5/3（にぶい黄褐）	2.5Y5/2（暗灰黄）	○				○ 2mm 以下	
272	⑤	深鉢	胴部	撚糸文 沈線文	ナデ	7.5YR4/1（褐灰）	5YR5/4（にぶい赤褐）	○				○ 1mm 以下	
273	⑤	深鉢	胴部	撚糸文	ナデ	10YR6/3（にぶい黄橙）	10YR6/3（にぶい黄橙）	○				○ 1mm 以下	
274	⑤	深鉢	胴部	撚糸文 沈線文	ナデ	10YR5/3（にぶい黄褐）	10YR4/1（褐灰）	○				○ 3mm 以下	
275	⑥	深鉢	胴部	撚糸文 沈線文	ナデ	5YR5/4（にぶい赤褐）	7.5YR4/1（褐灰）	○				○ 2mm 以下	
276	⑥	深鉢	頸部付近～胴部	撚糸文 沈線文	ナデ	7.5YR5/3（にぶい褐）	7.5YR4/2（灰褐）	○			○	○ 1.5mm 以下	
277	⑤	深鉢	胴部	撚糸文 沈線文	ナデ	7.5YR5/3（にぶい褐）	7.5YR4/2（灰褐）	○				○ 2mm 以下	
278	①・⑤	深鉢	胴部	撚糸文 沈線文	ナデ	7.5YR5/3（にぶい褐）	2.5Y4/1（黄灰）	○				○ 2mm 以下	
279	①	深鉢	胴部	撚糸文 沈線文	ナデ	10YR5/2（灰黄褐）	10YR5/2（灰黄褐）	○				○ 2mm 以下	
280	⑤	深鉢	胴部	撚糸文 沈線文	ナデ	10YR4/1（褐灰）	10YR5/2（灰黄褐）	○			○	○ 3mm 以下	
281	①・⑤	深鉢	胴部	撚糸文 沈線文	ナデ	10YR5/2（灰黄褐）	10YR5/2（灰黄褐）	○			○	○ 2mm 以下	
282	⑥	深鉢	胴部	撚糸文 沈線文	ナデ	10YR5/3（にぶい黄褐）	10YR5/3（にぶい黄褐）	○				○ 2mm 以下	頸部径 22cm
283	⑥	壺（?）	頸部（?）	沈線文 ナデ		5YR5/4（にぶい赤褐）	10YR5/3（にぶい黄褐）	○			○	○ 1.5mm 以下	
284	①・⑤	深鉢	胴部	撚糸文 沈線文	ナデ	7.5YR5/4（にぶい褐）	10YR6/4（にぶい黄橙）	○			○	○ 5mm 以下	胴部最大径 30cm
285	⑥	深鉢	胴部	撚糸文 沈線文	ナデ	10YR6/4（にぶい黄橙）	2.5Y5/3（にぶい黄）	○			○	○ 2mm 以下	胴部最大径 34cm

報告書No	出土層位	器形	部位	文様及び調整		色調		胎土					備考
				外面	内面	外面	内面	石英長石	キンウンモ	クロウンモ	角閃石輝石	砂粒	
286	⑤	深鉢	胴部	撚糸文 沈線文	ナデ	7.5YR5/3（にぶい褐）	7.5YR4/2（灰褐）	○				○2mm以下	底部径12cm
287	④・⑤	深鉢	胴部	撚糸文	ナデ	10YR6/4（にぶい黄橙）	2.5Y6/3（にぶい黄）	○			○	○1mm以下	
288	④	深鉢	胴部	撚糸文 沈線文	ナデ	7.5YR7/4（にぶい橙）	10YR6/4（にぶい黄橙）	○			○	○2mm以下	
289	④	深鉢	胴部	撚糸文 沈線文	ナデ	10YR5/3（にぶい黄褐）	7.5YR4/2（灰褐）	○			○	○3.5mm以下	
290	⑤	深鉢	胴部	撚糸文 沈線文	ナデ	10YR5/3（にぶい黄褐）	7.5YR4/2（灰褐）	○				○2mm以下	
291	⑤	深鉢	胴部	撚糸文 沈線文	ナデ	7.5YR5/3（にぶい褐）	7.5YR4/1（褐灰）	○				○1mm以下	
292	⑤	深鉢	胴部	撚糸文 沈線文	ナデ	10YR5/3（にぶい黄褐）	7.5YR4/2（灰褐）	○				○2mm以下	
293	④・⑤	深鉢	頸部~胴部	撚糸文 沈線文	ナデ	7.5YR5/3（にぶい褐）	10YR5/2（灰黄褐）	○				○3mm以下	頸部径30.8cm
294	④・⑤	深鉢	頸部~胴部	撚糸文 沈線文	ナデ	7.5YR5/3（にぶい褐）	10YR5/3（にぶい黄褐）	○				○2mm以下	未貫通穿孔あり
295	⑤	深鉢	頸部	沈線文　ナデ	ナデ	10YR5/2（灰黄褐）	7.5YR4/2（灰褐）	○			○	○2mm以下	
296	⑤	深鉢	頸部~胴部	沈線文　ナデ	ナデ	10YR5/3（にぶい黄褐）	7.5YR5/3（にぶい褐）	○				○2.5mm以下	
297	⑤・⑥	深鉢	胴部~底部	撚糸文 沈線文	ナデ	5YR5/4（にぶい赤褐）	10YR4/2（灰黄褐）	○				○1mm以下	底部径12cm
298	⑤	深鉢	胴部~底部	撚糸文 沈線文　ナデ	ナデ	7.5YR5/2（灰褐）	7.5YR4/1（褐灰）	○				○1mm以下	
299	⑤	深鉢	胴部~底部	撚糸文 沈線文	ナデ	5YR5/4（にぶい赤褐）	10YR4/1（褐灰）	○				○1mm以下	
300	⑤	深鉢	胴部~底部	撚糸文 沈線文	ナデ	7.5YR5/3（にぶい褐）	2.5Y4/1（黄灰）	○				○1mm以下	
301	⑥	深鉢	胴部 （底部付近）	撚糸文 沈線文	ナデ	10YR5/2（灰黄褐）	10YR5/3（にぶい黄褐）	○				○1mm以下	
302	⑥	深鉢	胴部~底部	撚糸文 沈線文	ナデ	10YR6/4（にぶい黄橙）	10YR6/3（にぶい黄橙）	○			○	○1mm以下	
303	⑤・⑥	深鉢	胴部 （底部付近）	撚糸文 沈線文	ナデ	5YR5/3（にぶい赤褐）	7.5YR5/2（灰褐）	○				○1mm以下	
304	⑥	深鉢	胴部 （底部付近）	撚糸文 沈線文	ナデ	7.5YR6/4（にぶい橙）	7.5YR5/4（にぶい褐）	○			○	○1mm以下	
305	⑥	深鉢	底部	沈線文	ナデ	10YR6/3（にぶい黄橙）	10YR6/3（にぶい黄橙）	○				○1.5mm以下	底部径8.8cm
306	⑤	深鉢	底部	ナデ	ナデ	10YR5/2（灰黄褐）	10YR5/3（にぶい黄褐）	○			○	○2.5mm以下	
307	⑤・⑥	深鉢	口縁~頸部	沈線文 撚糸文	ナデ	10YR6/3（にぶい黄橙）	10YR6/3（にぶい黄橙）	○				○4mm以下	口唇部に刻み
308	⑤・⑥	深鉢	口縁~頸部	沈線文	ナデ	10YR6/4（にぶい黄橙）	10YR6/4（にぶい黄橙）	○				○2mm以下	口唇部に刻み
309	⑤	深鉢	口縁~頸部	撚糸文 沈線文	ナデ	5YR5/4（にぶい赤褐）	10YR5/3（にぶい黄褐）	○				○2mm以下	口唇部に刻み
310	⑤・⑥	深鉢	胴部	撚糸文 沈線文	ナデ	10YR6/3（にぶい黄橙）	10YR6/3（にぶい黄橙）	○				○3mm以下	
311	⑤・⑥	深鉢	胴部	撚糸文 沈線文	ナデ	10YR6/3（にぶい黄橙）	10YR6/3（にぶい黄橙）	○				○1.5mm以下	
312	⑤	深鉢	胴部	撚糸文 沈線文	ナデ	10YR6/4（にぶい黄橙）	2.5Y6/3（にぶい黄）	○				○1mm以下	
313	⑤	深鉢	胴部	撚糸文 沈線文	ナデ	10YR6/4（にぶい黄橙）	10YR6/3（にぶい黄橙）	○				○1.5mm以下	
314	⑤	深鉢	胴部	撚糸文 沈線文	ナデ	7.5YR5/3（にぶい褐）	10YR5/3（にぶい黄褐）	○				○1.5mm以下	
315	⑤	深鉢	胴部	撚糸文 沈線文	ナデ	10YR5/3（にぶい黄褐）	10YR6/3（にぶい黄橙）	○			○	○1mm以下	
316	⑥	深鉢	口縁~頸部	ナデ	ナデ	10YR5/3（にぶい黄褐）	2.5Y4/1（赤灰）	○				○1mm以下	口唇部に刻み
317	⑥	深鉢	口縁~頸部	ナデ	ナデ	10YR5/2（灰黄褐）	7.5YR5/3（にぶい褐）	○				○1mm以下	口唇部に刻み（?）
318	⑥	深鉢	口縁	ナデ	ナデ	7.5YR4/2（灰褐）	10YR6/3（にぶい黄橙）	○				○1mm以下	口唇部に刻み
319	⑥	深鉢	口縁~頸部	ナデ	ナデ	10YR5/2（灰黄褐）	10YR6/3（にぶい黄橙）	○				○1mm以下	口唇部に刻み
320	⑥	深鉢	口縁	ナデ	ナデ	7.5YR5/3（にぶい褐）	7.5YR4/2（灰褐）	○				○2mm以下	口唇部に刻み（?）
321	⑥	深鉢	口縁~頸部	沈線文	ナデ	7.5YR5/3（にぶい褐）	10YR4/2（灰黄褐）	○				○2mm以下	口唇部に刻み
322	⑥	深鉢	口縁	ナデ	ナデ	10YR4/2（灰黄褐）	10YR4/2（灰黄褐）	○				○1mm以下	口唇部に刻み・沈線文
323	⑥	深鉢	口縁	ナデ	ナデ	10YR5/2（灰黄褐）	10YR6/3（にぶい黄橙）	○				○1mm以下	口唇部に刻み・沈線文
324	⑤	深鉢	口縁	ナデ	ナデ	2.5YR5/2（灰赤）	2.5YR5/2（灰赤）	○	○			○2mm以下	口唇部に刻み
325	⑤	深鉢	口縁~頸部	ナデ	ナデ	7.5YR5/2（灰褐）	7.5YR5/3（にぶい褐）	○				○1mm以下	口唇部に刻み
326	⑥	深鉢	口縁~頸部	ナデ	ナデ	10YR5/2（灰黄褐）	10YR5/3（にぶい黄褐）	○				○1.5mm以下	口唇部に刻み 口縁径36.8cm
327	⑥	深鉢	口縁~頸部	ナデ	ナデ	7.5YR5/3（にぶい褐）	7.5YR5/3（にぶい褐）	○				○2mm以下	
328	⑥	深鉢	口縁~頸部	ナデ	ナデ	7.5YR5/4（にぶい褐）	10YR5/3（にぶい黄褐）	○				○1.5mm以下	口唇部に刻み
329	⑥	深鉢	口縁	沈線文	ナデ	7.5YR5/3（にぶい褐）	7.5YR5/2（灰黄褐）	○				○1mm以下	口唇部に刻み
330	⑥	深鉢	口縁~頸部	沈線文	ナデ	10YR5/2（灰黄褐）	7.5YR5/3（にぶい褐）	○				○1.5mm以下	口唇部に刻み
331	⑥	深鉢	口縁~頸部	沈線文	ナデ	10YR5/2（灰黄褐）	10YR4/1（褐灰）	○				○1mm以下	口唇部に刻み
332	⑥	深鉢	口縁~頸部	沈線文	ナデ	10YR5/2（灰黄褐）	10YR5/3（にぶい黄褐）	○				○1.5mm以下	口唇部に刻み
333	⑥	深鉢	口縁~頸部	沈線文	ナデ	7.5YR5/3（にぶい褐）	7.5YR4/2（灰褐）	○				○2mm以下	口唇部に刻み
334	⑥	深鉢	頸部	ナデ　沈線文	ナデ	7.5YR4/2（灰褐）	2.5Y4/1（黄灰）	○			○	○2mm以下	
335	⑤	深鉢	口縁~頸部	沈線文	ナデ	10YR6/3（にぶい黄橙）	10YR5/2（灰黄褐）	○				○1.5mm以下	口唇部に刻み
336	⑥	深鉢	口縁~頸部	沈線文	ナデ	10YR5/3（にぶい黄褐）	10YR6/3（にぶい黄橙）	○				○1mm以下	
337	⑤	深鉢	口縁~頸部	沈線文	ナデ	10YR5/3（にぶい黄褐）	10YR5/2（灰黄褐）	○				○4mm以下	口唇部に刻み（?）
338	⑥	深鉢	口縁~頸部	沈線文	ナデ	7.5YR5/3（にぶい褐）	7.5YR5/3（にぶい褐）	○				○2mm以下	口唇部に刻み
339	⑤	深鉢	口縁~頸部	沈線文	ナデ	10YR6/3（にぶい黄橙）	10YR4/2（灰黄褐）	○				○3mm以下	口唇部に刻み
340	⑥	深鉢	口縁	沈線文	ナデ	10YR5/3（にぶい黄褐）	2.5YR5/2（灰赤）	○			○	○1mm以下	口唇部に刻み
341	⑥	深鉢	口縁~頸部	沈線文	ナデ	7.5YR4/2（灰褐）	2.5Y4/1（黄灰）	○				○2.5mm以下	口唇部に刻み
342	④	深鉢	口縁	沈線文	ナデ	7.5YR5/3（にぶい褐）	7.5YR4/2（灰褐）	○				○2mm以下	口唇部に刻み
343	⑤	深鉢	口縁	沈線文	ナデ	10YR5/3（にぶい黄褐）	10YR5/3（にぶい黄褐）	○				○2mm以下	口唇部に刻み
344	①	深鉢	口縁	沈線文	ナデ	10YR6/4（にぶい黄橙）	10YR5/3（にぶい黄褐）	○			○	○2mm以下	口唇部に刻み（?）
345	⑥	深鉢	口縁	沈線文	ナデ	7.5YR4/2（灰褐）	10YR5/2（灰黄褐）	○				○2mm以下	口唇部に刻み

報告書No.	出土層位	器形	部位	文様及び調整		色調		胎土					備考
				外面	内面	外面	内面	石英長石	キンウンモ	クロウンモ	角閃石輝石	砂粒	
346	⑤	深鉢	口縁	沈線文	ナデ	7.5YR5/3（にぶい褐）	7.5YR5/4（にぶい褐）	○				○1mm以下	口唇部に刻み
347	⑤	深鉢	口縁	沈線文	ナデ	10YR5/3（にぶい黄褐）	10YR5/3（にぶい黄褐）	○				○1mm以下	口唇部に刻み
348	⑤	深鉢	口縁	沈線文	ナデ	10YR4/2（灰黄褐）	2.5YR4/2（灰赤）	○				○3mm以下	口唇部に刻み
349	⑤	深鉢	口縁	沈線文	ナデ	5YR5/4（にぶい赤褐）	5YR4/3（にぶい赤褐）	○				○1mm以下	口唇部に刻み
350	⑥	深鉢	口縁	沈線文	ナデ	7.5YR4/2（灰褐）	7.5YR5/3（にぶい褐）	○				○1mm以下	口唇部に刻み
351	⑤	深鉢	口縁	沈線文	ナデ	7.5YR5/4（にぶい褐）	10YR6/3（にぶい黄橙）	○				○2mm以下	口唇部に刻み
352	⑥	深鉢	口縁～頸部	沈線文	ナデ	7.5YR5/3（にぶい褐）	7.5YR5/3（にぶい褐）	○				○3mm以下	口唇部に刻み
353	⑥	深鉢	口縁	沈線文	ナデ	7.5YR4/2（灰褐）	7.5YR5/3（にぶい褐）	○				○5mm以下	口唇部に刻み
354	⑤・⑥	深鉢	口縁	沈線文	ナデ	7.5YR5/3（にぶい褐）	10YR5/3（にぶい黄褐）	○				○3mm以下	口唇部に刻み
355	⑤	深鉢	口縁	沈線文	ナデ	7.5YR5/4（にぶい褐）	7.5YR6/4（にぶい橙）	○				○1mm以下	口唇部に刻み
356	⑥・⑤	深鉢	口縁	沈線文	ナデ	7.5YR5/4（にぶい褐）	7.5YR6/4（にぶい橙）	○				○2mm以下	口唇部に刻み
357	⑤	深鉢	口縁	沈線文	ナデ	10YR6/4（にぶい黄橙）	2.5YR4/2（灰赤）	○				○1mm以下	口唇部に刻み スス付着
358	⑥	壺	口縁	沈線文	ナデ	10YR5/3（にぶい黄褐）	10YR6/3（にぶい黄橙）					○1mm以下	口唇部に刻み
359	⑥	深鉢	口縁	沈線文	ナデ	10YR6/3（にぶい黄橙）	10YR6/3（にぶい黄橙）	○				○1mm以下	口唇部に刻み
360	⑥	深鉢	口縁～頸部	沈線文	ナデ	10YR6/3（にぶい黄橙）	10YR6/3（にぶい黄橙）	○				○1mm以下	口唇部に刻み
361	⑥	深鉢	口縁	沈線文	ナデ	10YR6/3（にぶい黄橙）	10YR5/3（にぶい黄褐）	○				○1mm以下	口唇部に刻み 口縁径 29.4cm
362	⑤・⑤	深鉢	口縁～頸部	沈線文	ナデ	7.5YR5/3（にぶい褐）	10YR5/3（にぶい黄褐）	○				○4mm以下	口唇部に刻み
363	⑤	深鉢	頸部	沈線文	ミガキ	7.5YR4/2（灰褐）	7.5YR4/1（褐灰）	○			○	○1mm以下	
364	⑥	深鉢	頸部	ナデ 沈線文	ナデ	2.5Y5/2（暗灰黄）	2.5Y5/2（暗灰黄）	○				○3mm以下	
365	⑤	深鉢	頸部	ナデ 沈線文	ナデ	5YR4/2（灰褐）	7.5YR4/1（褐灰）	○			○	○1mm以下	
366	⑥	深鉢	頸部～胴部	沈線文	ナデ	7.5YR4/2（灰褐）	10YR5/2（灰黄褐）	○				○1mm以下	
367	⑥	深鉢	頸部	ナデ 沈線文	ナデ	10YR5/3（にぶい黄褐）	7.5YR5/4（にぶい黄褐）	○				○1.5mm以下	
368	⑥	深鉢	頸部～胴部	沈線文	ナデ	10YR5/2（灰黄褐）	7.5YR4/2（灰褐）	○			○	○2mm以下	
369	⑤	深鉢	頸部～胴部	沈線文	ナデ	7.5YR5/4（にぶい褐）	10YR7/1（灰白）	○				○1.5mm以下	内外面に赤色顔料が付着か?
370	⑤・⑤	深鉢	頸部	沈線文	ナデ	10YR6/3（にぶい黄橙）	2.5YR6/3（にぶ橙）	○				○1mm以下	
371	⑤	深鉢	頸部	沈線文	ナデ	7.5YR5/4（にぶい褐）	10YR6/3（にぶい黄橙）	○				○4mm以下	
372	⑤	深鉢	胴部（?）	沈線文	ナデ	2.5Y5/2（暗灰黄）	10YR5/3（にぶい黄褐）	○	○			○2mm以下	
373	⑤・⑥	深鉢	胴部	沈線文	ナデ	10YR6/4（にぶい黄橙）	10YR6/4（にぶい黄橙）	○				○2mm以下	口唇部にキザミ目
374	⑥	深鉢	胴部（?）	沈線文	ナデ	7.5YR5/4（にぶい褐）	10YR5/3（にぶい黄褐）	○				○1mm以下	
375	⑥	深鉢	胴部	沈線文 ナデ	ナデ	7.5YR6/4（にぶい橙）	7.5YR5/4（にぶい褐）	○				○3mm以下	
376	⑥	深鉢	胴部	沈線文	ナデ	7.5YR5/4（にぶい褐）	7.5YR6/4（にぶい橙）	○			○	○2mm以下	
377	⑤	深鉢	胴部	沈線文 ナデ	ナデ	10YR6/3（にぶい黄橙）	10YR6/4（にぶい黄橙）	○			○	○3mm以下	
378	⑤・⑥	深鉢	頸部～胴部	沈線文	ナデ	10YR5/3（にぶい黄褐）	10YR5/2（灰黄褐）	○			○	○8mm以下	頸部径 22cm
379	⑤・⑥	深鉢	頸部～胴部	沈線文	ナデ	10YR5/3（にぶい黄褐）	10YR5/2（灰黄褐）	○			○	○2mm以下	
380	⑥	深鉢	胴部	沈線文	ナデ	10YR5/2（灰黄褐）	10YR6/3（にぶい黄橙）	○				○1mm以下	
381	⑤	深鉢	胴部	沈線文	ナデ	10YR5/3（にぶい黄褐）	10YR4/1（褐灰）	○				○3mm以下	
382	⑤	深鉢	頸部	ナデ 沈線文	ナデ	10YR5/2（灰黄褐）	10YR5/3（にぶい黄褐）	○			○	○3mm以下	スス付着
383	⑥	鉢 小型	口縁～胴部	沈線文 指押え	ナデ	2.5Y5/2（暗灰黄）	10YR4/2（灰黄褐）	○				○1mm以下	口唇部に刻み
384	⑤・⑥	深鉢	胴部～底部	沈線文	ナデ	10YR6/3（にぶい黄橙）	10YR5/3（にぶい黄褐）	○				○1mm以下	底部径 9.5cm
385	⑥	鉢小型	口縁～底部	指押え→ナデ 指頭痕あり	指押え→ナデ 指頭痕あり	7.5YR5/2（灰褐）	2.5Y4/1（黄灰）	○				○1.5mm以下	残存率 70% 口縁径 11.4cm 器高 7.8cm 底部径 9cm
386	⑥	壺	口縁～胴部	沈線文	ナデ	5YR4/3（にぶい赤褐）	5YR5/4（にぶい赤褐）	○				○3mm以下	口縁径 11cm
387	⑥	壺	口縁	沈線文	ナデ	10YR5/3（にぶい黄褐）	10YR5/3（にぶい黄褐）	○				○1.5mm以下	
388	⑤	壺	口縁	沈線文	ナデ	10YR4/2（灰黄褐）	10YR5/3（にぶい黄褐）	○				○1.5mm以下	
389	⑥	壺	口縁	沈線文	ナデ	5YR5/4（にぶい赤褐）	5YR5/4（にぶい赤褐）	○				○2mm以下	
390	⑤	壺	口縁	沈線文	ナデ	10YR5/3（にぶい黄褐）	7.5YR5/3（にぶい褐）	○				○1mm以下	
391	⑥	壺	口縁	ナデ	ナデ	7.5YR5/3（にぶい褐）	7.5YR4/2（灰褐）	○				○4mm以下	口縁径 7.8cm
392	⑥	壺	口縁	ナデ	ナデ	7.5YR5/3（にぶい褐）	7.5YR5/3（にぶい褐）	○				○1mm以下	
393	⑤	壺	口縁	微隆帯（刻み）	ナデ	7.5YR5/4（にぶい褐）	7.5YR5/4（にぶい褐）	○				○1mm以下	
394	⑤	鉢	口縁	ナデ	ナデ	5YR5/4（にぶい赤褐）	7.5YR5/3（にぶい褐）	○				○1mm以下	
395	⑤	壺	口縁	ナデ	ナデ	5YR5/4（にぶい赤褐）	7.5YR5/4（にぶい褐）	○				○2mm以下	
396	⑤	壺 （輪状耳栓？）		ナデ	ナデ	5YR5/4（にぶい赤褐）	5YR5/4（にぶい赤褐）	○				○1.5mm以下	赤色顔料有り （丹塗り） 上部 3.6cm
397	⑥	壺 （輪状耳栓？）		ナデ	ナデ	5YR5/4（にぶい赤褐）	5YR5/4（にぶい赤褐）	○				○2mm以下	赤色顔料有り （丹塗り） 上部 5cm
398	⑥	壺	胴部	沈線文	ナデ	7.5YR5/3（にぶい褐）	5YR5/4（にぶい赤褐）	○	○			○3mm以下	
399	⑥	壺	胴部	沈線文	ナデ	5YR5/3（にぶい赤褐）	7.5YR4/1（褐灰）	○			○	○2mm以下	
400		壺	胴部	沈線文	ナデ	10YR5/3（にぶい黄褐）	7.5YR5/3（にぶい褐）	○				○1mm以下	
401	⑥	壺	胴部	微隆帯（刻み）	ナデ	7.5YR6/4（にぶい橙）	7.5YR5/4（にぶい褐）	○			○	○2mm以下	
402	⑤・⑥	壺	胴部	微隆帯（刻み）	ナデ	10YR6/3（にぶい黄橙）	10YR5/3（にぶい黄褐）	○				○2mm以下	
403	⑤・⑤	壺	胴部	微隆帯（刻み）	ナデ	10YR6/4（にぶい黄橙）	2.5Y5/2（暗灰黄）	○				○3mm以下	
404	⑤・⑤	壺	胴部	微隆帯（刻み）	ナデ	7.5YR6/4（にぶい橙）	10YR5/3（にぶい黄褐）	○			○	○1.5mm以下	
405	⑥	壺	胴部	微隆帯（刻み）	ナデ	7.5YR5/4（にぶい褐）	7.5YR5/3（にぶい褐）	○				○2.5mm以下	
406	⑥	壺	胴部	微隆帯（刻み）	ナデ	7.5YR5/4（にぶい褐）	5YR5/4（にぶい赤褐）	○	○			○2mm以下	
407	⑥	壺	胴部	微隆帯（刻み）	ナデ	10YR5/2（灰黄褐）	7.5YR5/4（にぶい褐）	○				○1mm以下	
408	⑤	壺	胴部	微隆帯（刻み）	ナデ	7.5YR5/3（にぶい褐）	10YR5/2（灰黄褐）	○				○2mm以下	
409	⑤・⑥	壺	胴部	微隆帯（刻み）	ナデ	7.5YR5/4（にぶい褐）	7.5YR5/4（にぶい褐）	○				○1mm以下	
410	⑥	壺	胴部	微隆帯（刻み）	ナデ	5YR5/4（にぶい赤褐）	5YR5/4（にぶい赤褐）	○	○			○2mm以下	
411	⑤	壺	胴部	微隆帯（刻み）	ナデ	10YR6/3（にぶい黄橙）	7.5YR5/4（にぶい褐）	○				○1mm以下	
412	④	不明土製品	胴部	ナデ	ナデ	10YR6/4（にぶい黄橙）	7.5YR6/4（にぶい橙）	○				○1.5mm以下	赤色顔料有り（丹塗り）

2．石器

縄文時代早期の遺物包含層中より1786点の石器が出土している。ここではその中で製品類を中心に報告を行う。なお、石器の整理作業に当たっては従来使用されている器種についての分類基準を設定し、器種分類を行った。器種分類については本遺跡の報告のためにおこなった分類作業であり、他の遺跡と共通するものではない。なお、早期の遺物包含層中には縄文草創期の土器が出土したため、草創期の土器の分布範囲や各石器の形態・石材等を検討し、草創期に該当すると考えられる石器資料については第2章において報告を行っている。しかし、本項で報告を行う資料についても草創期の資料が混在している可能性は考えられる。

石鏃 *(413～497)*

剥片を素材とし、両面調整や半両面調整により鋭い先端部を作り出し、平面形がおおむね三角形や五角形を想定させるもの。欠損品も含めて総数で121点出土している。平面形状や加工状況により以下のように細分した。この分類案は本遺跡における石鏃の細分案である。

・1類（413～419）：抉りが浅いかほとんどなく平面形は正三角形又は二等辺三角形を呈し、1.5cm四方におさまるもの。黒曜石の使用が目立つ。413・417は素材剥片の形状を大きく残している。総数で7点出土している。

・2類（420・421）：抉りが浅く胴下半部に最大幅を持ち、その付近から屈曲し全体の形状が五角形を呈するいわゆる鉢地型石鏃に該当する。2点出土している。

・3類（422～434）：片面又は両面の加工が周縁部のみにとどまり、素材剥片の形状を大きく残すもの。一部には石鏃の未製品も含まれている可能性が考えられる。流紋岩・頁岩・砂岩の使用が目立つ。総数で13点出土している。

・4類（435～448）：特徴的な抉り・脚部を呈するもの。いわゆる銀形鏃に該当する。大型品にはチャート、小型品には黒曜石が主に使用されているようである。総数で15点出土している。

・5類（449・450）：体部は直線的に作られており、脚部にて最大幅を持ち最大幅と最大長の比率が概ね1：2以上となるもの。断面形が分厚いのも特徴であり、先端部の破片だと石錐とも判断されるような形状を呈している。総数で2点出土している。

・6類（451）　：中央部付近に外側に張り出す屈曲部を持ち、抉りが深く脚部の先端が尖るもの。全体の形状が将棋の駒のような形状を呈している。1点のみ出土している。

・7類（452～455）：基部の抉りがなく平面形は正三角形や二等辺三角形を呈し、その規模は1.5cm四方を超えるもの。総数で4点出土している。

・8類（456～465）：平面形や規模は7類と同じだが、基部の抉りが浅い。いわゆる凹基鏃に該当するもの。チャート・流紋岩・頁岩の使用が目立つ。総数で10点出土している。

・9類（466～468）：先端部付近において屈曲部をもち、脚部が張り出して最大幅を持つもの。周縁部は鋸歯状を呈するものもある。総数で3点が出土しており、すべて安山岩系統の石材を使用している。

・10類（469～494）：上記の分類に当てはまらないものをここにまとめた。基部の抉りは深いものばかりである。総数で25点出土している。

・11類（495～497）：欠損品であり、上記の分類に当てはめることができなかった資料である。総数で38点出土している。

石鏃未製品 *(498～506)*

剥片を素材とし、石鏃とほぼ同規模で両面調整や半両面調整により平面形が三角形や楕円形を呈するもの。石鏃に比べ先端部が鈍いものや全体が分厚いもの、加工が未熟なものなどを分類した。一部には石錐や3類の石鏃を含んでいる可能性がある。総数で8点出土している。

尖頭状石器 *(507～514)*

剥片を素材とし、両面調整や半両面調整により鈍い先端部と抉りのない基部を持つもの。石鏃よりはおおむね規模は大きい。511・514以外は素材剥片の形状を大きく残し、先端部も明瞭ではないことから未製品の可能性が考えられる。510・513は石錐の可能性もある。総数で8点が出土している。

尖頭器 *(515)*

剥片を素材として両面調整または半両面調整により尖端部を作り出すもので、平面形が柳葉形を想定させるものを尖頭器として分類した。安山岩製のものが1点出土している。尖端部を欠損しており、左右非対称の形状を呈する。

異形石器 *(516～527)*

定型的な石器とは異なる形状を呈するものまたは機能が類推できない石器をここにまとめた。以下の5種類に分類が可能である。総数で12点出土している。剥片素材のものは黒曜石や黒色・白色系統の色調を呈する堆積岩（チャート・頁岩など）が使用されており、色調的に黒色・白色を意識しているような印象を受ける。

・1類（516・519・525）：平面形が石鏃のような形をしているが先端部は尖らないもの。いわゆるトロトロ石器に該当する資料である。表面には部分的に光沢が見られる。

・2類（517・521）：体部の真ん中付近に抉りが入っているもの。表面には光沢があり、剥離面の稜線は鈍くなっている部分が見られる。

・3類（518・522）：下端部付近に抉りをいれ、特徴的な端部を作り出し、先端は二股に分かれるもの。本書に掲載した実測図を180°転回すると特異な石鏃のようにも見える。522は一部稜線が鈍くなっており、光沢も見られる。

・4類（520・523・524・526）：平面形は3類と類似するが下端部には抉りを入れない。全体的に面長である。表面には部分的に光沢があり、剥離面の稜線も一部は鈍くなっている。

・5類（527）：平面形が長楕円形の扁平な砂岩礫を使用する。表面は裏面に比べるとやや光沢があり、ツルツルとした手触りである。また鋭い稜線で形成される溝やくぼみが確認される。一見有溝砥石とも考えられるが、溝が直線ではないので砥石には該当しないと判断することとなった。また表面の質感や光沢が見られる点、溝の稜線が鋭い点は他の異形石器とも共通する特徴であったため、異形石器の一種の可能性が窺えると考えてここで報告することとした。

1類・3類・4類は平面形が類似しているが、今回の報告ではその類似性が把握できるように実測図を並べることができなかったことを反省している。図化作業中において明確な分類案を持たなかったため、石鏃の抉り部分のような部位を上にすべきか下にすべきかを定めずにこれらの資料を実測してしまい、さらにそのまま報告書に掲載したため、本報告書中でこの3種類の異形石器の平面形の類似性が読み取りにくくなってしまった。

実測図は遺物の使用状況を類推できるように天地を定め、図化をおこなうことが望ましい。異形石器のように使用状況を類推することが困難な資料については製作技法や形態によって分類案を定め、その分類に沿って器械的に図化する必要があった。今回のように重要な情報を読み取りにくくなるような報告にならないよう注意したい。

石鏃 *(528・529)*

剥片を素材として両面調整・半両面調整または素材剥片の一部に調整を施し、尖端部（鏃部）を作り出したもの。総数で2点出土しており、いずれも桑ノ木津留産黒曜石製である。

スクレイパー *(530～554)*

剥片を素材として縁辺に連続的な調整を行い刃部を作り出したもの。刃部調整は周縁部にとどまる。全体的な傾向として規模の小さいものには流紋岩・頁岩・ホルンフェルス、大型品には砂岩を主に使用している。欠損品が目立っており、総数で61点出土している。545・548は上部につまみ状の突起部分が認められる。554は緑色堆積岩を使用しており、一部稜線が不明瞭になっているところが見受けられる。

石斧及び石斧片 *(555～569)*

剥片または縦長の礫を素材とし、その短辺に刃部を形成するもの。平面形は四角形又は五角形を呈する。様々な石材が使用されているが、緑色堆積岩の使用が特徴的である。破片資料が目立つが、完形品および全体の形状が復元できる資料については、その規模や平面形態から以下の3種類と未製品に分類できる。総数で16点出土している。

・1類（557・559・563）：両刃で、平面形は短冊状を呈するもの。長さは8cm以上で重量は100g以上となる。

・2類（556・561）：片刃または両刃で平面形は短冊形を呈するが1類よりも小規模なもの。

・3類（558・562・564）：2類と同様に1類よりも小規模であり、両刃で円礫を素材とするもの。素材の形状に平面形が左右されるため、平面形は不定形である。

・未製品（555・560）：研磨がおこなわれていないかまたは一部にしか及んでおらず、刃部が不明瞭なもの。

565は基部の破片である。566～569は緑色堆積岩を使用する刃部の破片である。

石斧の加工に関する剥片 *(570～572)*

石斧に使用されることのある緑色堆積岩製の剥片をここにまとめた。使用石材及び表面に確認される研磨痕や主要剥離面の打点の位置が不明瞭であることから石斧の製作又は再加工の際に発生した剥片であると推定される。571は特に研磨の擦跡が明瞭である。572は上部に敲打痕が明瞭に確認される。総数で5点出土している。

剥片・砕片 *(573～584)*　**石核** *(585～587)*

剥片は剥片を素材としており、意図が不明瞭な二次加工が施されているものやまったく加工施されていないをまとめた。

また砕片は1cm四方に収まるものを分類した。

石核は礫又は剥片を素材とするが、形態を整えるためとはみなしがたいネガティブな剥離面を持つものを分類している。

遺物包含層中より出土した剥片・砕片・石核をあわせた数量を石材ごとに以下に記載する。頁岩・流紋岩504点・5920g。チャート157点・756.3g（チャートについては分割礫も含んでいる）。砂岩539点・28483.1g。黒曜石（桑ノ木津留産137点・137.6g、姫島産3点・3.8g、西北九州産58点・33.6g、鹿児島県産4点・22.7g）。サヌカイト・安山岩10点・18.2g。尾鈴山酸性岩10点・82.9g。玉髄2点・3.2g。石英2点・7.6g。ホルンフェルス5点・589.9g。

礫器 ***(588・589)***

分割礫の縁辺に荒い加工を施して刃部を作り出したものを分類した。一部には石核が混入している可能性も考えられる。砂岩製のものが3点、尾鈴山酸性岩製のものが1点出土している。

敲石・磨石 ***(590～606)***

敲石は礫を素材として、その一端・両端・平らな面に敲打の結果と考えられる剥れや敲打痕、敲打によるものと推定されるくぼみを持つものを分類した。磨石は円礫の平らな面の片面または両面に平滑な面を持つものを分類した。総数で101点出土している。そのほとんどが砂岩製である。また尾鈴山酸性岩製のものは10点見られる。使用痕の在り方から以下のように細分される。

- **1類**：円礫及び角礫の平坦面に敲打の痕跡が確認されるもの。側面にも敲打の痕跡が確認されるものもある。（590・592～595・600）。
- **2類**：礫の端部や側面にのみ敲打の痕跡が確認されるもの（591・596・597・602・605）。602は素材に分厚い礫片を使用している。
- **3類**：円形の礫の平坦面に平滑な面が確認されるもの（598・599・601・603・606）。平坦面には敲打痕も見られるものもあり、敲石として兼用されたものもみられる。

台石 ***(607)***

大型の礫を素材として、その平坦な面に敲打の結果と考えられる剥れや敲打痕の認められるもの。総数で6点が出土している。すべて砂岩製である。

石皿 ***(図版43)***

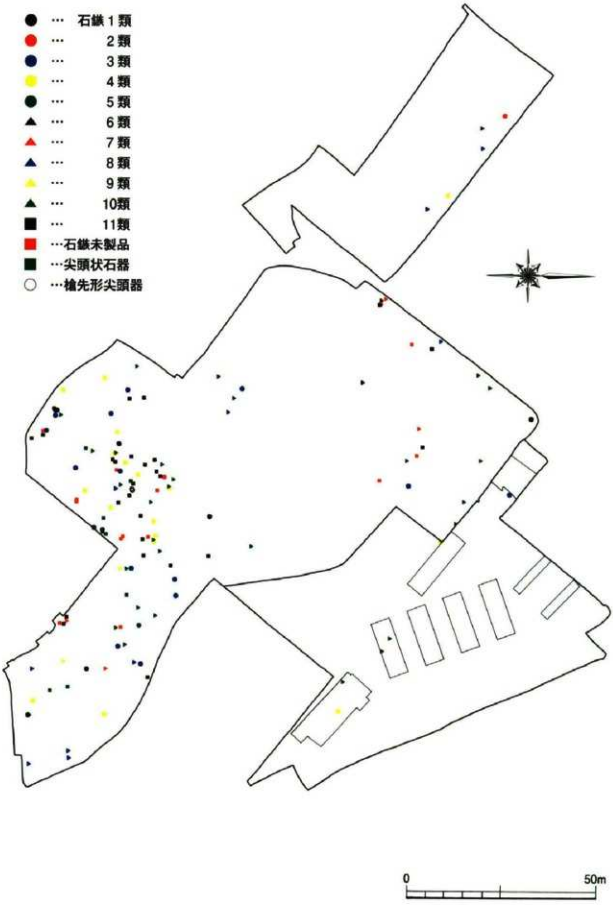
大型の礫を素材として、その平坦な面に平滑な面やくぼんだ滑らかな面を持つもの。総数で14点が出土している。すべて砂岩製である。

早期の遺物包含層における土器と石器の分布状況について

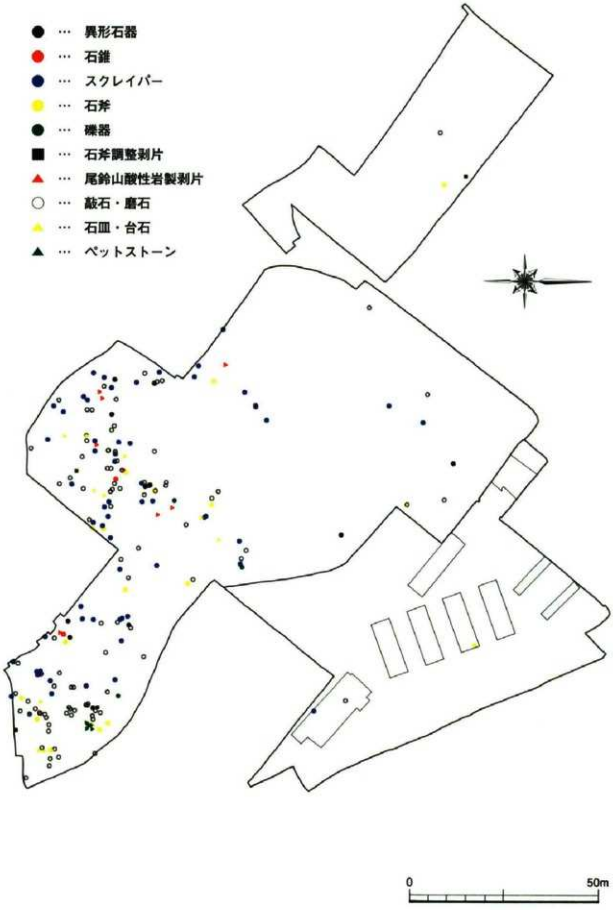
調査区南側（特に薩摩火山灰が堆積していた付近：第9図参照）での早期の土器の分布状況を観察すると、貝殻円筒形土器が少なく、押型文土器と平栓式土器・塞ノ神式土器が多く見られる。この範囲に分布する石鏃に注目すると4・10・11類の分布が多く見られる。石鏃10・11類は特定の形態を示すものではないが、4類はいわゆる鍬形鏃に分類される石鏃である。また剥片石器の使用石材に注目すると西北九州産黒曜石製の資料が多く見られている。そこで西北九州産黒曜石と鍬形鏃について土器の分布状況から使用時期の検討を行う。

この様な遺物の分布状況から4類の石鏃及び西北九州産黒曜石製の資料は、押型文土器～塞ノ神式土器の時期に特徴的に使用されるものと考えられる。しかし、本遺跡と同じ台地上に立地する山田第1遺跡において、西北九州産黒曜石製の石鏃が早期中葉の土器と平面分布が重なるように出土している。この事例を参考にすると本遺跡における西北九州産黒曜石も押型文土器の時期に特徴的なものと使用時期をさらに限定して考えることもできる。

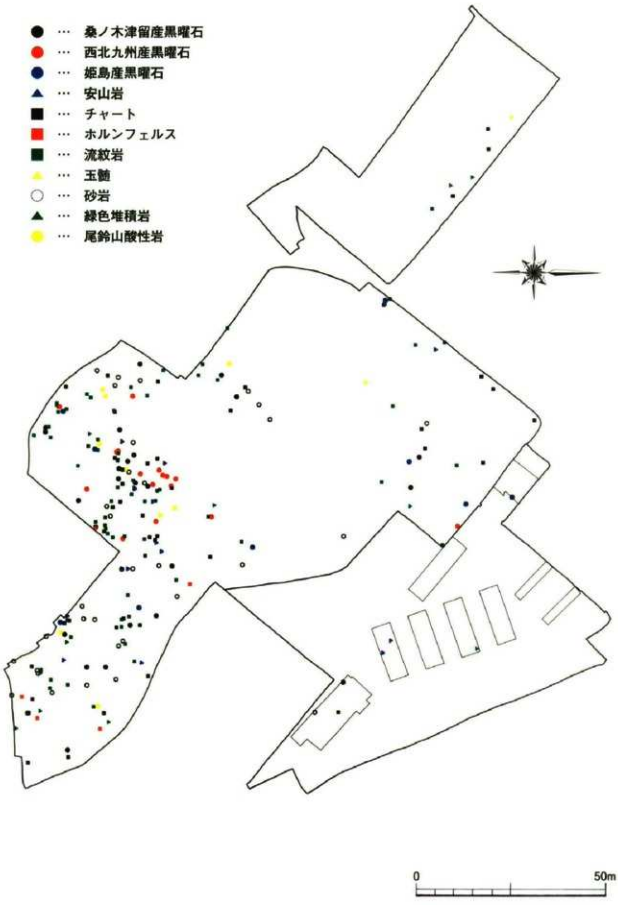
一方、4類の石鏃が特定の土器と平面分布が重なるような様子は、船引地区遺跡群では確認されていない。本遺跡の南東部にある清武上猿ノ原遺跡第3地区において鍬形鏃は36点出土し、さらに調査区の東側に分布が集中するという状況が見られた。しかし、第3地区では早期中葉から末葉の土器が調査区のほぼ全面に広がっていて、土器の分布に特徴的な偏りは見られなかったため、使用時期の検討はおこなえなかった。第3地区の石器は共に出土した土器の量から、早期中葉～末葉のものが多いと推定されるならば、本遺跡の分布状況から導き出された「鍬形鏃の使用が押型文土器～塞ノ神式土器にかけて特徴的な現象である」という仮説にも矛盾はしないといえる。今後の資料増加及び再検討によって、さらに細かい使用時期の特定が行えることを期待する。



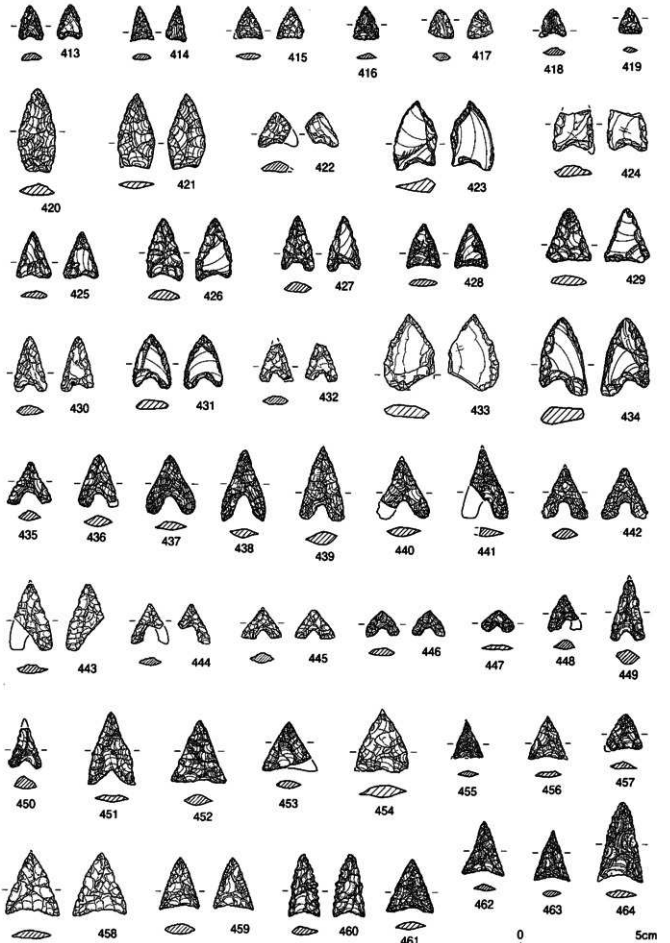
第69図　縄文時代早期遺物包含層出土主要石器分布図【狩猟具】(S=1/1000)



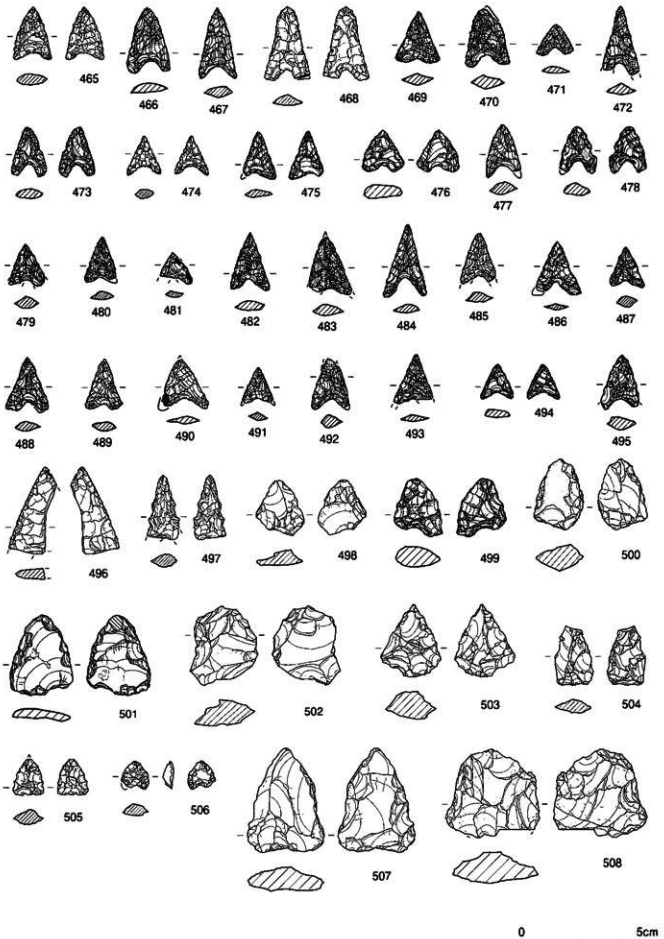
第70図　縄文時代早期遺物包含層出土主要石器分布図【狩猟具以外】(S=1/1000)



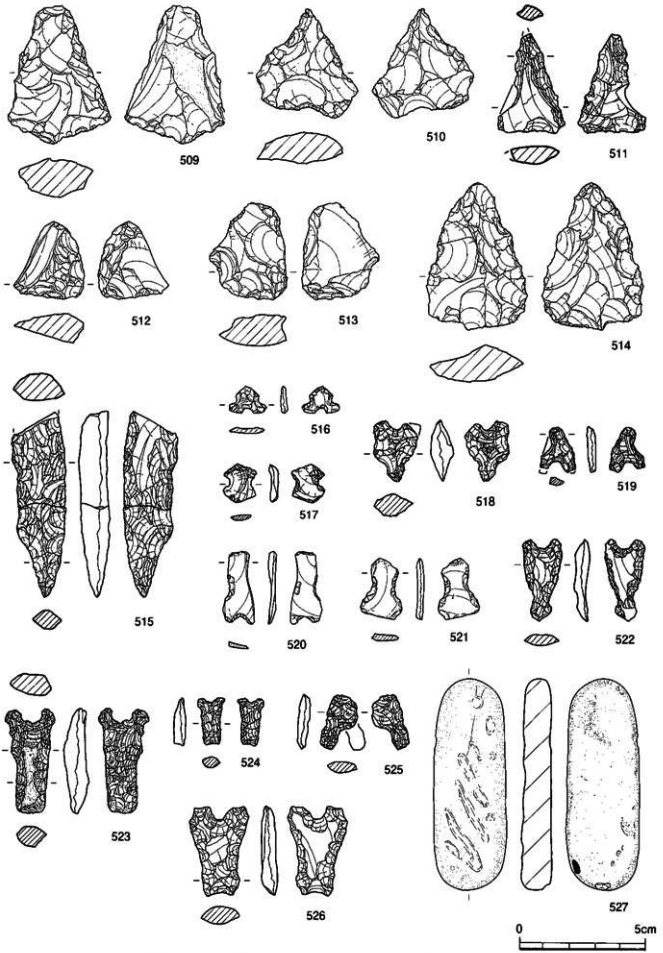
第71図　縄文時代早期遺物包含層出土主要剥片石器分布図【石材別】（S＝1/1000）



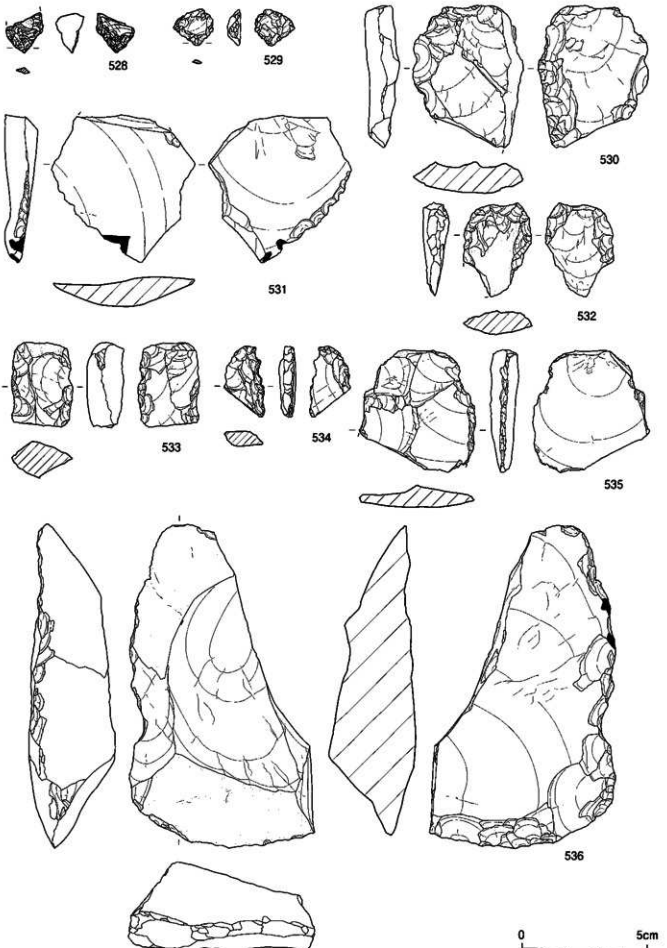
第72図　縄文時代早期遺物包含層出土石器実測図①（S=2/3）



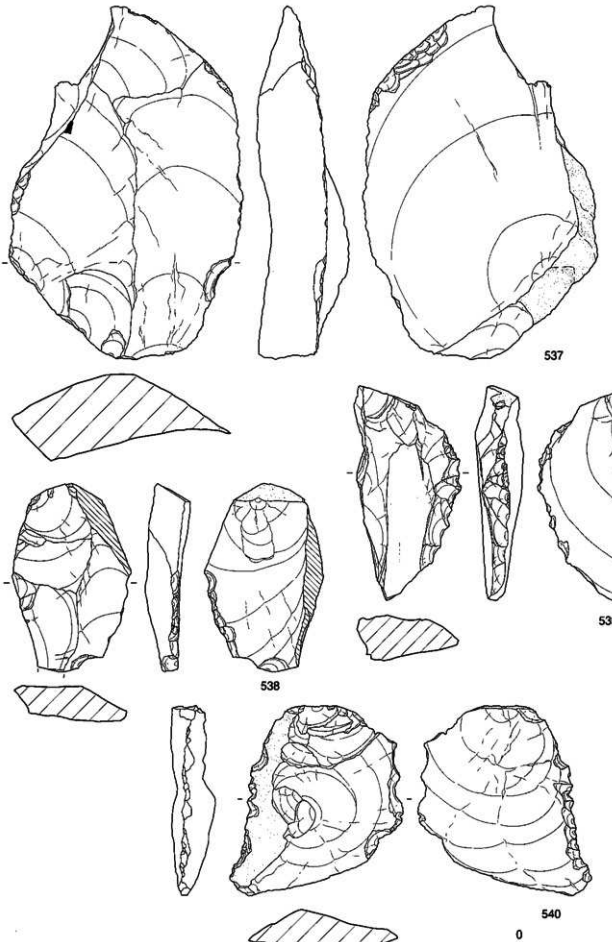
第73図　縄文時代早期遺物包含層出土石器実測図②（S=2/3）



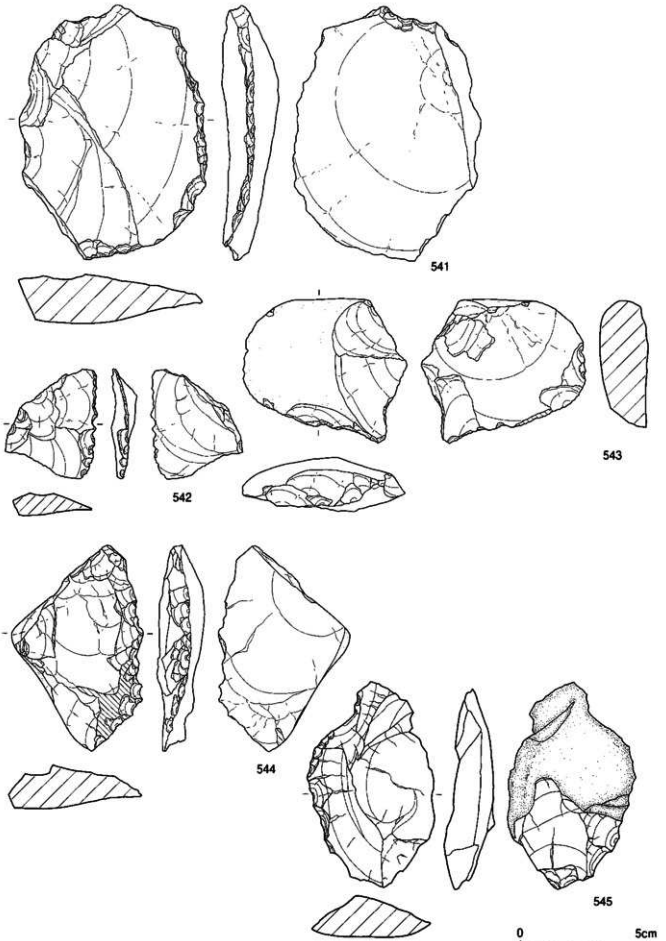
第74図　縄文時代早期遺物包含層出土石器実測図③（S=2/3）



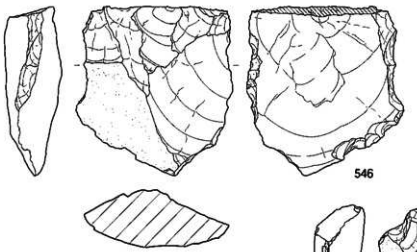
第75図　縄文時代早期遺物包含層出土石器実測図④（S=2/3）

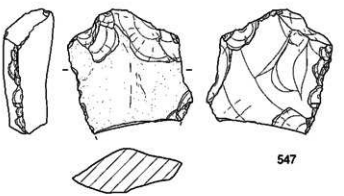


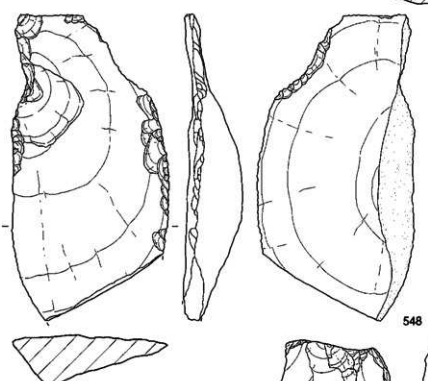
第76図　縄文時代早期遺物包含層出土石器実測図⑤（S＝2/3）

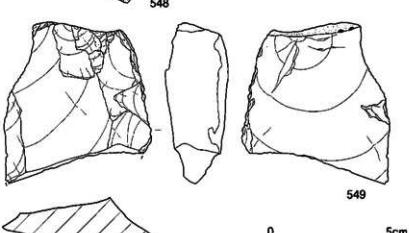


第77図　縄文時代早期遺物包含層出土石器実測図⑥（S＝2/3）

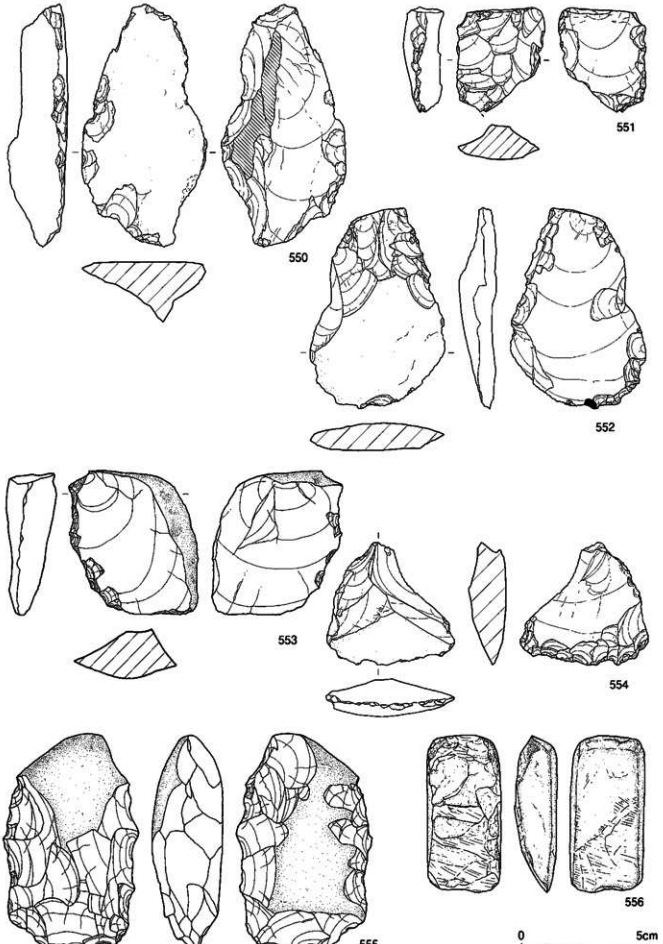




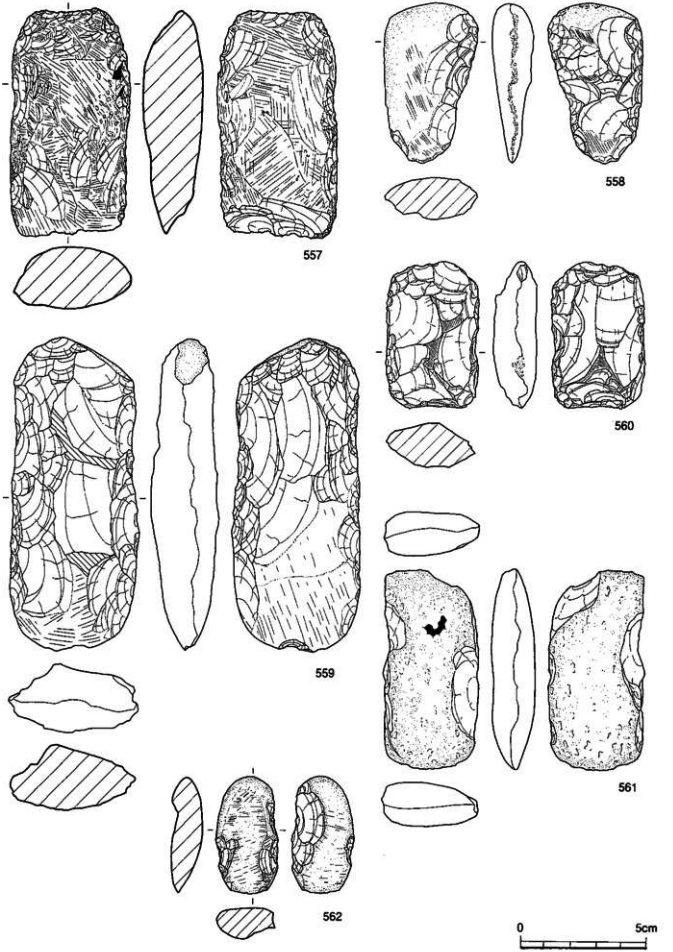




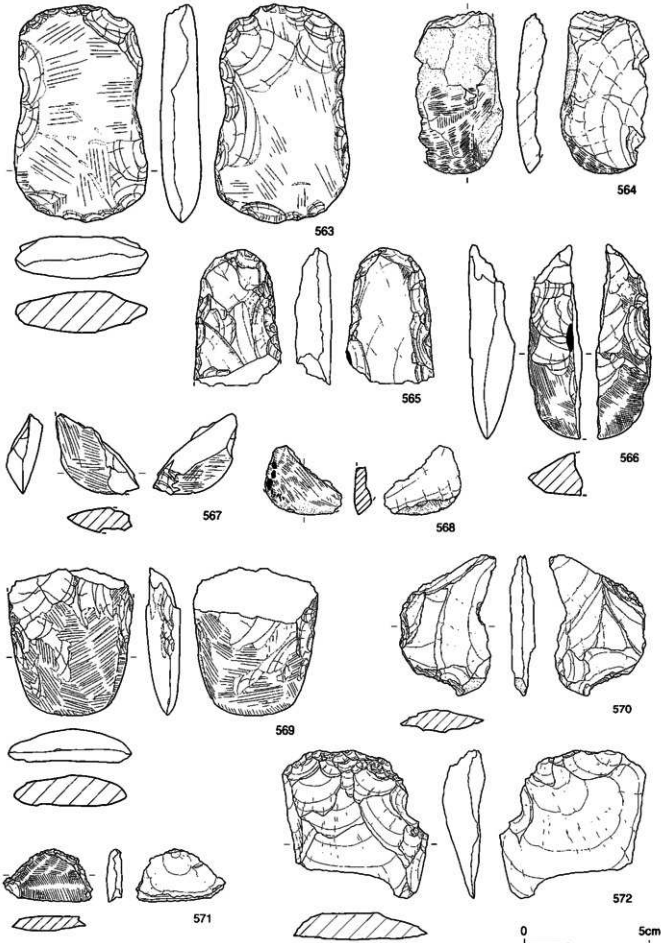
第78図　縄文時代早期遺物包含層出土石器実測図⑦（S＝2/3）



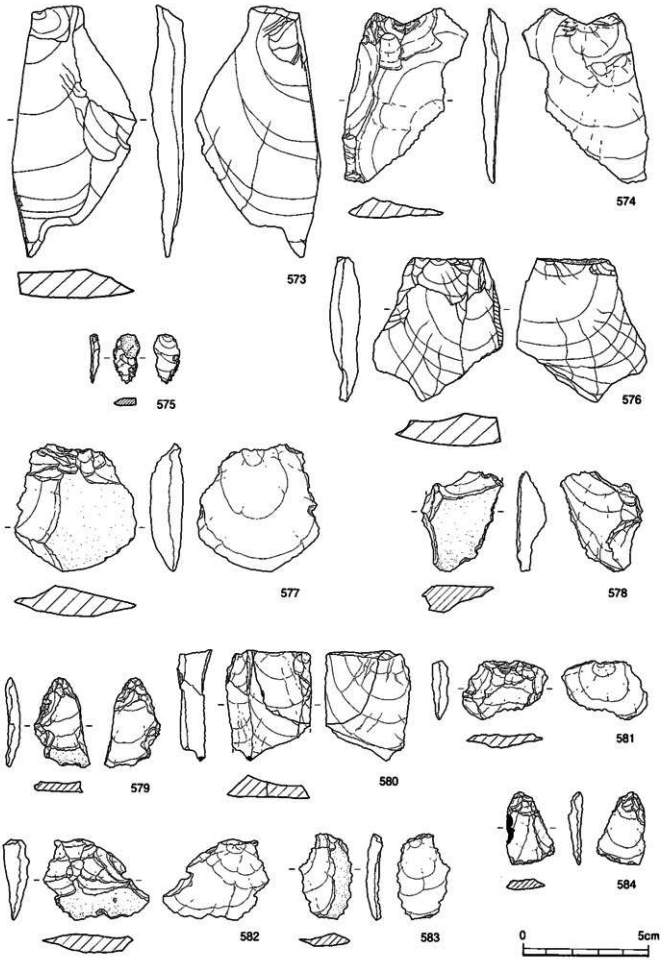
第79図　縄文時代早期遺物包含層出土石器実測図⑧（S＝2/3）



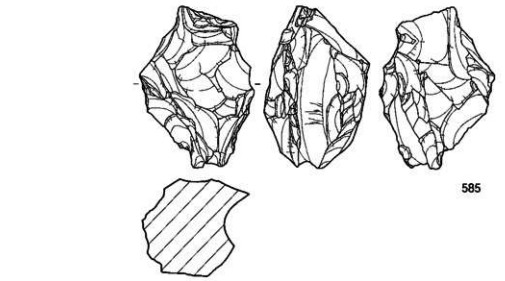
第80図　縄文時代早期遺物包含層出土石器実測図⑨（S＝2/3）

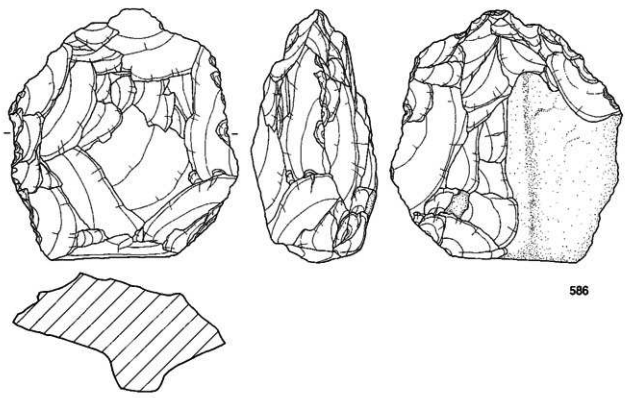


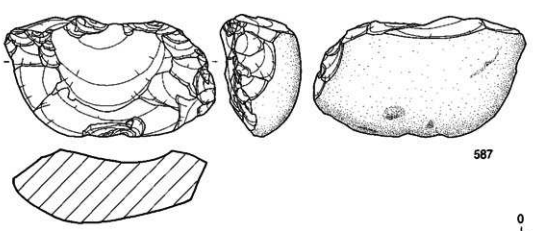
第81図　縄文時代早期遺物包含層出土石器実測図⑩（S＝2/3）



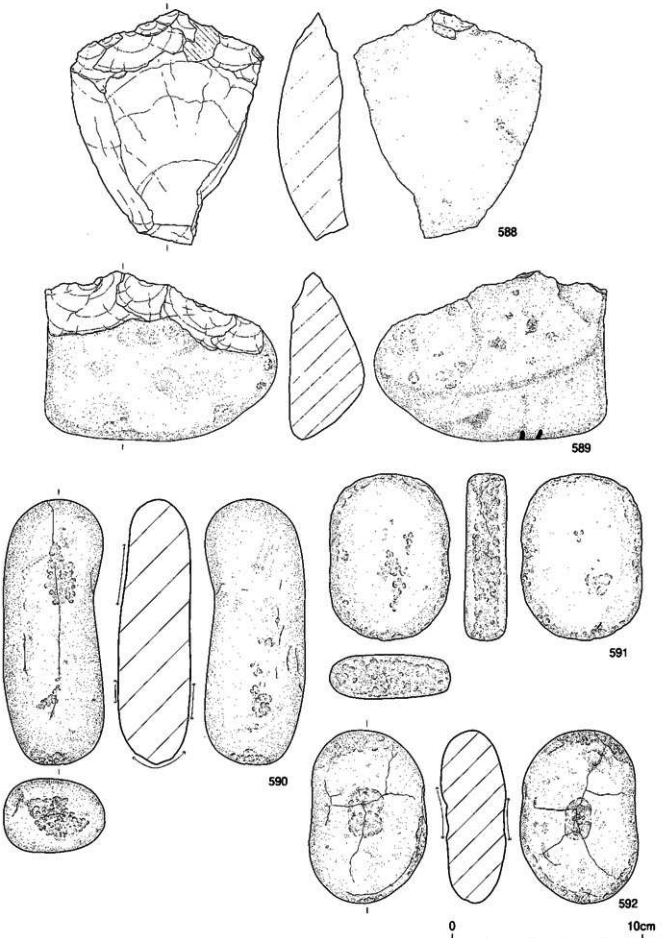
第82図　縄文時代早期遺物包含層出土石器実測図⑪（S=2/3）



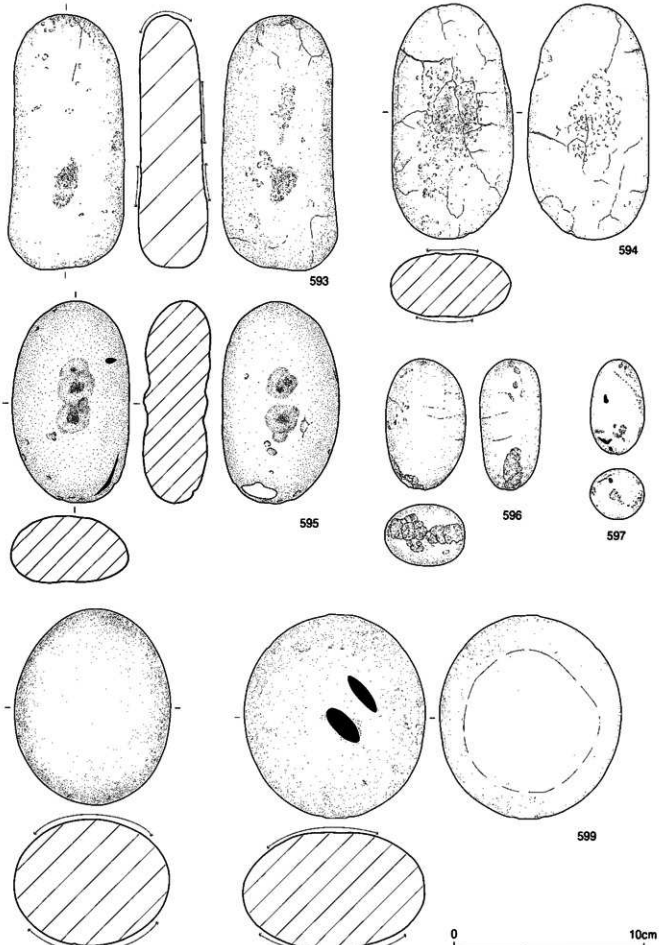




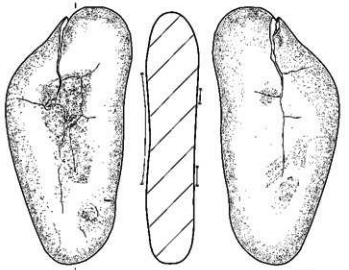
第83図　縄文時代早期遺物包含層出土石器実測図⑫（S=2/3）



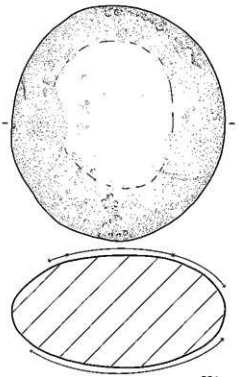
第84図　縄文時代早期遺物包含層出土石器実測図⑲（S＝1/2）



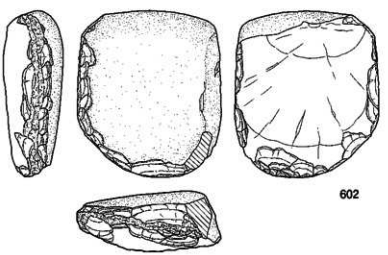
第85図　縄文時代早期遺物包含層出土石器実測図⑭（S＝1/2）



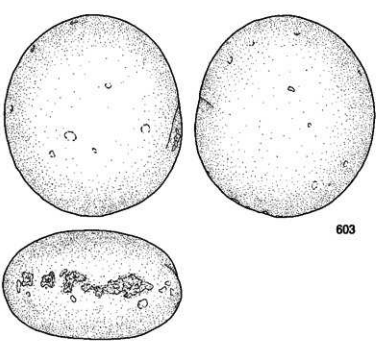
600



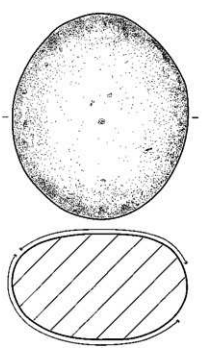
601



602

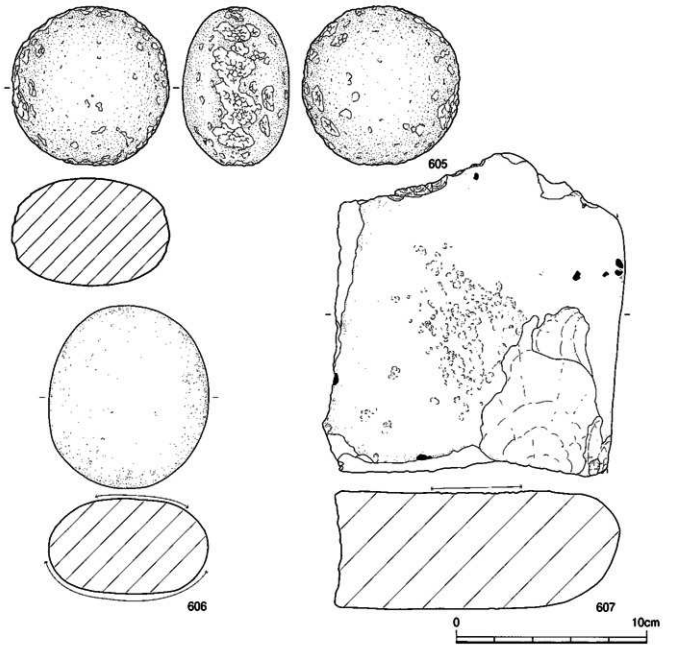


603



604

第86図　縄文時代早期遺物包含層出土石器実測図⑮（S＝1/2）



第87図　縄文時代早期遺物包含層出土石器実測図⑯（S＝1/2）

第12表　縄文時代早期遺物包含層出土石器計測分類表

遺物No.	整理No.	器種	出土グリット	層位	石材	長(cm)	幅(cm)	厚(cm)	重(g)	備考
413	126	打製石鏃	E2	VI	チャート	1.35	2.0	0.3	0.3	1類
414	35	打製石鏃	D2	VI	黒曜石（桑ノ木津留）	(1.35)	(8.5)	0.25	(0.2)	1類　基部欠損
415	139	打製石鏃	D1	VI	黒曜石（桑ノ木津留）	(1.2)	(1.1)	0.25	(0.2)	1類　基部欠損
416	67	打製石鏃	C16	VI	黒曜石（腰岳）	1.3	1.05	0.25	0.3	1類
417	150	打製石鏃	C13	VI	黒曜石（針尾）	1.1	1.0	0.3	0.3	1類
418	69	打製石鏃	C7	VI	黒曜石（西北九州）	(1.05)	(0.8)	0.3	(0.3)	1類　脚部欠損
419	73	打製石鏃	C8	VI	安山岩	(1.0)	(0.95)	0.2	(0.1)	1類　先端部欠損
420	102	打製石鏃	E2	VI	頁岩	3.25	1.45	0.4	2.0	2類
421	39	打製石鏃	A3	VI	玉髄	(2.95)	(1.15)	0.3	(1.2)	2類　基部欠損
422	152	打製石鏃	C12	VI	チャート	(1.4)	(1.3)	0.4	(0.5)	3類　脚部欠損
423	49	打製石鏃	C13	V	流紋岩	2.7	1.7	0.55	1.7	3類
424	151	打製石鏃	C13	VI	流紋岩	(1.6)	(1.6)	4.5	(1.3)	3類　先端・脚部欠損
425	54	打製石鏃	C8	VI	頁岩	1.8	1.4	0.3	0.5	3類
426	134	打製石鏃	C10	VI	頁岩	2.4	1.45	0.4	1.0	3類
427	53	打製石鏃	C8	VI	頁岩	2.15	1.3	0.45	0.8	3類
428	129	打製石鏃	B6	VI	黒曜石（桑ノ木津留）	1.75	1.3	0.3	0.4	3類
429	133	打製石鏃	B	V	黒曜石（姫島）	2.15	1.8	0.4	0.8	3類
430	155	打製石鏃	－	VI	サヌカイト	(2.1)	(1.3)	0.4	(0.8)	3類　脚部欠損
431	51	打製石鏃	C14	V	砂岩	2.15	1.55	0.4	1.0	3類
432	142	打製石鏃	C10	VI	砂岩	(1.5)	(1.3)	0.3	(0.5)	3類　先端・脚部欠損
433	154	打製石鏃	C11	V	砂岩	(3.0)	(2.0)	0.5	(2.9)	3類　基部欠損
434	55	打製石鏃	C11	VI	砂岩	3.1	1.9	0.7	3.3	3類
435	107	打製石鏃	T12	V	チャート	1.7	1.75	0.4	0.6	4類
436	74	打製石鏃	C9	V	チャート	(2.1)	(1.5)	0.5	(1.1)	4類　脚部欠損
437	99	打製石鏃	D1	VI	チャート	2.3	1.95	0.35	1.1	4類
438	75	打製石鏃	C9	VI	チャート	2.85	1.75	0.35	1.2	4類
439	80	打製石鏃	C11	V	チャート	3.0	1.85	0.55	2.0	4類
440	70	打製石鏃	C7	VI	チャート	(2.25)	(2.0)	0.35	(1.0)	4類　先端・脚部欠損
441	59	打製石鏃	A5	V	チャート	(2.7)	(1.5)	0.3	(0.8)	4類　先端・脚部欠損
442	38	打製石鏃	C3	V	チャート	(2.0)	1.8	0.4	(1.2)	4類　先端部欠損
443	146	打製石鏃	C11	VI	チャート	(2.6)	(1.5)	0.35	(0.8)	4類　先端・脚部欠損
444	143	打製石鏃	D2	VI	チャート	(1.6)	(1.2)	0.3	(0.2)	4類　脚部欠損
445	147	打製石鏃	C8	VI	黒曜石（桑ノ木津留）	(1.1)	1.6	0.4	(0.4)	4類　先端部欠損
446	36	打製石鏃	C8	VI	黒曜石（桑ノ木津留）	1.0	1.3	0.3	0.2	4類
447	83	打製石鏃	C12	V	黒曜石（腰岳）	0.8	1.3	0.2	0.2	4類
448	77	打製石鏃	C11	VI	黒曜石（腰岳）	(1.45)	(1.25)	0.35	(0.3)	4類　脚部欠損
449	85	打製石鏃	C13	VI	頁岩	(2.4)	1.3	0.6	(1.3)	5類　先端部欠損
450	81	打製石鏃	C11	VI	玉髄	(1.7)	1.3	0.5	(0.7)	5類　先端部欠損
451	62	打製石鏃	B7	V	玉髄	(2.9)	(1.85)	2.6	(1.1)	6類　脚部欠損
452	61	打製石鏃	B6	VI	チャート	2.5	2.2	0.4	1.5	7類
453	103	打製石鏃	E2	VI	頁岩	(1.9)	(1.95)	0.3	(0.9)	7類　基部欠損
454	94	打製石鏃	C16	V	頁岩	(2.3)	(2.1)	0.5	(1.9)	7類　先端・基部欠損
455	97	打製石鏃	D1	VI	黒曜石（桑ノ木津留）	(1.5)	(1.2)	0.25	(0.3)	7類　先端・基部欠損
456	57	打製石鏃	A3	VI	チャート	(1.7)	(1.5)	0.2	0.4	8類　基部欠損
457	96	打製石鏃	C16	V	チャート	(1.5)	(1.4)	0.3	(0.5)	8類　基部欠損
458	144	打製石鏃	D2	VI	チャート	(2.5)	2.1	0.3	(1.3)	8類　先端部欠損
459	140	打製石鏃	D2	VI	チャート	2.1	1.6	0.4	0.8	8類
460	137	打製石鏃	C3	VI	チャート	2.45	1.3	0.35	0.8	8類
461	93	打製石鏃	C14	VI	流紋岩	2.1	1.9	0.3	0.8	8類
462	78	打製石鏃	C11	VI	流紋岩	2.2	1.7	0.25	0.6	8類

（　）の値は残存値を示す

遺物No.	整理No.	器種	出土グリット	層位	石材	長(cm)	幅(cm)	厚(cm)	重(g)	備考
463	58	打製石鏃	A5	V	頁岩	(2.0)	(1.4)	0.25	(0.6)	8類　基部欠損
464	101	打製石鏃	E2	VI	頁岩	(3.3)	(1.75)	0.3	(1.7)	8類　基部欠損・磨製石鏃？
465	158	打製石鏃	D2	VI	黒曜石（桑ノ木津留）	2.0	1.5	0.4	0.8	8類
466	98	打製石鏃	D1	VI	安山岩	2.55	1.7	0.35	1.5	9類
467	95	打製石鏃	C15	VI	安山岩	2.75	1.5	0.4	1.3	9類
468	153	打製石鏃	C11	V	サヌカイト	(2.9)	(1.8)	0.4	(1.3)	9類　脚部欠損
469	56	打製石鏃	A3	VI	チャート	2.0	1.7	0.5	1.0	10類
470	89	打製石鏃	C14	V	チャート	(2.3)	1.8	0.55	(1.8)	10類　先端部欠損
471	79	打製石鏃	C11	VI	チャート	1.2	1.5	0.25	0.3	10類
472	90	打製石鏃	C14	V	チャート	(2.7)	(1.5)	0.45	(1.2)	10類　脚部欠損
473	127	打製石鏃	E2	VI	チャート	1.95	1.4	0.4	0.8	10類
474	141	打製石鏃	D2	VI	チャート	1.5	1.3	0.4	0.4	10類
475	136	打製石鏃	E2	VI	チャート	(1.9)	(1.35)	0.3	(0.5)	10類　脚部欠損
476	48	打製石鏃	C11	VI	チャート	1.7	1.7	0.55	1.2	10類
477	92	打製石鏃	C14	VI	頁岩	(2.1)	(1.4)	0.5	(1.0)	10類　脚部欠損
478	130	打製石鏃	T12	V	黒曜石（桑ノ木津留）	(1.85)	(1.45)	0.5	(0.8)	10類　脚部欠損
479	64	打製石鏃	C3	V	黒曜石（桑ノ木津留）	(1.55)	(1.45)	0.5	(0.7)	10類　脚部欠損
480	60	打製石鏃	B5	V	黒曜石（腰岳）	(1.8)	(1.2)	0.3	(0.5)	10類　脚部欠損
481	71	打製石鏃	C7	VI	黒曜石（腰岳）	(1.25)	(1.3)	2.8	(0.3)	10類　脚部欠損
482	88	打製石鏃	C14	V	黒曜石（姫島）	2.3	1.6	0.4	0.8	10類
483	104	打製石鏃	T7	V	黒曜石（姫島）	(2.3)	(1.7)	0.45	(1.1)	10類　先端・脚部欠損
484	100	打製石鏃	E2	V	黒曜石（姫島）	2.8	1.75	0.3	0.9	10類
485	82	打製石鏃	C12	VI	黒曜石（姫島）	(1.95)	(1.4)	0.35	(0.7)	10類　脚部欠損
486	66	打製石鏃	C4	V	黒曜石（姫島）	(2.1)	(1.8)	0.25	(0.6)	10類　脚部欠損
487	86	打製石鏃	C13	VI	黒曜石（姫島）	2.6	1.4	0.45	0.5	10類
488	63	打製石鏃	B	VI	黒曜石（姫島）	(2.1)	(1.75)	0.4	(0.8)	10類　脚部欠損
489	91	打製石鏃	C14	V	黒曜石（姫島）	(1.9)	1.5	0.35	(0.6)	10類　先端部欠損
490	68	打製石鏃	C7	V	安山岩	(1.9)	(2.3)	0.3	(0.6)	10類　先端・脚部欠損
491	106	打製石鏃	T11	VI	安山岩	(1.4)	(1.25)	0.3	(0.4)	10類　脚部欠損
492	105	打製石鏃	T11	V	安山岩	(2.0)	(1.05)	0.5	(1.1)	10類　先端・脚部欠損
493	76	打製石鏃	C11	V	安山岩	(1.95)	(1.6)	0.3	(0.7)	10類　脚部欠損
494	135	打製石鏃	C10	VI	サヌカイト	1.4	1.3	0.3	0.3	10類
495	65	打製石鏃	C3	V	黒曜石（桑ノ木津留）	(2.1)	(1.55)	(0.5)	(1.2)	11類　基部欠損
496	156	打製石鏃	C15	VI	サヌカイト	(3.4)	(1.9)	(0.45)	(1.9)	11類　先端部破片
497	157	打製石鏃	E11	V	サヌカイト	(2.5)	(1.3)	(0.5)	(1.3)	11類　基部欠損
498	164	打製石鏃未製品	C11	VI	チャート	2.1	1.9	0.6	2.0	
499	132	打製石鏃未製品	C7	V	流紋岩	2.3	1.95	0.85	2.9	
500	161	打製石鏃未製品	C11	VI	頁岩	2.8	2.0	1.0	4.5	
501	52	打製石鏃未製品	B3	VI	頁岩	3.15	2.55	0.55	4.1	
502	163	打製石鏃未製品	B6	V	頁岩	3.1	2.7	1.0	8.7	
503	162	打製石鏃未製品	C14	VI	頁岩	2.9	2.4	1.1	4.9	
504	167	打製石鏃未製品	T7	VI	黒曜石（桑ノ木津留）	2.3	1.4	0.5	1.7	
505	148	打製石鏃未製品	C16	V	黒曜石（姫島）	(1.4)	1.2	0.6	(0.8)	先端部欠損
506	160	打製石鏃未製品	C11	VI	黒曜石（西北九州）	(1.1)	(1.1)	0.5	(0.4)	脚部欠損
507	174	尖頭状石器	D1	VI	流紋岩	3.6	3.1	0.9	9.5	
508	177	尖頭状石器	C12	VI	流紋岩	(3.5)	(3.7)	1.2	(15.3)	下部欠損
509	173	尖頭状石器	D1	V	頁岩	4.9	4.0	1.5	25.3	
510	171	尖頭状石器	C11	VI	頁岩	4.3	4.0	1.2	14.4	
511	728	尖頭状石器	C11	VI	頁岩	(3.8)	(2.7)	0.7	(5.4)	先端・左側縁欠損
512	175	尖頭状石器	C11	VI	頁岩	3.1	2.8	1.1	8.7	
513	172	尖頭状石器	C14	VI	頁岩	3.8	3.1	1.2	12.4	

（　）の値は残存値を示す

遺物No.	整理No.	器種	出土グリット	層位	石材	長(cm)	幅(cm)	厚(cm)	重(g)	備考
514	176	尖頭状石器	C13	Ⅵ	ホルンフェルス	5.8	4.0	1.45	26.4	
515	22	槍先形尖頭器	C11	Ⅵ	安山岩	(7.4)	(2.1)	1.2	(18.9)	先端部欠損
516	185	異形石器	C8	Ⅵ	チャート	1.0	1.5	0.25	0.3	1類
517	112	異形石器	C16	Ⅴ	チャート	1.5	1.3	0.4	0.5	2類
518	114	異形石器	C4	Ⅵ	チャート	(2.4)	(1.8)	(0.9)	(2.8)	3類　上部欠損
519	110	異形石器	D1	Ⅵ	流紋岩	(1.75)	(1.35)	(0.35)	(0.7)	1類　左側縁・脚部欠損
520	183	異形石器	C16	Ⅵ	頁岩	2.9	1.3	0.3	0.9	4類
521	184	異形石器	C8	Ⅵ	頁岩	2.4	1.7	0.3	1.3	2類
522	3	異形石器	B5	Ⅴ	頁岩	3.2	1.5	0.6	2.3	3類
523	111	異形石器	C14	Ⅴ	黒曜石（桑ノ木津留）	4.15	1.95	1.0	5.2	4類
524	4	異形石器	C11	Ⅵ	黒曜石（桑ノ木津留）	1.9	1.05	0.5	0.7	4類
525	113	異形石器	A5	Ⅴ	黒曜石（針尾）	(2.15)	(2.0)	0.4	(1.0)	1類　脚部欠損
526	2	異形石器	C8	Ⅵ	砂岩	3.5	2.4	0.7	4.8	4類
527	186	異形石器	T4	Ⅴ	砂岩	8.4	2.8	1.3	56.0	5類
528	131	石錐	C16	Ⅴ	黒曜石（桑ノ木津留）	(1.6)	(1.6)	1.1	(1.3)	上部欠損
529	169	石錐	C12	Ⅵ	黒曜石（桑ノ木津留）	0.9	1.6	0.5	0.9	
530	201	スクレイパー	C13	Ⅵ	流紋岩	(5.5)	(4.3)	1.4	(29.8)	下部欠損
531	203	スクレイパー	C11	Ⅵ	流紋岩	(5.2)	(5.7)	1.3	(22.9)	上部欠損
532	205	スクレイパー	C8	Ⅵ	流紋岩	(3.6)	(2.7)	1.0	(8.4)	下部欠損
533	208	スクレイパー	C9	Ⅴ	流紋岩	3.3	2.4	1.5	14.4	
534	207	スクレイパー	C14	Ⅵ	頁岩	2.8	1.6	0.7	3.0	
535	206	スクレイパー	C11	Ⅵ	頁岩	(4.8)	(4.6)	1.1	(22.4)	下部欠損
536	242	スクレイパー	C15	Ⅵ	砂岩	12.7	7.4	3.4	282.0	
537	243	スクレイパー	C15	Ⅵ	砂岩	13.7	9.3	3.7	315.0	
538	194	スクレイパー	C8	Ⅵ	砂岩	(7.5)	(4.7)	1.8	(50.3)	下部欠損
539	196	スクレイパー	C3	Ⅵ	砂岩	8.5	4.2	1.9	56.1	
540	190	スクレイパー	C15	Ⅵ	砂岩	7.4	6.9	1.7	67.8	
541	189	スクレイパー	C11	Ⅵ	砂岩	9.9	7.3	2.3	142.5	
542	198	スクレイパー	C11	Ⅵ	砂岩	4.3	3.6	0.9	10.5	
543	193	スクレイパー	C15	Ⅴ	砂岩	5.6	6.5	2.1	76.4	
544	192	スクレイパー	C16	Ⅵ	砂岩	8.1	5.2	1.8	63.6	
545	9	スクレイパー	C10	Ⅵ	砂岩	8.15	5.0	2.0	59.7	
546	187	スクレイパー	D1	Ⅵ	砂岩	6.6	6.2	2.2	87.8	
547	200	スクレイパー	T12	Ⅴ	砂岩	(4.9)	(4.9)	1.9	(42.6)	下部欠損
548	188	スクレイパー	C3	Ⅵ	砂岩	(12.1)	(6.3)	2.35	(121.9)	下部欠損
549	195	スクレイパー	C15	Ⅴ	砂岩	(6.4)	(5.8)	2.5	(79.5)	下部欠損
550	191	スクレイパー	C3	Ⅵ	砂岩	9.4	4.9	2.3	79.3	
551	204	スクレイパー	D1	Ⅵ	ホルンフェルス	(4.1)	(3.5)	1.55	(22.2)	下部欠損
552	199	スクレイパー	C2	Ⅵ	ホルンフェルス	7.8	5.4	1.5	56.9	
553	44	スクレイパー	C9	Ⅴ	ホルンフェルス	5.5	5.0	2.0	55.5	
554	202	スクレイパー	C8	Ⅵ	珪質岩	4.8	5.1	1.5	31.0	
555	7	石斧未製品	C7	Ⅵ	頁岩	8.5	5.4	2.8	148.4	打製石斧か？
556	1	磨製石斧	C16	Ⅴ	頁岩	6.2	2.9	1.6	52.0	2類
557	117	磨製石斧	B5	Ⅵ	緑色堆積岩	8.9	4.8	2.4	145.9	1類　刃部再加工
558	178	磨製石斧	C11	Ⅵ	砂岩	6.3	3.7	1.65	39.0	3類
559	125	磨製石斧	D1	Ⅵ	ホルンフェルス	12.3	5.1	2.7	204.0	1類　刃部付近のみ研磨
560	179	石斧未製品	C16	Ⅴ	ホルンフェルス	5.7	3.7	1.7	47.0	
561	118	打製石斧	C10	Ⅴ	ホルンフェルス	7.9	3.75	1.75	69.9	2類
562	45	磨製石斧	D1	Ⅴ	ホルンフェルス	4.6	2.5	1.2	18.0	3類
563	119	磨製石斧	D1	Ⅵ	ホルンフェルス	8.5	5.25	1.65	108.3	1類
564	180	磨製石斧	C3	Ⅵ	頁岩	(6.3)	(3.5)	(1.0)	(24.1)	3類　石斧破片

（　）の値は残存値を示す

遺物No.	整理No.	器種	出土グリット	層位	石材	長(cm)	幅(cm)	厚(cm)	重(g)	備考
565	181	磨製石斧	D4	Ⅵ	ホルンフェルス	(5.3)	(3.5)	(1.45)	(32.2)	石斧破片・先端部欠損
566	116	磨製石斧	C6	Ⅴ	頁岩	(7.6)	(2.2)	(1.8)	(26.7)	石斧破片
567	120	磨製石斧	A5	Ⅵ	珪質岩	(3.15)	(3.35)	(1.4)	(9.0)	石斧破片
568	182	磨製石斧	C11	Ⅵ	頁岩	(2.7)	(3.0)	(0.7)	(4.9)	石斧破片
569	121	磨製石斧	T9	Ⅵ	緑色堆積岩	(5.8)	(4.9)	(1.3)	(45.3)	石斧破片・基部欠損
570	237	剥片	A5	Ⅵ	緑色堆積岩	5.5	3.8	1.0	16.5	石斧製作にかかる
571	236	剥片	C14	Ⅵ	頁岩	2.1	3.5	0.6	5.1	石斧製作にかかる
572	238	剥片	D2	Ⅵ	緑色堆積岩	4.85	5.8	1.7	46.2	石斧製作にかかる
573	47	剥片	B	Ⅵ	頁岩	9.8	4.9	1.4	48.5	
574	239	剥片	C15	Ⅵ	砂岩	6.8	5.0	1.0	17.8	
575	240	剥片	C8	Ⅵ	黒曜石（桑ノ木津留）	1.9	1.1	0.4	0.6	
576	46	剥片	C11	Ⅶ	砂岩	5.6	5.15	1.25	30.5	
577	230	剥片	C11	Ⅵ	尾鈴山酸性岩	5.0	4.8	1.3	28.2	
578	229	剥片	C12	Ⅵ	尾鈴山酸性岩	(3.9)	(3.2)	(1.15)	(9.5)	上部欠損
579	232	剥片	C8	Ⅴ	尾鈴山酸性岩	3.5	2.2	0.6	3.6	
580	235	剥片	C9	Ⅵ	尾鈴山酸性岩	(4.3)	(3.4)	(1.4)	(15.7)	下部欠損
581	234	剥片	C12	Ⅵ	尾鈴山酸性岩	2.3	3.4	0.65	3.9	
582	228	剥片	C3	Ⅴ	尾鈴山酸性岩	3.2	4.2	1.0	9.5	
583	233	剥片	C3	Ⅴ	尾鈴山酸性岩	3.4	2.1	0.65	3.2	
584	231	剥片	C16	Ⅵ	尾鈴山酸性岩	2.9	(1.9)	(0.55)	(2.3)	左側縁欠損
585	115	石核	C16	Ⅵ	頁岩	6.3	4.5	4.1	95.6	
586	109	石核	B1	Ⅵ	砂岩	9.8	9.2	4.6	378.5	
587	108	石核	B6	Ⅴ	ホルンフェルス	4.8	8.3	2.9	148.6	
588	241	礫器	C7	Ⅵ	尾鈴山酸性岩	11.9	10.0	2.75	463.0	
589	246	礫石	T	Ⅵ	砂岩	8.6	12.1	3.7	458.0	
590	244	敲石・磨石	D1	Ⅵ	砂岩	13.9	5.3	3.1	431.0	
591	218	敲石・磨石	C12	Ⅵ	砂岩	8.8	6.3	2.3	209.1	
592	214	敲石・磨石	C12	Ⅵ	砂岩	9.1	6.2	3.4	245.0	
593	217	敲石・磨石	C8	Ⅵ	砂岩	13.2	6.0	3.2	431.0	
594	215	敲石・磨石	D1	Ⅵ	砂岩	12.2	6.4	3.35	352.0	
595	122	敲石・磨石	C12	Ⅵ	砂岩	15.5	6.15	3.6	320.0	
596	213	敲石・磨石	C11	Ⅵ	砂岩	6.8	4.2	3.2	136.9	
597	211	敲石・磨石	C4	Ⅴ	砂岩	4.9	2.8	2.65	51.4	
598	221	敲石・磨石	C11	Ⅵ	砂岩	10.3	8.2	6.6	774.0	
599	219	敲石・磨石	B4	Ⅴ	砂岩	10.7	9.6	7.1	806.0	
600	212	敲石・磨石	C8	Ⅵ	砂岩	13.4	6.7	2.8	348.0	
601	220	敲石・磨石	T12	Ⅵ	砂岩	12.3	11.3	5.9	1000.0	
602	216	敲石・磨石	C7	Ⅴ	砂岩	8.8	7.6	3.15	296.0	
603	124	敲石・磨石	C7	Ⅴ	尾鈴山酸性岩	10.6	9.4	5.8	850.0	
604	223	敲石・磨石	C12	Ⅵ	尾鈴山酸性岩	10.8	9.2	5.5	812.0	
605	123	敲石・磨石	C7	Ⅵ	尾鈴山酸性岩	8.25	8.3	5.6	544.0	
606	222	敲石・磨石	C10	Ⅵ	尾鈴山酸性岩	9.5	8.4	5.0	594.0	
607	245	台石	C6	Ⅵ	砂岩	16.7	15.9	7.5	2900.0	

（　）の値は残存値を示す

1

2

3

10

7

5

9

11

4

6

12

13

16

8

20

14

21

25

17

19

15

23

22

30

29

26

35

18

41

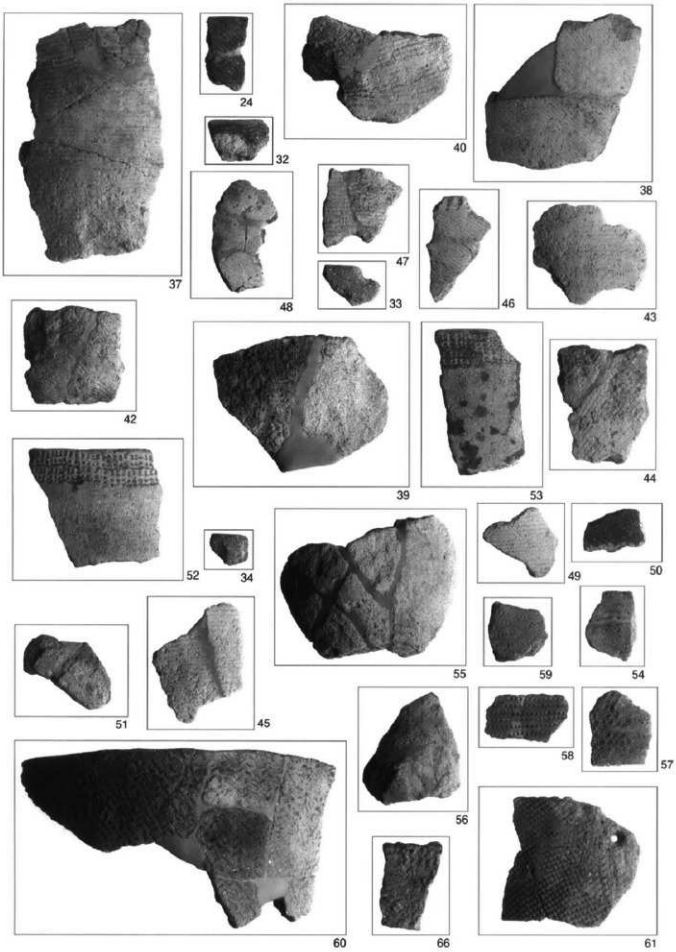
28

31

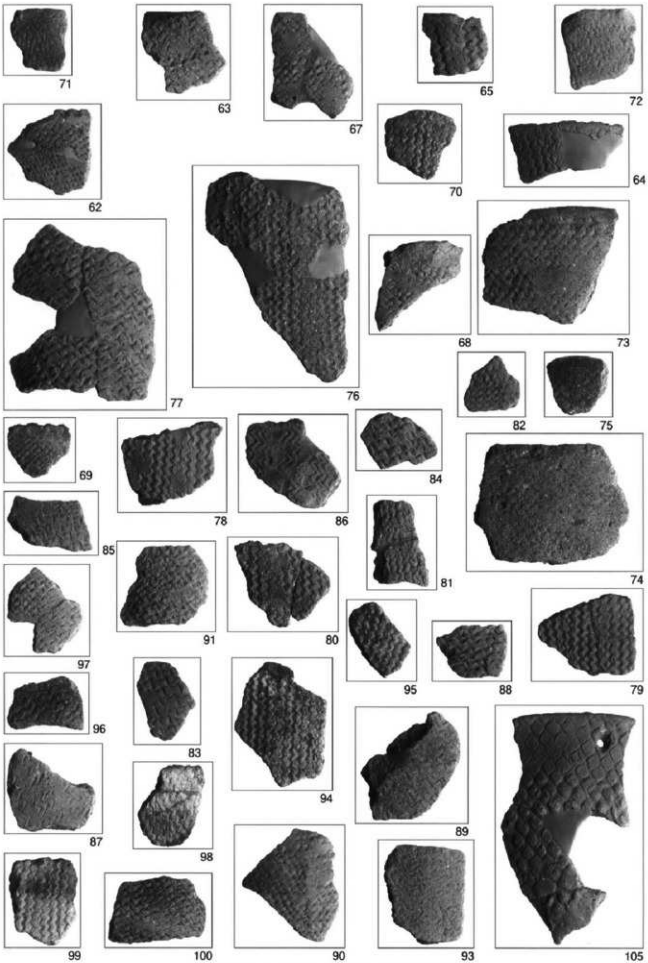
27

36

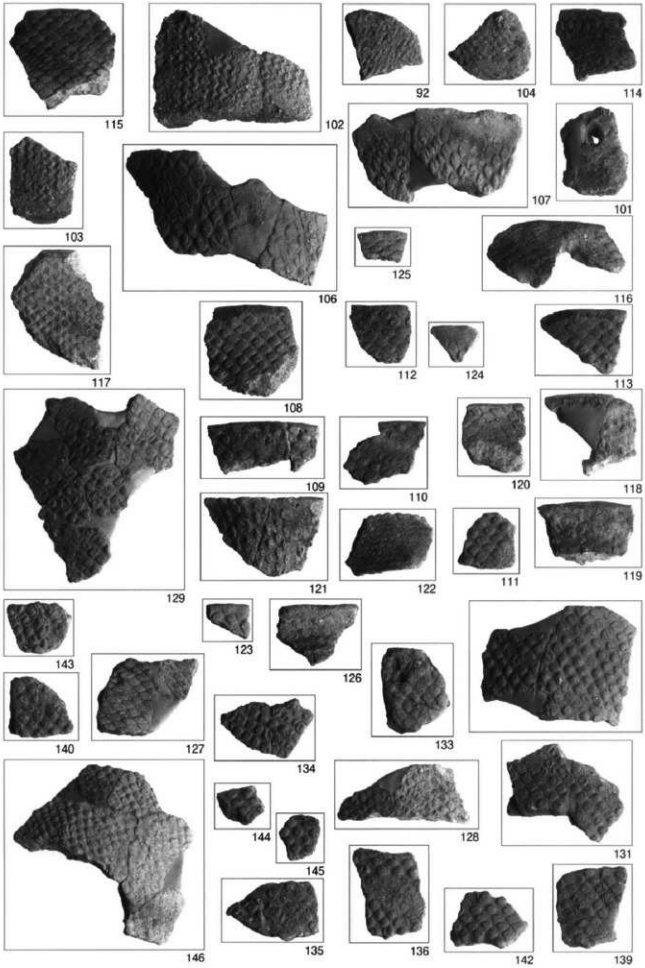
写真図版24　縄文時代早期遺物包含層出土土器①



写真図版25　縄文時代早期遺物包含層出土土器②



写真図版26　縄文時代早期遺物包含層出土土器③



写真図版27　縄文時代早期遺物包含層出土土器④

147

141

137

148

138

132

155

149

150

153

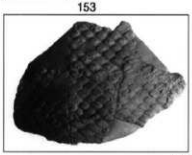
160

151

154

158

170


152

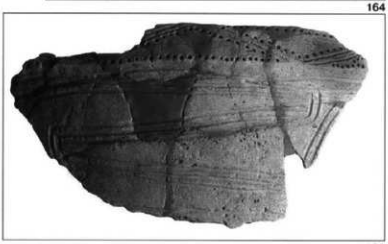
164

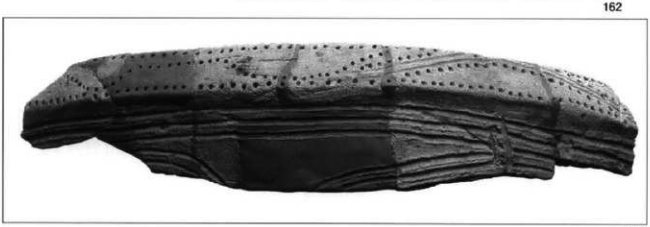
157

156

159

161


162


163

写真図版28　縄文時代早期遺物包含層出土土器⑤

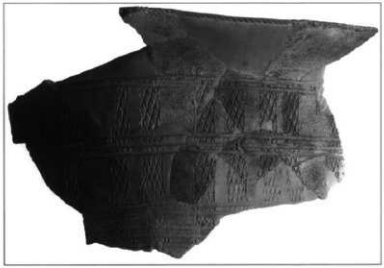
165

166

172

167

177


173

175

168

169

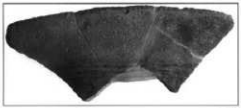
178

171

174

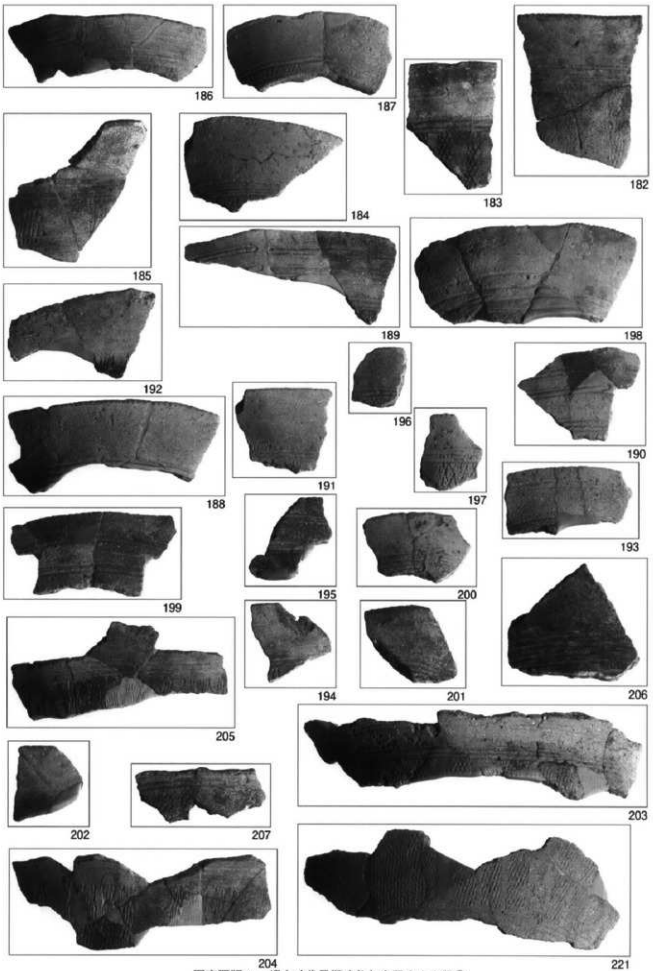
180

181

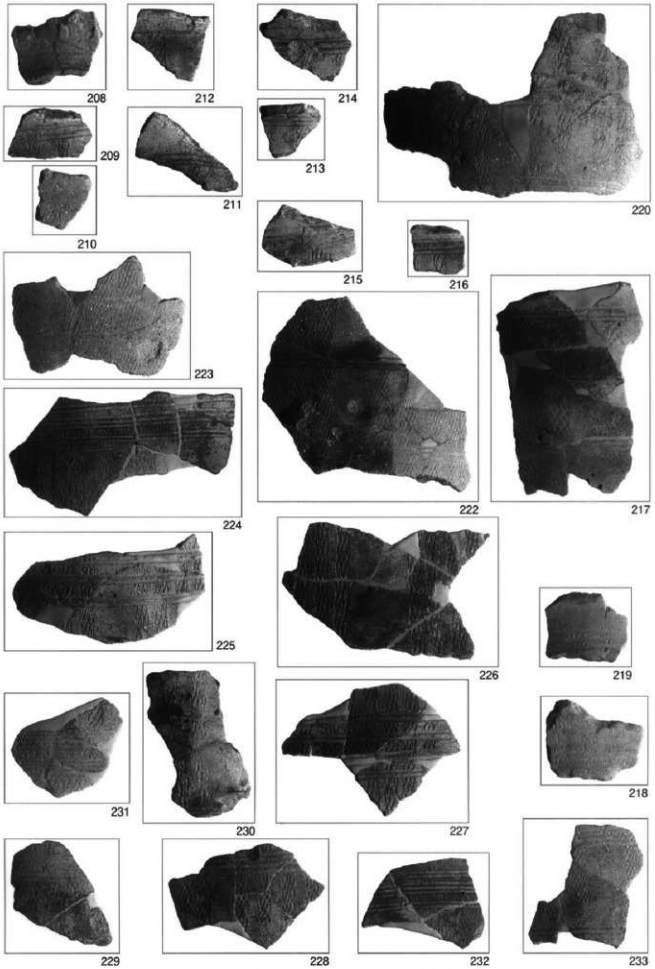

179

176

写真図版29　縄文時代早期遺物包含層出土土器⑥



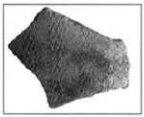
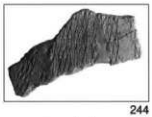
写真図版30　縄文時代早期遺物包含層出土土器⑦



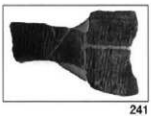
写真図版31　縄文時代早期遺物包含層出土土器⑧

234

235

236

237

244

239

238

241

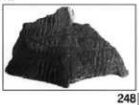
243

240

242

246

245

251

248

247

249

255

250

252

253

259

256

261

258

260

263

254

267

268

262

264

265

257

279

写真図版32　縄文時代早期遺物包含層出土土器⑨

266

269

270

271

272

273

276

277

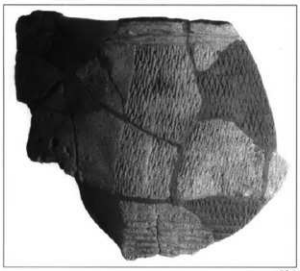
278

274

282

280

286

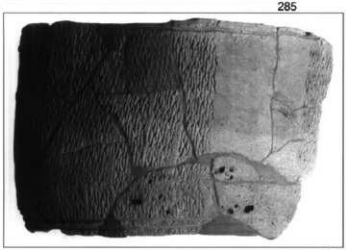

285

281

275

283

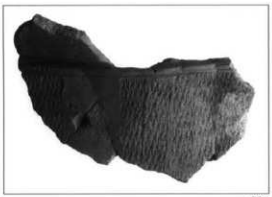
287


284

288

289

写真図版33　縄文時代早期遺物包含層出土土器⑩


294

290

291

292

293

297

295

298

296

304

301

300

303

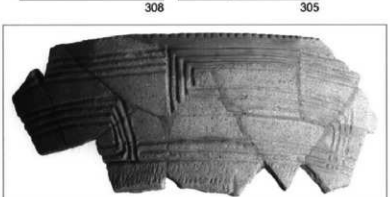
299

308

305

302

306


307

310

写真図版34　縄文時代早期遺物包含層出土土器⑪

309

312

311

316

315

313

319

318

317

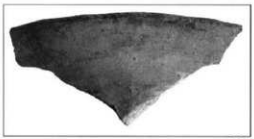
320

314

325

321

322


326

324

323

327

328

329

330

333

338

340

339

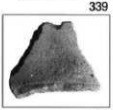
331

332

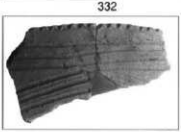
334

341

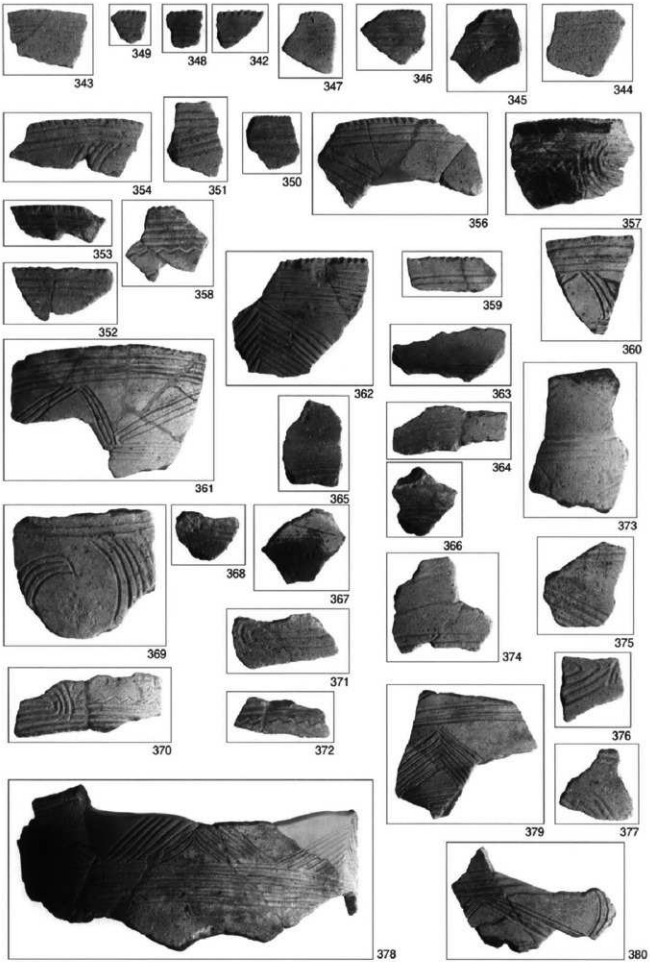
337


336

335


355

写真図版35　縄文時代早期遺物包含層出土土器⑫



写真図版36　縄文時代早期遺物包含層出土土器⑬

381

384

385

382

386

387

383

388

389

398

391

401

390

402

394

400

399

392

393

395

396

397

407

406

405

404

403

408

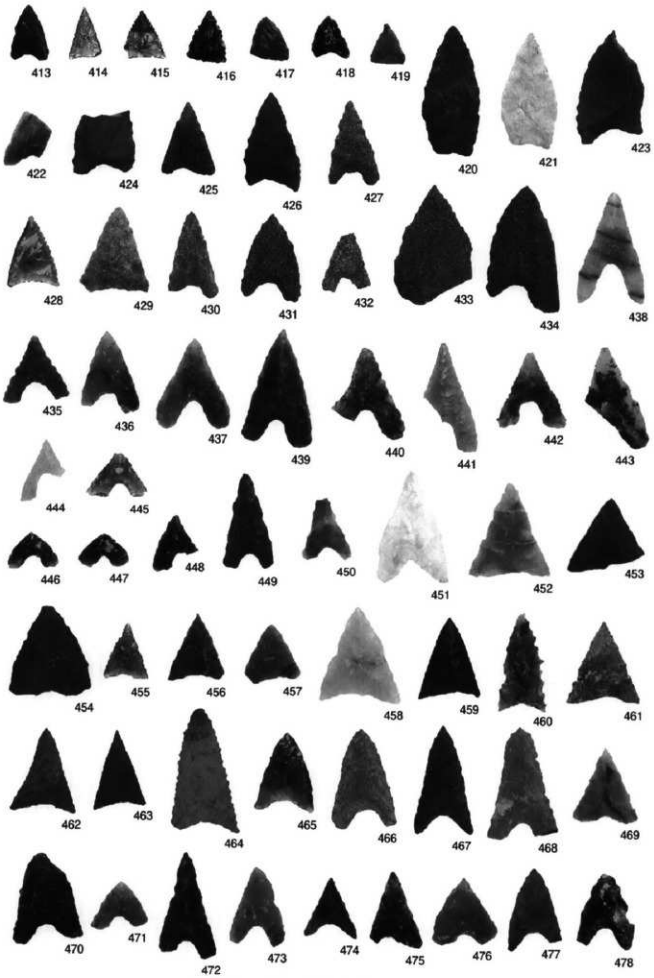
409

410

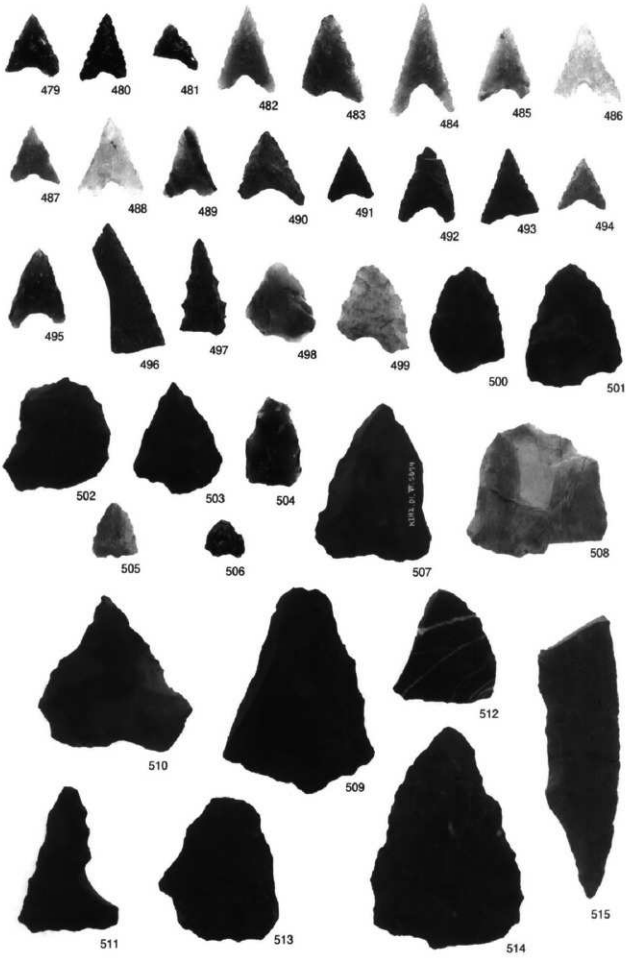
411

412

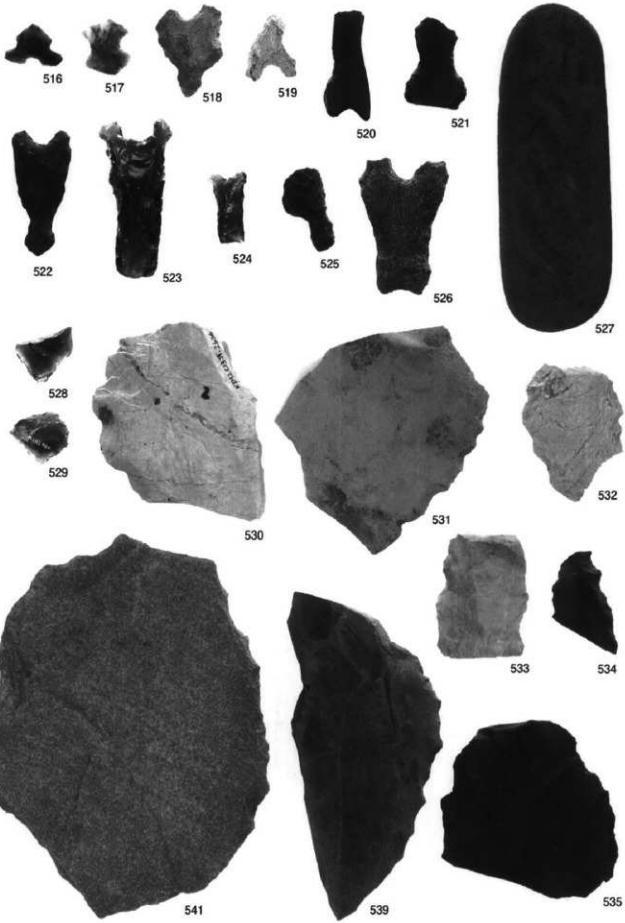
写真図版37　縄文時代早期遺物包含層出土土器⑭



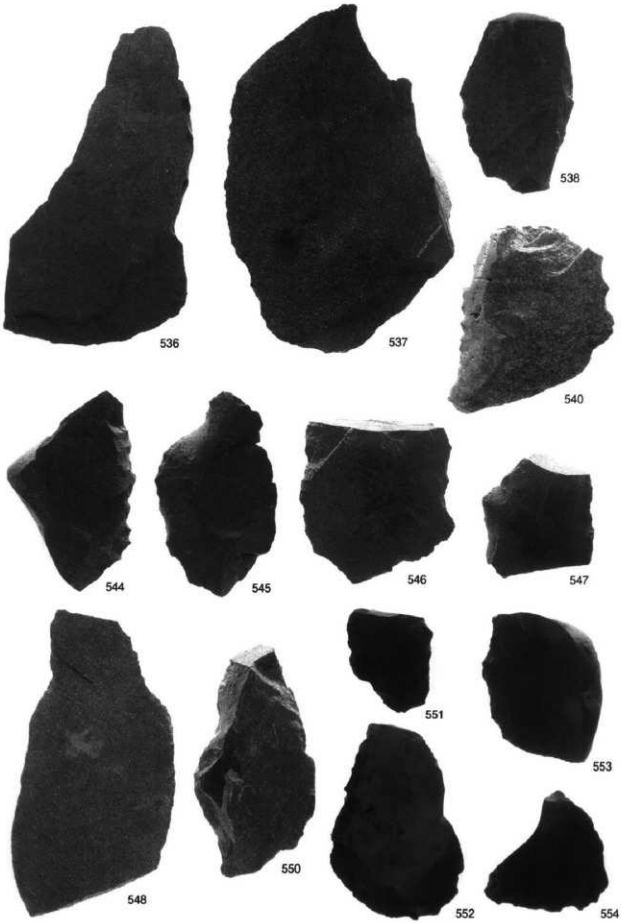
写真図版38　縄文時代早期遺物包含層出土石器①



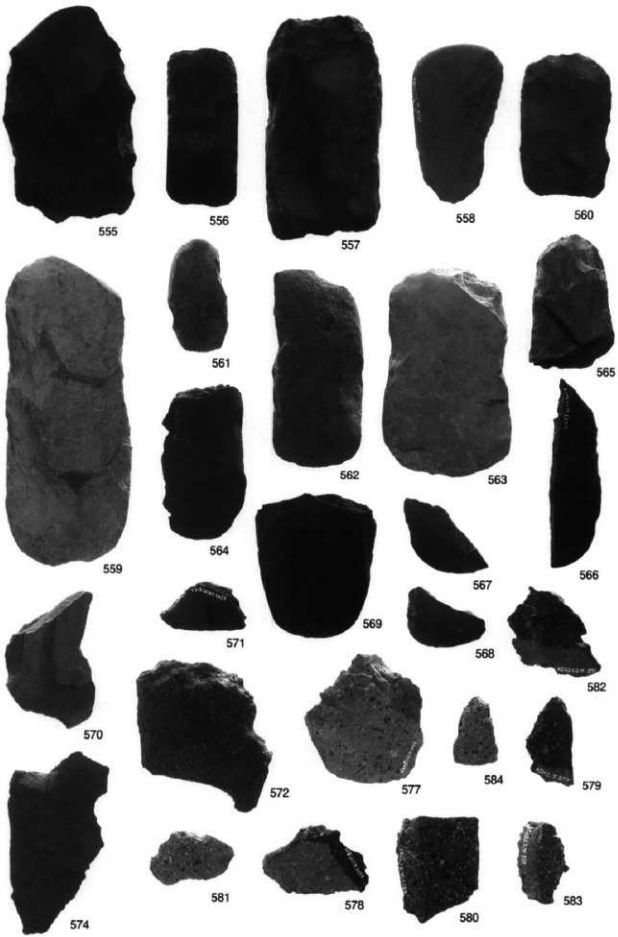
写真図版39　縄文時代早期遺物包含層出土石器(2)



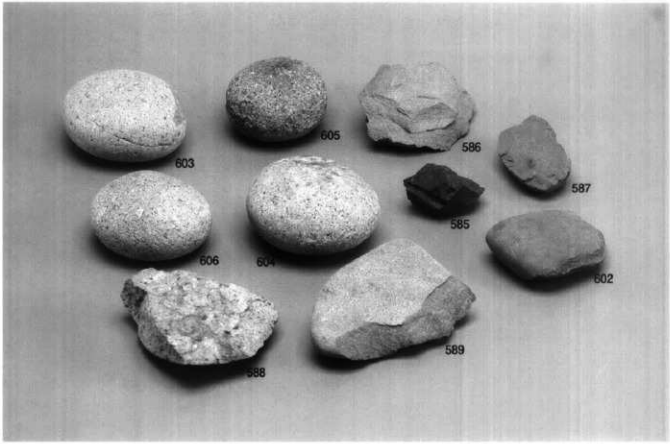
写真図版40　縄文時代早期遺物包含層出土石器③

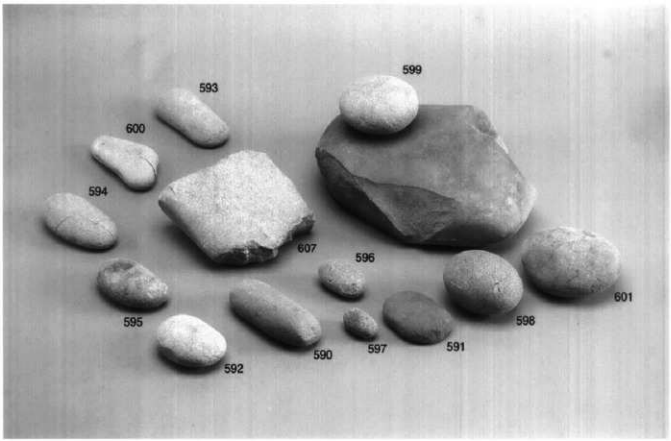


写真図版41　縄文時代早期遺物包含層出土石器④



写真図版42　縄文時代早期遺物包含層出土石器⑤





写真図版43　縄文時代早期遺物包含層出土石器⑥

第Ⅴ章　アカホヤ火山灰層上面における調査

第1節　溝状遺構

アカホヤ火山灰層上面において３４条の溝状遺構が検出された。構築範囲や溝の方向は調査前の畑地の区画と対応するものが多く、構築時から現在までほぼ同様の地割りで耕作が営まれ、その畑地の境界としてこれらの溝が認識されていた可能性が高い。

SE-１・３・４・５・16

調査前まで農道であった範囲で検出され、その農道の向きと同じ南北方向にのびている。溝の幅は0.5～1.2mで、検出面からの深さは0.1～0.4mである。埋土は黒色系のシルト質土が主であり、そのなかに白色パミスやアカホヤ火山灰小ブロックが含まれていた。高原スコリアが確認された土層断面も幾つかあったが、明瞭な硬化面は確認されていない。

SE-２

SE-１等と同様に農道の下を南北にのびており、途中で東西方向に90度ほど向きをかえている。何度か途切れているものの台地縁辺部にむかって溝はのび、SE-12と切り合っている。溝の幅や深さ及び埋土については、SE-１等とほぼ同様である。

SE-17・20・22

SE-１等と同様に農道の下で検出されたが、溝の向きは東西方向にのびている。溝の幅についてはSE-２とほぼ同様であるが、深さについてはやや浅めである（そのためか標高約65m付近で途切れている）。また、埋土についてはSE-１等とほぼ同様である。

SE-11・15

調査前に畑地の境界であった範囲で検出され、その境界の向きと同じ南北方向にのびている。SE-11とSE-15は切り合った状態で検出されたが、SE-11が後に構築されている。溝の幅や深さ及び埋土については、SE-１等とほぼ同様である。

SE-10・14

SE-11・15同様に、調査前に畑地の境界であった範囲で検出され、その境界の向きと同じ南北方向にのびている。

SE-11・15とつながるのではないかと土層を確認したが、埋土の状況がやや異なるため、今回は別の溝として記録した。尚、SE-10とSE-14は切り合った状態で検出されたが、SE-14が後に構築されている。

SE-21・29

調査前に畑地の境界であった範囲で検出され、畑の段差にかかる部分では遺構上部がかなり破壊されていた。畑地の境界の向きと同じ南北方向にのび、途中で東西方向に90度ほど向きをかえている。また、SE-21とSE-29は切り合った状態で検出されたが、SE-29が後に構築されている。尚、溝の幅や深さ及び埋土については、SE-１等とほぼ同様である。

SE-24・25・26・27・28・30・31

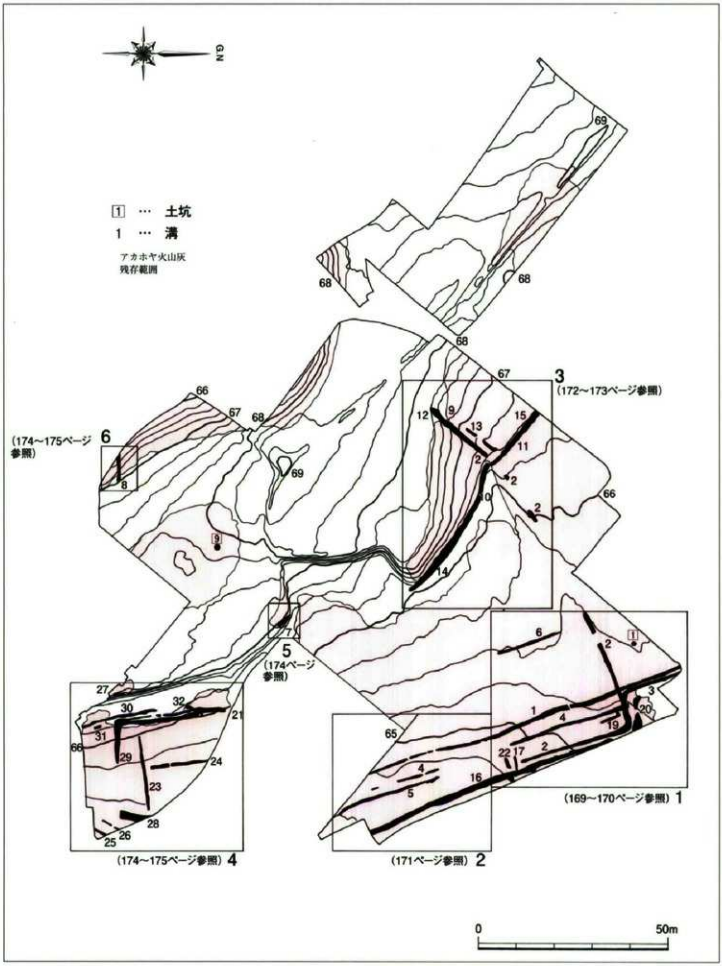
最後に拡張した調査区において（遺跡の南端）検出され、畑地の境界と平行関係となる南北方向にのびている。溝の幅や深さについては残存状況によってそれぞれだが、構築時にはSE-１等とほぼ同様であったものと推測される。

SE-23

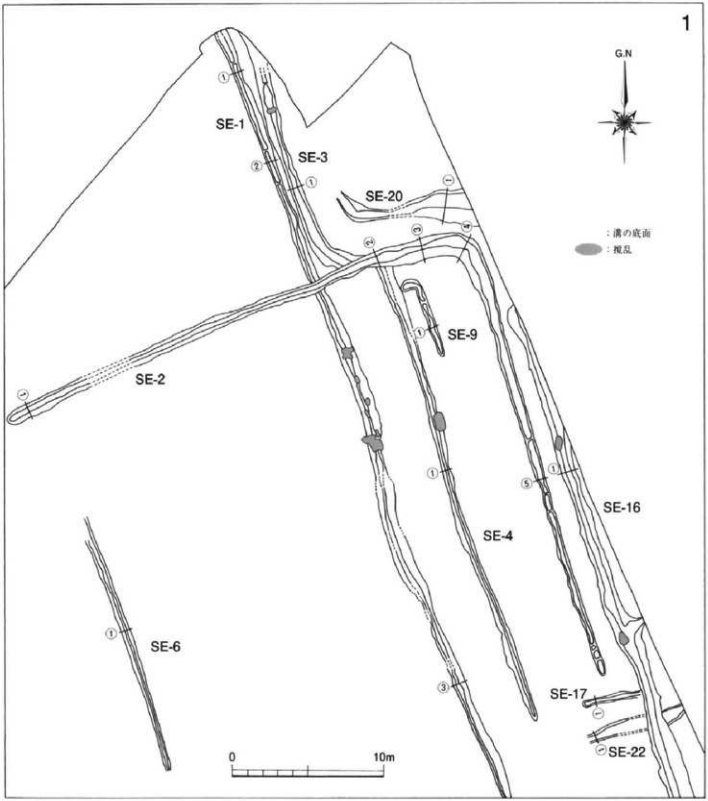
最後に拡張した調査区において（遺跡の南端）検出され、畑地の境界と垂直関係となる東西方向にのびている。溝の幅や深さ及び埋土については、SE-24等とほぼ同様である。

本遺跡で検出された溝状遺構については、出土遺物もほとんど無く、構築された時期については不明である。

ただし、埋土に含まれる高原スコリアや、現在の畑地の区画と対応するという構築状況からみて、古代・中世から現代にかけて継続的にこれらが随時構築されていた可能性が高いのではないかと推測される。



第88図　アカホヤ火山灰層上面検出遺構配置図（S=1/1000）



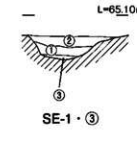
SE-1・②

①黒褐色（10YR3/2）砂質ローム　3.5ほどは高原スコリア？は目立たなかった。
②黒色（7.5YR1.7/1）ローム　アカホヤ火山灰の粒を少量含む。
③黒褐色（10YR3/1）砂質ローム　アカホヤ火山灰のブロック、粒を少量、高原スコリアを多く含む。
④黒色（7.5YR1.7/1）ローム　アカホヤ火山灰のブロック、粒を少量、高原スコリアを多く含む。
⑤黒褐色（10YR3/1）砂質ローム　アカホヤ火山灰のブロック、粒を少量、高原スコリアを多く含む。

SE-1・①

①黒褐色（10YR3/1）砂質ローム　アカホヤ火山灰のブロック、粒を少量、高原スコリアを多く含む。
②黒色（7.5YR1.7/1）ローム　アカホヤ火山灰のブロック、粒を少量、高原スコリアを多く含む。
③黒褐色（10YR3/1）砂質ローム　アカホヤ火山灰のブロック、粒を少量、高原スコリアを多く含む。

第89図　溝状遺構実測図①（S＝1/250・（土層図：S＝1/30））

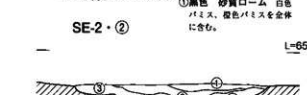


SE-1・③

①黒色　砂質ローム　橙色パミス、白色パミスを全体に含み（高原スコリアか）アカホヤ火山灰の小粒をわずかに含む。
②黒色　シルト質ローム　橙色パミス、白色パミスを全体に含み（高原スコリアか）アカホヤ火山灰の小粒、ブロック（2cm～5cm）をわずかに含む。
③①と似ているが、白色パミスの量が少なく、アカホヤ火山灰の粒が多く入る。

SE-2・②

①黒色　砂質ローム　白色パミス、橙色パミスを全体に含む。



①黒色（7.5YR1.7/1）ローム　硬質。しまりは強い。小礫、白色粒を少量含む。褐の模乱をうける。
②黒色（5YR1.7/1）シルト質ローム　硬質。しまりは強め。白色粒、褐を少量含む。褐の模乱をうける。
③黒褐色（7.5YR2/2）ローム　硬質。しまりは強め。アカホヤ火山灰の粒を多く含む。
④黒褐色（10YR3/2）ローム　軟質。しまりは弱め。アカホヤ火山灰の粒を多く含む。

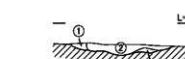
SE-2・④

①黒色（N1.5）ローム　しまりは弱い。アカホヤ火山灰の粒を少量含む。白色粒を含む。
②黒色（N2）シルト質ローム　アカホヤ火山灰の粒を少量、白色土粒を含む。

SE-3・①

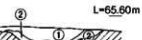
①黒褐色（7.5YR3/1）砂質ローム　硬め。しまりは強い。アカホヤ火山灰の粒を含む。
②褐暗褐色（7.5YR2/3）砂質ローム　軟らかめ。しまりは弱い。アカホヤ火山灰の粒を含む。
③黒褐色（7.5YR2/2）砂質ローム　軟らかめ。しまりは強め。アカホヤ火山灰の粒を多量に含む。

SE-16・①



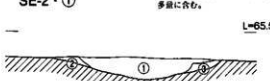
①黒色　シルト質ローム（アカホヤ火山灰の上に堆積する黒色土）アカホヤ火山灰の粒やAブロック（2cm～4cm程）を全体に含む。
②黒色　シルト質ローム　白色パミスを全体に含み、ややジャリジャリした感じ。
③②にアカホヤ火山灰ブロック（3cm程）を含む。

SE-22・①



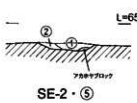
SE-2・①

①黒色（7.5YR2/1）砂質ローム　しまりは弱い。アカホヤ火山灰の粒、ブロックを含む。白色の小さな粒（火山灰か？）を含む。褐を少量含む。
②褐色（10YR4/4）ローム　しまりは弱め。アカホヤ火山灰のブロック（地山の崩落土）を多量に含む。



①黒色（5YR1.7/1）シルト質ローム　硬質。しまりは強め。白色粒、褐を少量含む。褐の模乱をうける。
②黒褐色（7.5YR2/2）ローム　硬質。しまりは強め。アカホヤ火山灰の粒を多く含む。
③黒褐色（10YR3/2）ローム　軟質。しまりは弱め。アカホヤ火山灰の粒を多く含む。

SE-2・③

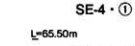


SE-2・⑤

①黒褐色（10YR2/3）砂質ローム　硬質。しまりは強め。白色粒、アカホヤ火山灰の粒を少量含む。乾燥が著しく水質がひくい。
②暗褐色（7.5YR3/3）砂質ローム　硬質。しまりは弱め。アカホヤ火山灰を多く含む。

SE-4・①

①黒色　シルト質ローム　白色パミス、橙色パミス（白色パミスはわずか）を全体に含む。
②①基本土層2層に、アカホヤ火山灰の小粒がまざり込んでいる。かなりジャリジャリしている。
②'②③①とほぼ同じだが、アカホヤ火山灰の小粒が少ない。

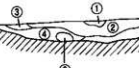


SE-6・①

①黒色　シルト質ローム　アカホヤ火山灰のブロック（2cm～10cm）、黒色土（基本土層5層）小ブロック（1cm程）、アカホヤ火山灰の小粒を全体に含む。

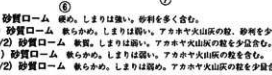
SE-17・①

①黒色（10YR1.7/1）砂質ローム　硬め。しまりは弱め。白色粒（火山灰か）を多く含む。
②黒褐色（2.5Y3/2）砂質ローム　硬め。しまりは弱い。白色粒、アカホヤ火山灰を多く含む。



SE-19・①

①黒色（7.5YR1.7/1）砂質ローム　硬め。しまりは強い。アカホヤ火山灰、白色粒（火山灰？）の混入を少量含まる。
②黒褐色（7.5YR3/1）ローム　硬め。しまりは弱い。アカホヤ火山灰のブロックを下部に多く含む。

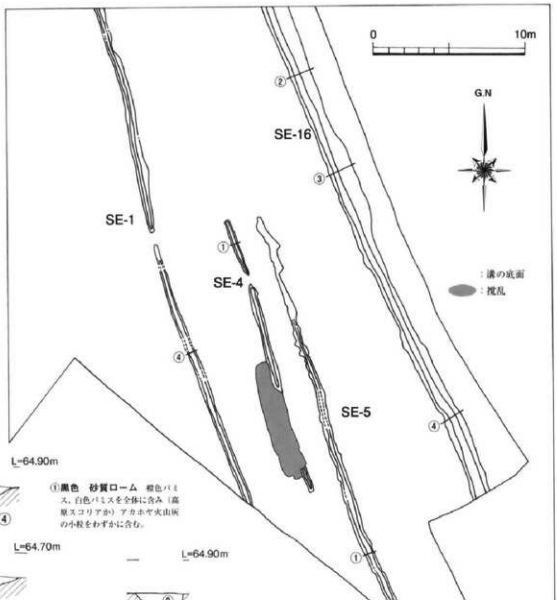


①黒色（2.5Y2/1）砂質ローム　硬め。しまりは強い。砂利を多く含む。
②黒色（10YR2/1）砂質ローム　軟らかめ。しまりは弱い。アカホヤ火山灰の粒、砂利を少量含む。
③黒褐色（7.5YR3/2）砂質ローム　軟質。しまりは強い。アカホヤ火山灰の粒を少量含む。
④黒褐色（5YR2/1）砂質ローム　軟らかめ。しまりは弱い。アカホヤ火山灰の粒を含む。
⑤黒褐色（7.5YR2/2）砂質ローム　軟らかめ。しまりは弱め。アカホヤ火山灰の粒を少量含む。
⑥火山マメ石層ブロック。
⑦火山マメ石層ブロック。
⑧黒色（7.5YR2/1）砂質ローム　硬め。しまりは強め。砂利、アカホヤ火山灰の粒を少量含む。

SE-20・①

第90図　溝状遺構実測図②（〈土層図：S＝1/30〉）

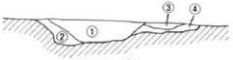
0　1m



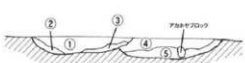
①**黒色　砂質ローム**　褐色パミス，白色パミスを全体に含み（高原スコリアか）アカホヤ火山灰の小粒をわずかに含む。

①**黒色　シルト質ローム**　褐色パミス，アカホヤ火山灰の小粒を含む。SE4の②層や③①，⑤②層と比べるとジャリジャリ感は少ない。

②**黒色　砂質ローム**　白色パミス（高原スコリア？）を多量に含む。かなりジャリジャリしている。



①**黒褐色（7.5YR3/1）砂質ローム**　締め，しまりは強い。アカホヤ火山灰の粒を含む。小礫の混入が見られる。
②**黒色（10YR2/1）ローム**　硬質，しまりは強め。アカホヤ火山灰の粒を少量含む。
③**黒褐色（10YR3/1）ローム**　硬質，しまりは強め。アカホヤ火山灰の粒を少量含む。
④**黒色（7.5YR2/1）砂質ローム**　硬質，しまりは弱い。アカホヤ火山灰の粒を含む。

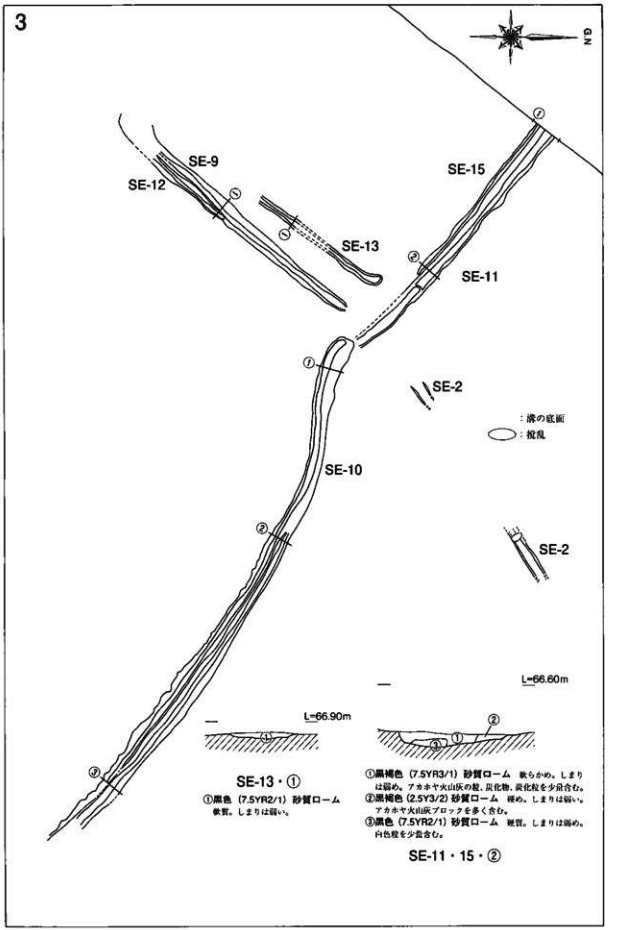


①**黒褐色（7.5YR3/1）砂質ローム**　締め，しまりは強い。アカホヤ火山灰の粒を含む。
②**黒色（10YR2/1）ローム**　硬質，しまりは強め。アカホヤ火山灰の粒を少量含む。
③**黒褐色（10YR3/1）ローム**　硬質，しまりは強め。アカホヤ火山灰の粒を少量含む。
④**黒色（7.5YR2/1）砂質ローム**　硬質，しまりは弱い。アカホヤ火山灰の粒を含む。
⑤**黒褐色（10YR2/2）砂質ローム**　軟らかめ。しまりは弱め。アカホヤ火山灰のブロックを含む。

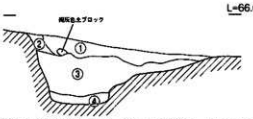
①**黒褐色（7.5YR3/1）砂質ローム**　締め，しまりは強い。アカホヤ火山灰の粒を含む。小礫の混入が見られる。移柯の混入が著しいため，分層した。
②**黒褐色（7.5YR3/1）砂質ローム**　締め，しまりは強い。アカホヤ火山灰の粒を含む。小礫の混入が見られる。
③**黒褐色（10YR3/1）ローム**　硬質，しまりは強め。アカホヤ火山灰の粒を少量含む。下部にアカホヤ火山灰ブロックの混入がみられる。

第91図　溝状遺構実測図③（S＝1/250・〈土層図：S＝1/30〉）

0　1m

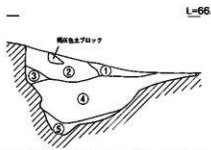


第92図　溝状遺構実測図④（S＝1/250・〈土層図：S＝1/30〉）



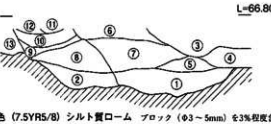
①黒色（10YR2/1）ローム　硬め。しまりは弱め。アカホヤ火山灰をわずかに混入。
②黒褐色（10YR3/1）ローム　硬め。しまりは弱め。アカホヤ火山灰ブロックを混入。
③黒色（7.5YR1.7/1）シルト質ローム　軟らかめ。しまりは強め。褐色土ブロック、アカホヤ火山灰の粒をわずかに混入。
④黒褐色（7.5YR2/2）シルト質ローム　地山（基本土層6層）のブロックを含む。

SE-10・①



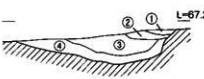
①暗褐色（7.5YR3/3）シルト質ローム　硬め。しまりは弱め。
②黒色（10YR2/1）ローム　硬め。しまりは弱め。アカホヤ火山灰の粒をわずかに混入。
③黒褐色（10YR3/1）ローム　硬め。しまりは弱め。アカホヤ火山灰ブロックを混入。
④黒色（7.5YR1.7/1）シルト質ローム　軟らかめ。しまりは強め。褐色土ブロック、アカホヤ火山灰の粒をわずかに混入。
⑤黒褐色（7.5YR2/2）シルト質ローム　地山（基本土層6層）のブロックを含む。

SE-10・②



①明褐色（7.5YR5/8）シルト質ローム　ブロック（Φ3～5mm）を3%程度含む。
②明褐色（7.5YR5/8）シルト質ローム　ブロック（Φ5～10mm）を7%程度含む。
③黒褐色（7.5YR2/2）砂質ローム　Φ3～8mm程度の礫を10%程度含む。撹乱（耕作土？）
④黒色（7.5YR2/1）砂質ローム　明褐色（7.5YR5/8）砂質ロームブロック（Φ2～5mm）を10%程度含む。撹乱（耕作土？）
⑤黒色（7.5YR2/1）シルト質ローム
⑥黒色（7.5YR2/1）シルト質ローム　Φ1～3mm程度の礫を30%程度含む。明褐色（7.5YR5/8）砂質ローム　ブロック（Φ1～3mm）を2%程度含む。Φ4cm程度の礫を2個含む。
⑦黒色（7.5YR2/1）シルト質ローム　Φ1～2mm程度の礫を5%程度含む。
⑧黒色（7.5YR2/1）砂質ローム　明褐色（7.5YR5/8）砂質ロームブロック（Φ1～3mm）を2%程度含む。
⑨黒褐色（7.5YR3/1）砂質ローム　黒色（7.5YR2/1）砂質ロームブロック（Φ5～10mm）を10%程度含む。　明褐色（7.5YR5/8）砂質ロームブロック（Φ3～8mm）を7%程度含む。
⑩黒色（7.5YR2/1）砂質ローム　Φ1mm程度の礫を2%程度含む。
⑪黒色（7.5YR2/1）砂質ローム　Φ3～8mm程度の礫を15%程度含む。明褐色（7.5YR5/8）シルト質ロームブロック（Φ1～4mm）を3%程度含む。撹乱（耕作土？）
⑫褐色（7.5YR2/2）砂質ローム　Φ1～5mm程度の礫を10%程度含む。
⑬黒色（7.5YR2/1）砂質ローム　Φ1mm程度の礫を2%程度含む。

SE-11・①



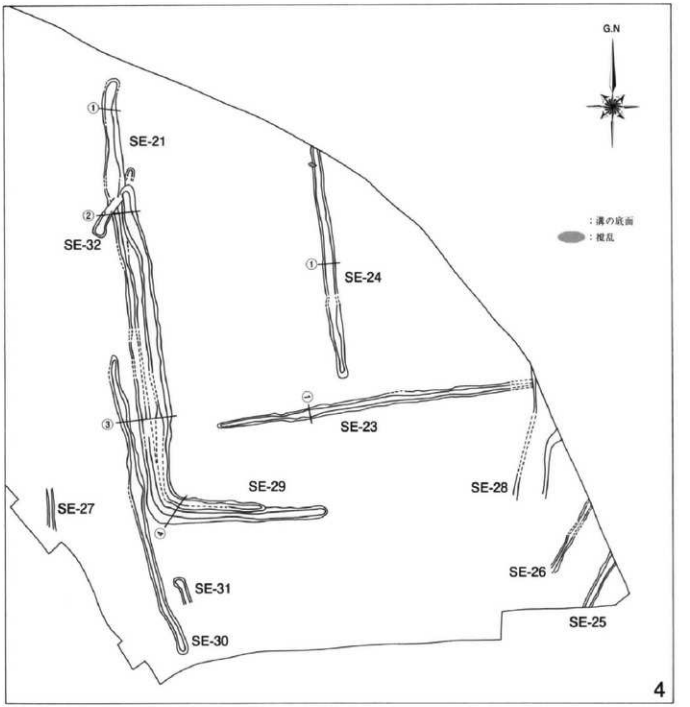
①黒褐色（7.5YR3/1）砂質ローム　軟質。弱い。アカホヤ火山灰の粒、炭化物、炭化粒をわずかに含む。アカホヤ火山灰の混入はかなり多く、軟め。
②極暗褐色（7.5YR2/3）砂質ローム　硬め。しまりは弱い。　アカホヤ火山灰の粒を含む。炭化物、炭化粒をわずかに含む。
③黒褐色（10YR3/2）砂質ローム　硬め。しまりは弱い。アカホヤ火山灰の粒を少量含む。炭化物、炭化粒をわずかに含む。
④暗褐色　ローム　硬め。しまりは弱め。　アカホヤ火山灰ブロックを含む。

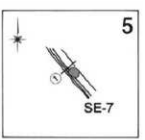
SE-9・12・①

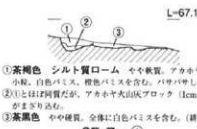
①暗赤褐色（2.5YR3/2）ローム　硬質。しまりは強め。
②赤灰色（2.5YR4/1）シルト質ローム　軟質。しまりは弱い。
③暗褐色（10YR3/3）ローム　軟らかめ。しまりは弱い。
④黒褐色（10YR3/2）ローム　軟らかめ。しまりは弱い。アカホヤ火山灰の粒を少量含む。
⑤暗赤褐色（2.5YR3/2）シルト質ローム　硬質。しまりは強め。アカホヤ火山灰の粒を少量含む。
⑥赤黒色（2.5YR2/1）シルト質ローム　硬質。しまりは強い。
⑦黒色（10YR2/1）ローム　硬め。しまりは強め。アカホヤ火山灰の粒を少量含む。
⑧暗褐色（7.5YR3/3）シルト質ローム　硬め。しまりは弱め。地山（基本土層6層）のブロックを含む。
⑨黒色（10YR2/1）ローム　硬め。しまりは弱め。アカホヤ火山灰の粒をわずかに混入。
⑩黒褐色（10YR3/1）ローム　硬め。しまりは弱め。アカホヤ火山灰ブロックを混入。
⑪黒色（7.5YR1.7/1）シルト質ローム　軟らかめ。しまりは強め。褐色土ブロック、アカホヤ火山灰の粒をわずかに混入。
⑫黒褐色（7.5YR2/2）シルト質ローム　地山（基本土層6層）のブロックを含む。

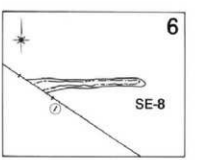
SE-10・③

第93図　満状遺構実測図⑤（（土層図：S=1/30））

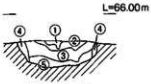








第94図　溝状遺構実測図⑥（S＝1/250・〈土層図：S＝1/30〉）

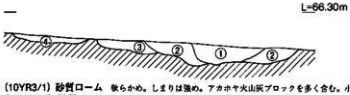


SE-21・①

①白色パミス、川砂の様な感じ。
②黒色　シルト質ローム　①の白色パミスを全体に含む。
③黒色　シルト質ローム　白色パミス、橙色パミスをわずかであるが全体に含む。
④③に壁からの崩れ落ちたと思われる、アカホヤ火山灰の粒が入り込む。
⑤③に底の地山の影響と思われる。アカホヤ火山灰ブロック（1cm ～ 3cm）が20%程入り込む。

①黒色　シルト質ローム　白色パミス、橙色パミスをわずかだが全体に含む。
②黒色　シルト質ローム　多量の白色パミスを全体に含み、ジャリジャリしている

SE-23・①



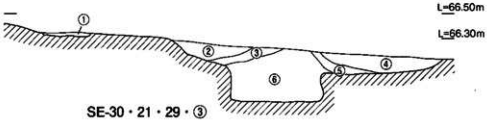
①黒褐色（10YR3/1）砂質ローム　軟らかめ。しまりは強め。アカホヤ火山灰ブロックを多く含む。小礫を含む。
②黒褐色（10YR2/3）砂質ローム　硬め。しまりは強い。アカホヤ火山灰の粒を含む。
③黒色（10YR2/1）砂質ローム　硬め。しまりは強め。アカホヤ火山灰の粒を少量含む。
④黒色（10YR1.7/1）ローム　硬め。しまりは弱い。アカホヤ火山灰の粒を含む。（SE-3の埋土）

SE-32・21・29・②

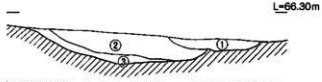
①黒色　シルト質ローム　白色パミスを全体に含む。
②黒色　シルト質ローム　白色パミス、橙色パミスを全体に含む。

SE-24・①

①黒褐色（7.5YR3/2）砂質ローム　軟らかめ。しまりは弱い。アカホヤ火山灰の粒、小礫を少量含む。
②黒色（7.5YR2/1）砂質ローム　軟らかめ。しまりは弱め。アカホヤ火山灰の粒、小礫を少量含む。アカホヤ火山灰ブロックを含み、褐色土粒が少量まじる。
③黒色（10YR2/1）砂質ローム　硬め。しまりは強め。アカホヤ火山灰の粒を少量含む。褐色土ブロック（基本土層6層）が少量まじる。
④黒褐色（7.5YR3/1）砂質ローム　硬め。しまりは強め。アカホヤ火山灰ブロックの混入は少なく、粒子として少量まじる。
⑤黒褐色（10YR2/3）砂質ローム　硬め。しまりは強い。アカホヤ火山灰の粒を含む。褐色土が少量まじる。
⑥黒褐色（7.5YR2/2）砂質ローム　硬め。しまりは強め。褐色土ブロック、アカホヤ火山灰の粒をまじる。

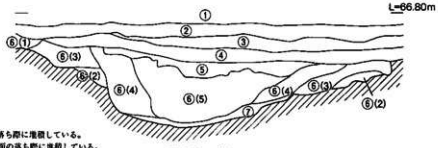


SE-30・21・29・③



①黒褐色（10YR2/3）砂質ローム　硬め。しまりは強い。アカホヤ火山灰の粒を含む。
②黒色（7.5YR2/1）砂質ローム　軟らかめ。しまりは弱め。アカホヤ火山灰の粒、小礫を含む。
③黒色（10YR2/1）砂質ローム　硬め。しまりは強め。アカホヤ火山灰の粒を少量含む。

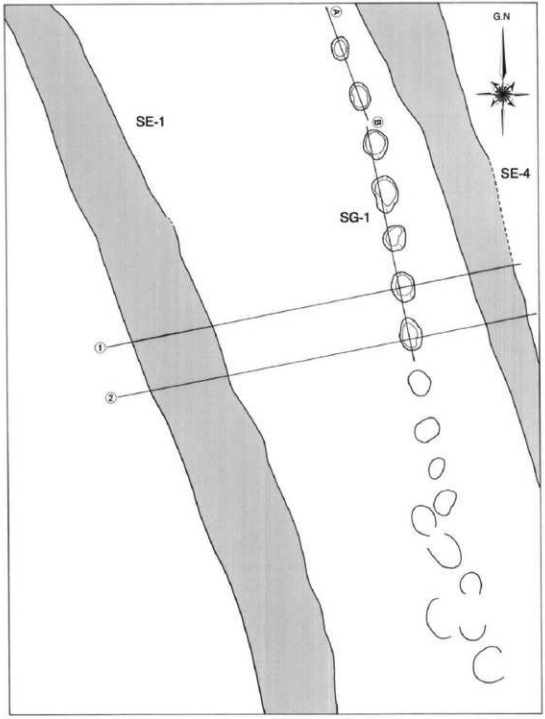
SE-21・29・④



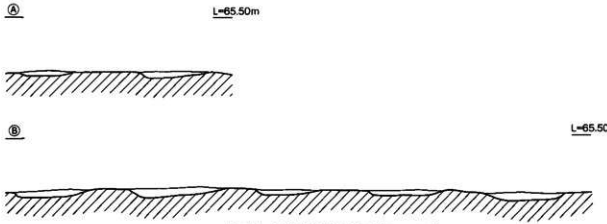
SE-8・①

①耕作土
②オリーブ黒色（5Y3/2）砂質ローム　C区西側急斜面の落ち際に堆積している。
③暗オリーブ褐色（2.5Y3/3）砂質ローム　C区西側急斜面の落ち際に堆積している。
④黒褐色（2.5Y3/1）砂質ローム　C区西側急斜面の落ち際に堆積している。
⑤黒色（5Y2/1）砂質ローム　多量（ジャリジャリした感強し）の白色パミスを含む。
⑥(1)黒色（10YR2/1）砂質ローム　白色パミスをわずかであるが全体に含む。地山（2次アカホヤ火山灰）が混ざりこんでいるためか、ザラザラした感じはあまりなく、どちらかというと湿っぽく、粘っこくなる。
⑥(2)黒色（10YR2/1）砂質ローム　白色パミスをわずかであるが全体に含む。地山（2次アカホヤ火山灰）が混ざりこんでいるためか、ザラザラした感じはあまりなく、どちらかというと湿っぽく、粘っこくなる。⑥(2)から⑥(4)はほぼ同質。地山の影響でやや色彩が異なるので分層した。(2)→(4)になるほどわずかに黒くなる。
⑥(3)黒色（10YR2/1）砂質ローム　白色パミスをわずかであるが全体に含む。地山（2次アカホヤ火山灰）が混ざりこんでいるためか、ザラザラした感じはあまりなく、どちらかというと湿っぽく、粘っこくなる。⑥(2)から⑥(4)はほぼ同質。地山の影響でやや色彩が異なるので分層した。(2)→(4)になるほどわずかに黒くなる。
⑥(4)黒色（10YR2/1）砂質ローム　白色パミスをわずかであるが全体に含む。地山（2次アカホヤ火山灰）が混ざりこんでいるためか、ザラザラした感じはあまりなく、どちらかというと湿っぽく、粘っこくなる。⑥(2)から⑥(4)はほぼ同質。地山の影響でやや色彩が異なるので分層した。(2)→(4)になるほどわずかに黒くなる。
⑥(5)黒色（5Y2/1）砂質ローム　全体に白色パミスを含む。ややザラザラ。
⑦にぶい黄褐色（10YR4/3）砂質ローム　地山（2次アカホヤ火山灰）が2次的に堆積したものではないか。

第95図　溝状遺構実測図⑦（〈土層図：S＝1/30〉）



第96図　道路状遺構実測図（S＝1/50）



第97図　道路状遺構断面図（S＝1/20）

0　1m

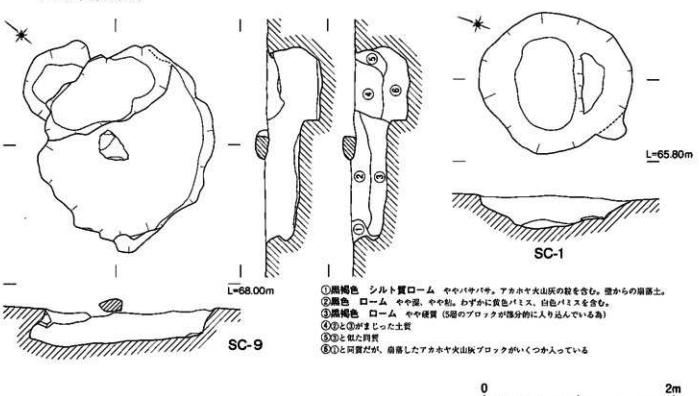
第2節　道路状遺構

調査前まで農道であった範囲において、円形の窪みが南北方向に0.2～0.3mの間隔で16個ほど並んでいる状況が確認された。窪みは深さを計測するのが困難なほど浅い(痕跡のみ記録可能)ものもあったが、おおむね直径0.25～0.5m、深さ0.02～0.06mであった。近くで検出されている溝状遺構とほぼ同じ向きに並んでいることから、畑地の境界付近に関するなんらかの施設の痕跡である可能性が高いと判断し、その形状からみて道路状遺構の硬化面下位のピットとして記録した。同様の遺構は都城市大岩田上村遺跡や新富町音明寺などで確認されているが、本遺構の場合それらと比較すると上部構造がほとんど削平されているため、構築時期や構造など詳細については不明である。

第3節　土　坑

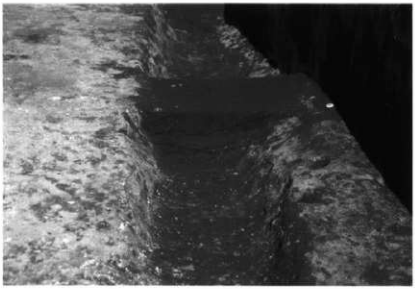
SC-9：平面プランは直径約1.5mの円形を呈し、床面は北側1／3(検出面からの深さが約0.45m)と南側2／3(検出面からの深さが約0.25m)で段差がついている。遺構中央部で重さ5.3kgの平らな礫が出土しているが、用途や構築時期など詳細は不明である。

SC-1：平面プランは直径約1.2mの円形を呈し、検出面からの深さは約0.25mである。尚、構築時期や構造など詳細については不明である。

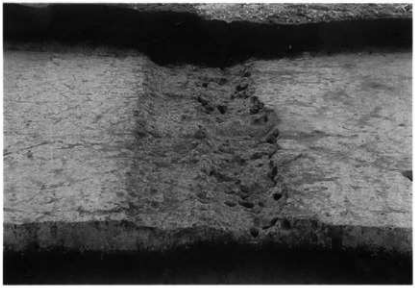


第98図　アカホヤ火山灰層上面検出土坑実測図（S＝1/40）

SE-1① 北より

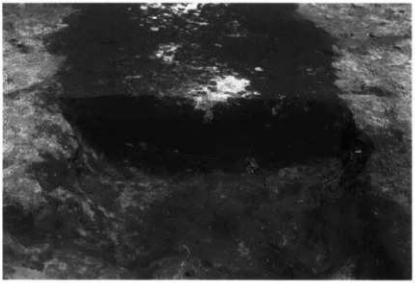


SE-1② 南より

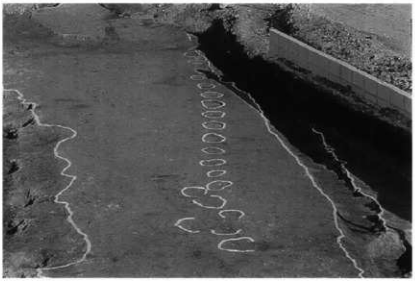


SE-11・15 南より

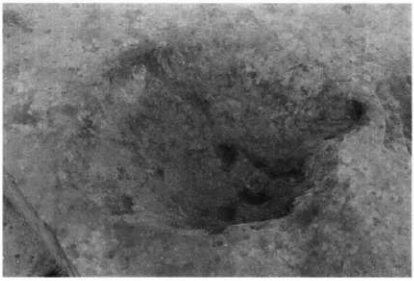
写真図版44 アカホヤ火山灰層上面検出遺構①



SE-21　南より



SG-1　南より



SC-1①　南西より

写真図版45　アカホヤ火山灰層上面検出遺構②

SC-9① 南より

SC-9② 南より

作業風景

写真図版46　アカホヤ火山灰層上面検出遺構③

第Ⅵ章　まとめ

草創期と早期の石鏃の分類作業について

前述したように縄文時代草創期の遺物は、早期の包含層の調査中に出土しているものがほとんどである。草創期の石器は、草創期の土器の分布範囲と各個別の資料の検討により分類したと第2章で述べたが、具体的に分類が可能であったのは石鏃だけである。他の石器資料については未だ明確な分類基準を定めることができず、一部に草創期の資料が混在する可能性を示しつつも、早期の資料と一括して報告することとなった。この点については今後の課題としておきたい。
しかし、宮崎県下において早期の遺物包含層中に細石器文化期～縄文草創期の遺物が混在することは珍しい状況ではなく、報告時にそれらの遺物がすべて早期の遺物として一括されてしまうことが多い。その問題点の解決のために、ここで今回の報告における草創期の石鏃の分類基準について記載しておく。

本遺跡が立地する清武川左岸のシラス台地上では草創期の遺物が出土した遺跡が数例ある。中でも椎屋形第1遺跡と本遺跡の第5地区では非常に多くの草創期の成果が得られている。これらの二つの遺跡で出土した草創期の石鏃の特徴を以下の3点から検討し、一応の分類基準を設定できた。（しかし、清武上猪ノ原遺跡第5地区の成果については現在整理作業中であるため、本報告行われた後に再度検討が必要となるかもしれない。）

使用石材について

椎屋形第1遺跡の資料は頁岩・黒曜石・砂岩に限定される。その中でも最も多いのが桑ノ木津留産の黒曜石である。清武上猪ノ原遺跡第5地区の資料については頁岩・黒曜石・チャート・安山岩が見られる。

形態について

椎屋形第1遺跡の資料については抉りが深いものが1点見られるだけで、他は抉りの浅い凹基鏃もしくは平基鏃である。また平面の形状は二等辺三角形か正三角形を呈する。また、一部の資料については素材剥片の主要剥離面を大きく残している。清武上猪ノ原遺跡第5地区の資料についても椎屋形第1遺跡と同じような状況が窺える。しかし、椎屋形第１遺跡では見られなかった安山岩系統の石材を使用する石鏃がある。脚部の抉りが深く、脚部の先端が鋭の先のように尖るという点がこの石鏃の特徴である。この石鏃は本調査区では出土していないが、県内では新富町東畦原第1遺跡の4次調査で出土している。(秋成2008)

規模について

椎屋形第1遺跡の資料はほとんどが長さ2cmに収まるもの（計測可能のものは14点）であり、最大のものでも2.4cmを測る。厚みについては0.3mm ～ 0.6mmを計測し、平均値は0.4mmである。平面形が小規模なのでやや分厚い印象を受ける。清武上猪ノ原遺跡の資料については現時点で計測をおこなえた資料が少量なので、言及できないが、やはり分厚い印象を受ける資料が多い。前述した安山岩系統の石材を使用する石鏃は長さが2cmを超えるものばかりであり、そのほかの石材を使用する石鏃と比較すると規模は大きい。

検討結果

本台地上における二つの草創期の遺跡から出土した石鏃の特徴を踏まえた結果、本調査区における草創期の石鏃の分類基準としては以下の4つが挙げられ、これらの点を念頭に置いて分類作業をおこなわれた。

a. 草創期の土器の分布範囲から出土したもの。
b. 桑ノ木津留産黒曜石・頁岩・チャートを使用しているもの。
c. 平基鏃または基部の抉りが浅い凹基鏃で、平面形は二等辺三角形または正三角形を呈するもの。
d. 平面形が小規模（主としては2cm四方以下）で厚みはやや厚く、分厚い印象をうけるもの。

今回は早期の遺物包含層中に混在する草創期の資料を1点でも多く報告すべきと考えたことから、時期尚早ではあるが草創期の石鏃の分類作業に踏み切った。今後は草創期の石鏃の規模を具体的な数字で示していかなければならない。また他の器種についても分類基準を定められるように努力することが必要である。

〔参考文献〕
宮崎市教育委員会1996　県営農地保全整備事業時屋地区に伴う埋蔵文化財調査報告書『椎屋形第1遺跡・椎屋形第2遺跡・上の原遺跡』
秋成雅博2008『南九州の縄文時代草創期の様相（宮崎県の縄文時代草創期概観）』『九州旧石器』第12号　九州旧石器文化研究会
清武町教育委員会2009　清武町埋蔵文化財調査報告書第27集『清武上猪ノ原遺跡第５地区－２－』

株式会社 古環境研究所

Ⅰ．清武上猪ノ原遺跡(第２地区)における放射性炭素年代測定

1．試料と方法

試料名	地点・遺構	種類	前処理・調整	測定法
No. 1	第２地区，SI－２	炭化物	酸－アルカリ－酸洗浄，石墨調整	AMS
No. 2	第２地区，SI－４	炭化物	酸－アルカリ－酸洗浄，石墨調整	AMS
No. 3	第２地区，SI－16	炭化物	酸－アルカリ－酸洗浄，石墨調整	AMS
No. 4	第２地区，SI－22	炭化物	酸－アルカリ－酸洗浄，石墨調整	AMS
No. 5	第２地区，SI－23	炭化物	酸－アルカリ－酸洗浄，石墨調整	AMS
No. 6	第２地区，SI－25	炭化物	酸－アルカリ－酸洗浄，石墨調整	AMS
No. 7	第２地区，SI－31	炭化物	酸－アルカリ－酸洗浄，石墨調整	AMS
No. 8	第２地区，SI－32	炭化物	酸－アルカリ－酸洗浄，石墨調整	AMS
No. 9	第２地区，SI－37	炭化物	酸－アルカリ－酸洗浄，石墨調整	AMS
No.10	第２地区，SI－45	炭化物	酸－アルカリ－酸洗浄，石墨調整	AMS
No.11	第２地区，SI－59	炭化物	酸－アルカリ－酸洗浄，石墨調整	AMS
No.12	第２地区，SI－61	炭化物	酸－アルカリ－酸洗浄，石墨調整	AMS
No.13	第２地区，SI－82	炭化物	酸－アルカリ－酸洗浄，石墨調整	AMS
No.14	第２地区，SI－86	炭化物	酸－アルカリ－酸洗浄，石墨調整	AMS
No.15	第２地区，SC－８	炭化物	酸－アルカリ－酸洗浄，石墨調整	AMS
No.16	第２地区，SC－18	炭化物	酸－アルカリ－酸洗浄，石墨調整	AMS
No.17	第２地区，SC－48	炭化物	酸－アルカリ－酸洗浄，石墨調整	AMS

AMS：加速器質量分析法（Accelerator Mass Spectrometry）

2．測定結果

試料名	測定No. (Beta－)	^{14}C年代 (年BP)	δ^{13}C (‰)	補正^{14}C年代 (年BP)	暦年代（西暦） （1 σ：68%確率，2 σ：95%確率）
No. 1	209849	8240±40	－26.1	8220±40	交点：cal BC 7280，7230，7190 1 σ：cal BC 7320～7160 2 σ：cal BC 7340～7080
No. 2	209850	7670±40	－26.4	7650±40	交点：cal BC 6460 1 σ：cal BC 6480～6450 2 σ：cal BC 6510～6430
No. 3	209851	9730±40	－27.1	9700±40	交点：cal BC 9210 1 σ：cal BC 9230～9180 2 σ：cal BC 9240～9140，8970～8940
No. 4	209852	8300±40	－26.1	8280±40	交点：cal BC 7330 1 σ：cal BC 7450～7400，7360～7300 2 σ：cal BC 7470～7180

No. 5	209853	9560±40	−26.4	9540±40	交点：cal BC 9080, 9040, 8800 1σ：cal BC 9120～9000, 8890～8880 8840～8770 2σ：cal BC 9140～8970, 8940～8740
No. 6	209854	8380±40	−26.0	8360±40	交点：cal BC 7470 1σ：cal BC 7500～7450, 7400～7360 2σ：cal BC 7530～7330
No. 7	209855	9630±40	−26.8	9600±40	交点：cal BC 9130, 8980, 8920 1σ：cal BC 9160～9100, 9010～8820 2σ：cal BC 9200～8790
No. 8	209856	9440±40	−25.6	9430±40	交点：cal BC 8720 1σ：cal BC 8750～8630 2σ：cal BC 8780～8610
No. 9	209857	9820±40	−26.6	9790±40	交点：cal BC 9240 1σ：cal BC 9260～9230 2σ：cal BC 9280～9220
No.10	209858	11270±40	−26.3	11250±40	交点：cal BC 11220 1σ：cal BC 11440～11290, 11270～11190 11130～11090 2σ：cal BC 11480～11180, 11150～11070
No.11	209859	8240±40	−25.9	8230±40	交点：cal BC 7290 1σ：cal BC 7320～7170 2σ：cal BC 7430～7420, 7350～7090
No.12	209860	8320±40	−25.1	8320±40	交点：cal BC 7450, 7400, 7360 1σ：cal BC 7470～7330 2σ：cal BC 7500～7300
No.13	209861	9110±50	−27.7	9070±50	交点：cal BC 8270 1σ：cal BC 8290～8250 2σ：cal BC 8310～8230
No.14	209862	8320±40	−25.4	8310±40	交点：cal BC 7430, 7420, 7350 1σ：cal BC 7470～7320 2σ：cal BC 7500～7290
No.15	209863	9740±40	−28.2	9690±40	交点：cal BC 9210 1σ：cal BC 9220～9170 2σ：cal BC 9240～9140, 8980～8930
No.16	209864	8240±40	−26.0	8220±40	交点：cal BC 7280, 7230, 7190 1σ：cal BC 7320～7160 2σ：cal BC 7340～7080
No.17	209865	8280±40	−27.2	8240±40	交点：cal BC 7300 1σ：cal BC 7330～7180 2σ：cal BC 7450～7400, 7360～7100

(1) ^{14}C年代測定値

試料の$^{14}C/^{12}C$比から、単純に現在（AD1950年）から何年前かを計算した値。^{14}Cの半減期は、国際的慣例によりLibbyの5,568年を用いた。

(2) $\delta^{13}C$測定値

試料の測定$^{14}C/^{12}C$比を補正するための炭素安定同位体比（$^{13}C/^{12}C$）。この値は標準物質（PDB）の同位体比からの千分偏差（‰）で表す。

(3) 補正^{14}C年代値

$\delta^{13}C$測定値から試料の炭素の同位体分別を知り、$^{14}C/^{12}C$の測定値に補正値を加えた上で算出した年代。試料の$\delta^{13}C$値を－25（‰）に標準化することによって得られる年代である。

(4) 暦年代

過去の宇宙線強度の変動による大気中^{14}C濃度の変動を較正することにより算出した年代（西暦）。calはcalibrationした年代値であることを示す。較正には、年代既知の樹木年輪の^{14}Cの詳細な測定値、およびサンゴのU-Th年代と^{14}C年代の比較により作成された較正曲線を使用した。INTCAL98では、約19,000年BPまでの換算が可能となっている。ただし、10,000年BP以前のデータはまだ不完全であり、今後も改善される可能性がある。

暦年代の交点とは、補正^{14}C年代値と較正曲線との交点の暦年代値を意味する。1σ（68%確率）と2σ（95%確率）は、補正^{14}C年代値の偏差の幅を較正曲線に投影した暦年代の幅を示す。したがって、複数の交点が表記される場合や、複数の1σ・2σ値が表記される場合もある。

文献

Stuiver et al. (1998), INTCAL98 Radiocarbon Age Calibration, Radiocarbon, 40, p.1041-1083.
中村俊夫（1999）放射性炭素法．考古学のための年代測定学入門．古今書院．p.1-36.

Ⅱ．清武上猪ノ原遺跡（第2地区）における樹種同定

1．はじめに

木材は、セルロースを骨格とする木部細胞の集合体であり、解剖学的形質から、概ね属レベルの同定が可能である。木材は、花粉などの微化石と比較して移動性が少ないことから、比較的近隣の森林植生の推定が可能であり、遺跡から出土したものについては、木材の利用状況や流通を探る手がかりとなる。

2．試料

試料は、清武上猪ノ原遺跡（第2地区）の集石遺構や土坑から採取された炭化材17点である。これらは、放射性炭素年代測定に用いられたものと同一試料である。

3．方法

試料を割折して新鮮な横断面（木口と同義）、放射断面（柾目）、接線断面（板目）の基本三断面の切片を作製し、落射顕微鏡によって50～1000倍で観察した。同定は、解剖学的形質および現生標本との対比によって行った。

4．結果

表1に結果を示し、主要な分類群の顕微鏡写真を示す。以下に同定根拠となった特徴を記す。

コナラ属コナラ節 Quercus sect. Prinus ブナ科

横断面：年輪のはじめに大型の道管が1～数列配列する環孔材である。晩材部では薄壁で角張った小道管が火炎状に配列もしくは散在する。早材から晩材にかけて道管の径は急激に減少する。

放射断面：道管の穿孔は単穿孔で、放射組織は平伏細胞からなる。接線断面：放射組織は同性放射組織型で、単列のも

のと大型の広放射組織からなる複合放射組織である。

以上の形質よりコナラ属コナラ節に同定される。コナラ属コナラ節にはカシワ、コナラ、ナラガシワ、ミズナラがあり、北海道、本州、四国、九州に分布する。落葉高木で、高さ15m、径60cmぐらいに達する。材は強靭で弾力に富み、建築材などに用いられる。

ブナ科 Fagaceae

横断面：部分的ではあるが大型の道管が見られた。放射断面：放射組織は平伏細胞からなる。

接線断面：放射組織は単列の同性放射組織型のものが見られた。

以上の形質よりブナ科に同定される。ブナ科にはクリ、シイ属、コナラ属などがあるが、試料が小片で広範囲の観察が困難であることからブナ科の同定にとどめた。

広葉樹 broad-leaved tree

横断面：道管が存在する。放射断面：道管と放射組織が存在する。接線断面：道管と放射組織が存在する。

以上の形質より広葉樹に同定される。なお、試料が小片で広範囲の観察が困難であることから広葉樹の同定にとどめた。

5．所見

第2地区の集石遺構や土坑から採取された炭化材は、コナラ属コナラ節10点、ブナ科5点、広葉樹2点と同定された。最も多いコナラ属コナラ節は、日当たりの良い山野に生育する落葉高木であり、冷温帯落葉広葉樹林の構成要素であるミズナラやナラガシワ、および温帯に広く生育し二次林の性格を持つコナラなどがある。

文献

佐伯浩・原田浩（1985）針葉樹材の細胞．木材の構造，文永堂出版，p.20-48.
佐伯浩・原田浩（1985）広葉樹材の細胞．木材の構造，文永堂出版，p.49-100.
島地謙・伊東隆夫（1988）日本の遺跡出土木製品総覧，雄山閣，p.296
山田昌久（1993）日本列島における木質遺物出土遺跡文献集成，植生史研究特別第1号，植生史研究会，p.242

表1　清武上猪ノ原遺跡（第2地区）における樹種同定結果

試料	結果（学名／和名）	
SI- 2	broad-leaved tree	広葉樹
SI- 4	Quercus sect. Prinus	コナラ属コナラ節
SI-16	Fagaceae	ブナ科
SI-22	Fagaceae	ブナ科
SI-23	Quercus sect. Prinus	コナラ属コナラ節
SI-25	Quercus sect. Prinus	コナラ属コナラ節
SI-31	Quercus sect. Prinus	コナラ属コナラ節
SI-32	Quercus sect. Prinus	コナラ属コナラ節
SI-37	Quercus sect. Prinus	コナラ属コナラ節
SI-45	Fagaceae	ブナ科
SI-59	Fagaceae	ブナ科
SI-61	Quercus sect. Prinus	コナラ属コナラ節
SI-82	Fagaceae	ブナ科
SI-86	Quercus sect. Prinus	コナラ属コナラ節
SC- 8	broad-leaved tree	広葉樹
SC-18	Quercus sect. Prinus	コナラ属コナラ節
SC-48	Quercus sect. Prinus	コナラ属コナラ節

調査抄録

フリガナ	キヨタケカミイノハル				
書名	清武上猪ノ原遺跡－２－				
副書名	県営農地保全整備事業船引工区にかかる埋蔵文化財調査報告書				
巻次	第１集				
シリーズ名	清武町埋蔵文化財調査報告書				
シリーズ番号	第26集				
編集者名	井田篤・秋成雅博				
発行機関	清武町教育委員会				
所在地	宮崎県宮崎郡清武町大字船引204番地				
発行年月日	2009年３月				
所在遺跡名	所在地	市町村：遺跡番号	北緯	東経	調査期間
清武上猪ノ原－２－	清武町大字船引字上猪ノ原	清武町：205	31° 52′ 00″（日本測地形）	131° 22′ 21″（日本測地形）	2001.10.23～2002.12. 9
調査面積	調査原因	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物
15,200㎡	農業関連	集落	旧石器 縄文 中近世	集石遺構 陥し穴状遺構 炉穴 土坑 溝状遺構 など	石器 縄文時代草創期土器 縄文時代早期土器 など
特記事項					
縄文時代早期の埋設土器					

清武町埋蔵文化財調査報告書第26集

清武上猪ノ原遺跡－2－

県営農地保全整備事業船引工区にかかる埋蔵文化財調査報告書

発行年月日　平成21年3月31日
編集発行　清武町教育委員会
〒889-1696 宮崎県宮崎郡清武町大字船引204
TEL 0985-85-1111
印　　刷　合資会社 愛文社印刷所
〒880-0852 宮崎県宮崎市高洲町222番地
TEL 0985-28-8111　FAX 0985-24-3856